

市内中小企業の景況について  
(第 107 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 25 年 6 月
- ・ 調査対象期間 平成 25 年 4 月～6 月期 (3 箇月実績) /平成 25 年 7～9 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 379 社, 非製造業 421 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。502 社が回答 (回収率 62.8%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	256 ( 51.0 )	非製造業	246 ( 49.0 )
西 陣	26 ( 5.2 )	卸 売	55 ( 11.0 )
染 色	32 ( 6.4 )	小 売	50 ( 10.0 )
印 刷	27 ( 5.4 )	情 報 通 信	24 ( 4.8 )
窯 業	18 ( 3.6 )	飲 食 ・ 宿 泊	31 ( 6.2 )
化 学	20 ( 4.0 )	サ ー ビ ス	50 ( 10.0 )
金 属	26 ( 5.2 )	建 設	36 ( 7.2 )
機 械	33 ( 6.6 )	不 明	0 ( 0.0 )
その他の製造	74 ( 14.7 )	合 計	502 ( 100.0 )

- DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)  
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

- 中小企業の定義  
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0>

## 調査結果概要

### 1. 景気動向調査について

- 今期の企業景気DIは、全業種で6.9ポイント上昇と大幅に改善した。輸出環境の改善、大手企業からの受注増、経営努力等の効果から、製造業で7.3ポイント、非製造業で6.3ポイントとそれぞれ上昇し、円安に伴う仕入れコストの上昇などのマイナス要因はあったものの、前期に続けて改善した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全業種で2.9ポイント上昇した。製造業で3.5ポイント、非製造業でも2.4ポイントとそれぞれ上昇した。仕入れコストの上昇や、競争激化などの不安から、経営環境は依然として不透明な状況から、景気回復への期待感にやや陰りが見られる。

#### (1) 今期実績 平成25年4月～6月期

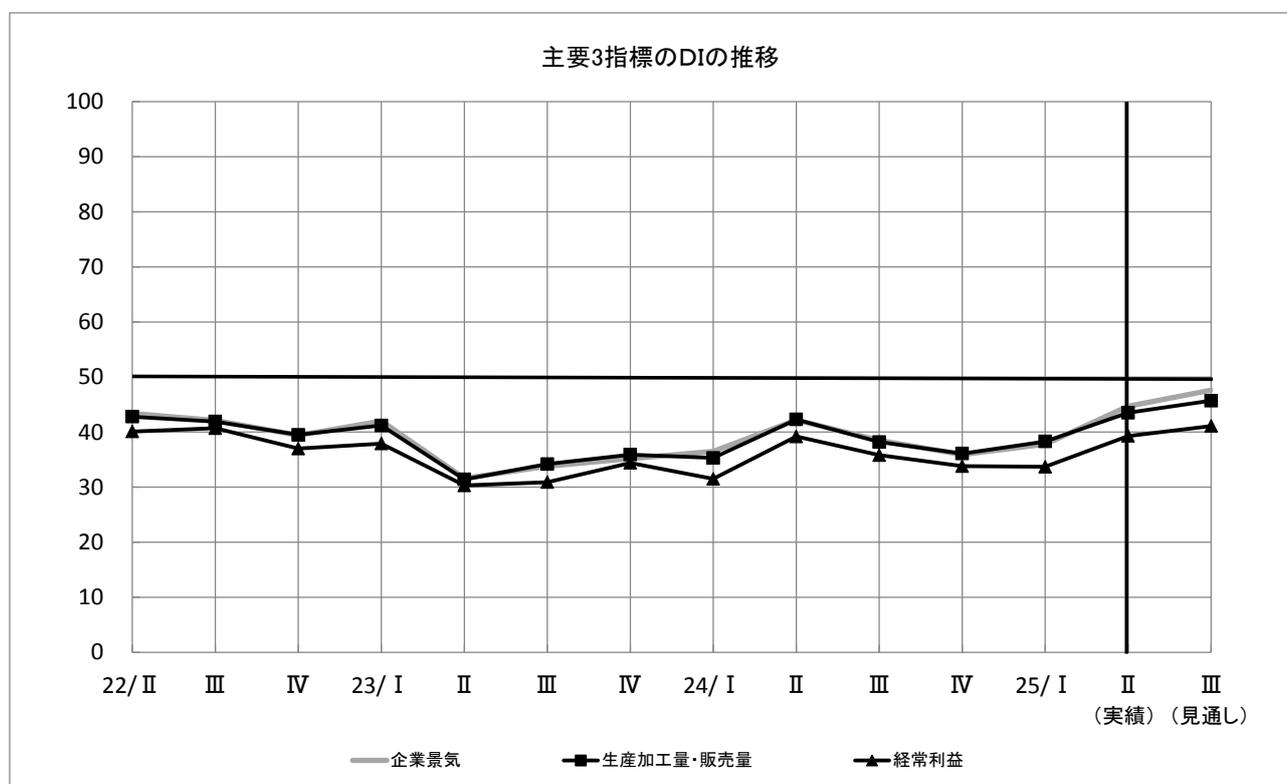
今期（平成25年4月～6月期）の全業種のDIは、企業景気DIが44.7と、前期と比較し6.9ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは43.5で同5.2ポイント上昇、経常利益DIは39.3で同5.6ポイント上昇となった。

#### ・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	44.7 (△6.9)	43.5 (△5.2)	39.3 (△5.6)
(製造業)	43.7 (△7.3)	43.9 (△7.1)	38.0 (△5.1)
(非製造業)	45.7 (△6.3)	43.1 (△2.8)	40.7 (△6.0)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期、△は上昇を示す。）

#### ・主要3指標のDIの推移



全業種の企業景気DIは、全体的に円安への移行、株価上昇などの影響に加えて、引き続き、新政権の経済政策に対する期待感もあり、回復基調となっている。

製造業全体の企業景気DIは7.3ポイント上昇した。「円安方向に振れた為受注量としては増加」(南区/染色), 「輸出向け製品を中心に受注が好調」(南区/機械), 「経営努力」(伏見区/その他製造), 「大企業からの受注が徐々に増加傾向のため」(中京区/化学), 「前年同期と比べてやや良化しているが、前年が悪すぎた」(南区/金属), 「少し景気がよくなってきたため」(伏見区/染色), 「得意先の新規開拓・異業種の取組」(上京区/西陣), 「自動車, 建築関連がやや好調」(山科区/その他製造)といった, 輸出関連を中心に円安の恩恵を受けた大手企業からの受注増や, 経費削減や新規開拓などの経営努力などにより, 西陣, 染色, 化学, 金属, 機械, その他製造の6業種が上昇した。一方, 「電子媒体の増加, 折込チラシの規制」(南区/印刷)や, 「受注・売上共に減少」(山科区/窯業)といった, 紙媒体の減少や製品に対する需要の減少により印刷, 窯業が低下した。

非製造業全体の企業景気DIは6.3ポイント上昇した。「仕入単価の見直し」(上京区/卸売), 「FCの導入・拡大」(下京区/サービス), 「海外市場の開拓」(下京区/情報通信), 「円安等で海外からの観光客が増加」(中京区/飲食・宿泊), 「分譲地が完売するなど業況改善」(左京区/建設), 「新規オープンによる売上増加」(下京区/小売), 「低価格帯商品から中価格帯商品への変更」(上京区/卸売), 「消費増税前の駆け込み需要」(南区/卸売)など, 円安による観光客の増加や自助努力による業績アップもあり, すべての業種が上昇した。

観光関連については, 円安による外国人観光客の増加を受け, 18.0ポイントと大幅に上昇した。

今回の調査では, 輸出環境の改善, 大手企業からの受注増, 社内の自助努力などから, 14業種中12業種で企業景気DIが上昇し, 引き続き景況感は改善しつつあるが, 一方で, 円安による仕入れ単価上昇を販売単価に転嫁することの困難さや, 同業他社との競争激化などの不安材料も残っている。経済対策の効果の市内中小企業への浸透に向けて, 今後の更なる設備投資や消費の回復を期待する声が高まっている。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中6業種であり, いずれも低下した業種は1業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	56.3 ( △ 25.2 )	54.7 ( △ 29.7 )	53.1 ( △ 22.5 )
機械	36.4 ( △ 5.4 )	37.9 ( △ 3.4 )	33.3 ( △ 4.0 )
その他の製造	46.6 ( △ 6.7 )	45.2 ( △ 6.5 )	39.7 ( △ 5.2 )
小売	36.0 ( △ 7.3 )	37.8 ( △ 3.0 )	32.7 ( △ 7.7 )
飲食・宿泊	48.4 ( △ 14.4 )	50.0 ( △ 19.6 )	38.3 ( △ 9.1 )
サービス	48.0 ( △ 4.7 )	45.6 ( △ 5.6 )	45.3 ( △ 4.4 )
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	40.7 ( ▼ 3.1 )	42.6 ( ▼ 7.4 )	37.0 ( ▼ 0.5 )

注: カッコ内は前期との差 (今期マイナス前期。△は上昇, ▼は低下を示す。)

## (2) 来期見通し 平成25年7月～9月期

来期（平成25年7月～9月期）の全業種のDIの見通しは、企業景気DIが47.6となり、今期と比較し2.9ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは45.7で同2.2ポイントの上昇、経常利益DIは41.1で同1.8ポイントの上昇となった。

### ・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	47.6 (△2.9)	45.7 (△2.2)	41.1 (△1.8)
(製造業)	47.2 (△3.5)	46.0 (△2.1)	40.0 (△2.0)
(非製造業)	48.1 (△2.4)	45.3 (△2.2)	42.4 (△1.7)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇を示す。）

企業景気DIの来期見通しは製造業で3.5ポイント上昇し、非製造業で2.4ポイント上昇した。

製造業では、8業種中7業種が上昇あるいは横ばいとなった。「新規事業へのシフト」（上京区／印刷）、「スタッフ増員による生産量増加見込み」（中京区／窯業）、「構造的改善」（下京区／金属）、「今迄が大きく落ち込んでおり、今後良い状況になりそう」（南区／機械）、「社内の構造的改革が進行しつつある」（右京区／その他の製造）といった、景気回復への期待感や自助努力による構造的改革などの意見が目立った。一方、「仕入単価の上昇」（南区／染色）といった円安の悪影響を受けた結果、染色業のみが低下した。円安により景気が改善される業種もあるが、逆に円安によりマイナスの影響を受けている企業も存在する。来期の企業景気DIの上昇率は今期と比較して全体的に低下した。

非製造業においては、6業種中4業種の企業景気DIが上昇あるいは横ばいとなった。「中国人観光客は少なくなったが、円安の影響によりその他の国からの海外観光客が増加し販売が好調」（山科区／卸売）、「新店オープンによる売上増の見込み」（下京区／小売）、「海外からの観光客が震災前水準に戻つつある」（中京区／飲食・宿泊）といった円安の影響による海外からの観光客の増加、新規出店などの見通しに伴い、卸売、小売、飲食・宿泊の上昇が見込まれる。また、「見積案件が増加傾向にある」（中京区／建設）などの意見もあるが、「月により変動はあるが、まだ全体的に動きは鈍い」（右京区／建設）といったマイナスの意見もあり、建設は企業景気DIは横ばいとなった。低下している業種は情報通信、サービスの2業種で、「需要が少ない」（上京区／情報通信）、「来店客数の減少」（中京区／サービス）といった声もあり、需要・顧客の増加が実感できていないことがうかがえる。

なお、観光関連では、円安の影響により海外からの観光客が増加していることもあり、企業景気DIは0.2ポイント上昇した。ただ、今期の18ポイントの上昇と比較すると伸び率は低下している。

国内経済においては、「アベノミクス」効果による円安株高を背景に、輸出産業を中心に大手企業の業績は改善しているが、仕入れコストの増や需要の獲得への不安などのマイナス要因から、経営環境は依然として不透明な状況にある。また、仕入単価の増を安易に販売価格に転嫁できず、収益圧迫だけではなく売上げにも影響が及ぶことが懸念されている。

市内中小企業においては、製造業、非製造業とも企業景気DIは上昇したものの、今期の上昇幅と比較すると伸びは鈍化している。また、大手企業の業績回復の恩恵が中小企業に対しては十分届いていないことに加えて、隣国中国との関係が改善されておらず、訪日中国人観光客の回復の兆しが見えないことなど先行きに対する不安材料も残されている。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中10業種、いずれも低下と予測している業種は1業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
西陣	40.0	( △ 0.0 )	36.0	( △ 4.0 )	32.0	( △ 2.0 )
印刷	46.3	( △ 5.6 )	46.3	( △ 3.7 )	38.9	( △ 1.9 )
窯業	35.3	( △ 5.9 )	35.3	( △ 2.0 )	32.4	( △ 4.6 )
金属	50.0	( △ 9.6 )	50.0	( △ 5.8 )	38.0	( △ 5.3 )
機械	45.5	( △ 9.1 )	43.9	( △ 6.0 )	42.4	( △ 9.1 )
その他の製造	53.6	( △ 7.0 )	51.4	( △ 6.2 )	43.6	( △ 3.9 )
卸売	50.9	( △ 10.0 )	47.1	( △ 8.6 )	46.4	( △ 5.5 )
小売	39.6	( △ 3.6 )	40.4	( △ 2.6 )	36.5	( △ 3.8 )
飲食・宿泊	50.0	( △ 1.6 )	53.8	( △ 3.8 )	40.7	( △ 2.4 )
建設	50.0	( △ 0.0 )	46.7	( △ 5.0 )	38.6	( △ 0.0 )

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
染色	43.8	( ▼ 12.5 )	42.2	( ▼ 12.5 )	37.5	( ▼ 15.6 )

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	37.8	<b>44.7</b>	47.6	38.3	<b>43.5</b>	45.7	33.7	<b>39.3</b>	41.1
製造業	36.4	<b>43.7</b>	47.2	36.8	<b>43.9</b>	46.0	32.9	<b>38.0</b>	40.0
非製造業	39.4	<b>45.7</b>	48.1	40.3	<b>43.1</b>	45.3	34.7	<b>40.7</b>	42.4

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	36.4	<b>43.7</b>	47.2	36.8	<b>43.9</b>	46.0	32.9	<b>38.0</b>	40.0
西陣	34.6	<b>40.0</b>	40.0	36.5	<b>32.0</b>	36.0	23.1	<b>30.0</b>	32.0
染色	31.1	<b>56.3</b>	43.8	25.0	<b>54.7</b>	42.2	30.6	<b>53.1</b>	37.5
印刷	43.8	<b>40.7</b>	46.3	50.0	<b>42.6</b>	46.3	37.5	<b>37.0</b>	38.9
窯業	35.0	<b>29.4</b>	35.3	32.5	<b>33.3</b>	35.3	28.9	<b>27.8</b>	32.4
化学	40.5	<b>50.0</b>	50.0	45.5	<b>57.5</b>	52.5	42.9	<b>42.5</b>	47.5
金属	32.1	<b>40.4</b>	50.0	33.3	<b>44.2</b>	50.0	35.2	<b>32.7</b>	38.0
機械	31.0	<b>36.4</b>	45.5	34.5	<b>37.9</b>	43.9	29.3	<b>33.3</b>	42.4
その他の製造	39.9	<b>46.6</b>	53.6	38.7	<b>45.2</b>	51.4	34.5	<b>39.7</b>	43.6
非製造業	39.4	<b>45.7</b>	48.1	40.3	<b>43.1</b>	45.3	34.7	<b>40.7</b>	42.4
卸売	40.2	<b>40.9</b>	50.9	40.5	<b>38.5</b>	47.1	37.5	<b>40.9</b>	46.4
小売	28.7	<b>36.0</b>	39.6	34.8	<b>37.8</b>	40.4	25.0	<b>32.7</b>	36.5
情報通信	50.0	<b>62.5</b>	56.3	55.9	<b>54.3</b>	54.3	41.7	<b>54.2</b>	54.2
飲食・宿泊	34.0	<b>48.4</b>	50.0	30.4	<b>50.0</b>	53.8	29.2	<b>38.3</b>	40.7
サービス	43.3	<b>48.0</b>	46.9	40.0	<b>45.6</b>	34.8	40.9	<b>45.3</b>	41.5
建設	44.6	<b>50.0</b>	50.0	47.0	<b>41.7</b>	46.7	35.1	<b>38.6</b>	38.6
観光関連企業	37.8	<b>55.8</b>	56.0	37.0	<b>57.1</b>	57.3	35.4	<b>52.3</b>	48.8

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	16.9	<b>21.4</b>	14.0

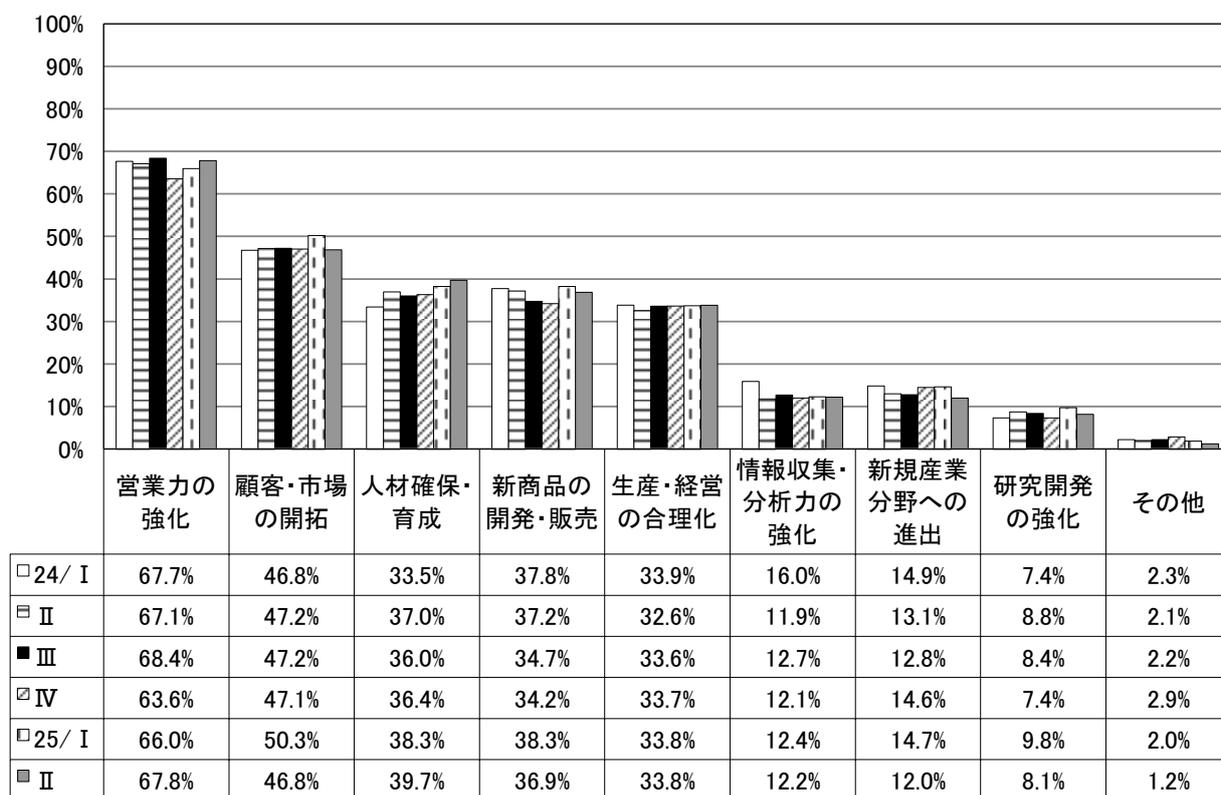
## 2. 当面の経営戦略について

### ● 「営業力の強化」を挙げる企業が67.8%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の67.8%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が46.8%、「人材確保・育成」が39.7%、「新商品の開発・販売」が36.9%、「生産・経営の合理化」が33.8%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位項目に順位の変動はない。「営業力の強化」が1.8ポイントと伸び幅が最も大きく、続いて「人材の確保・育成」が1.4ポイントとなっている。一方、「顧客・市場の開拓」がマイナス3.5ポイント、「新規産業分野への進出」がマイナス2.7ポイントと低下しており、前期と比較して、新規分野・新規取引先への進出が消極的になっていることがうかがえる。

その他の意見としては、最近の円安傾向の影響を受けて「輸出拡大」（中京区／卸売）といった声や、日本独自である「和風のPR」（下京区／卸売）といった企業もあった。また、当面の経営戦略がなく、「何か良いアイデアを」（上京区／サービス）といった意見もあった。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

### 3. 経営上の不安要素について

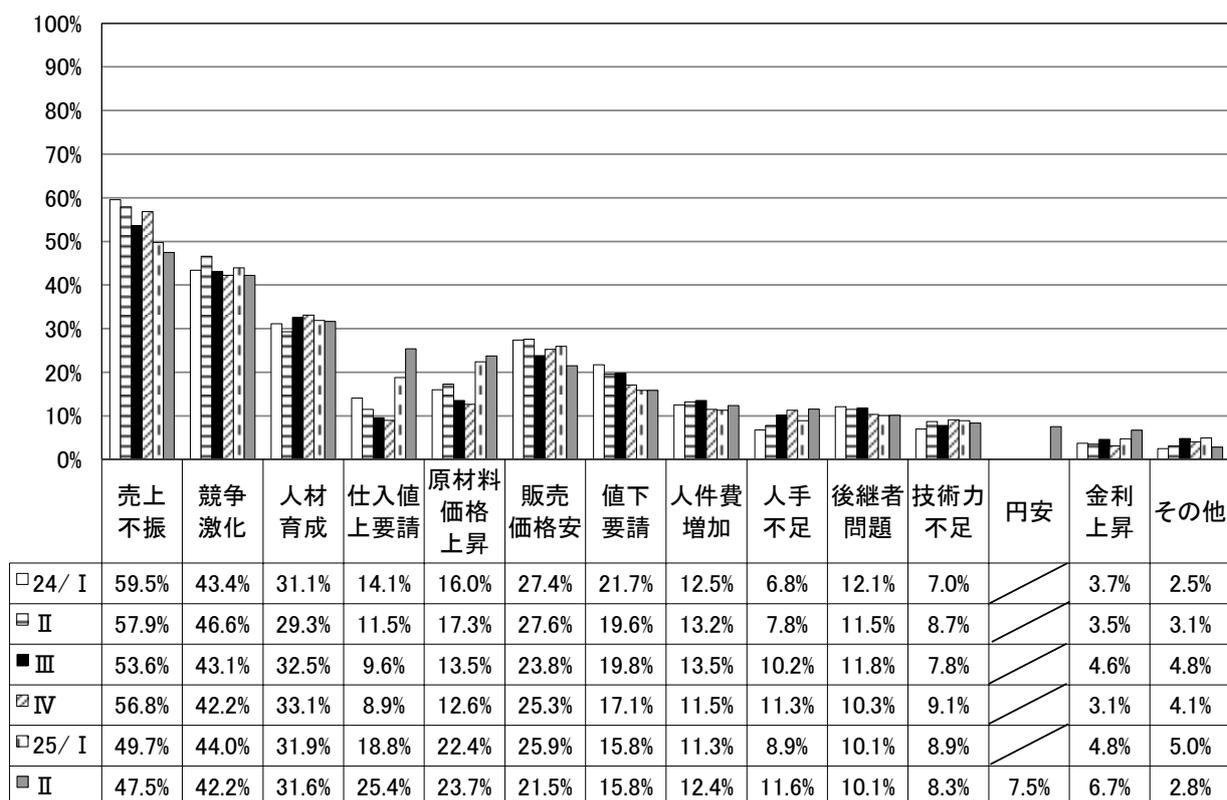
#### ●「売上不振」を挙げる企業が47.5%で依然トップ。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が47.5%を占めており、以下「競争激化」が42.2%、「人材育成」が31.6%、「仕入値上要請」が25.4%、「原材料価格上昇」が23.7%の順となっている。

前期と比較すると、回答上位5項目の順位変動は、上位3位までは変動はなく、前回6位の「仕入値上要請」が4位に上がった。今回の特徴として、円安の影響を受けた「仕入値上要請」が6.6ポイント、「原材料価格上昇」が1.3ポイント上昇している。また、「原材料価格上昇」を不安要素として捉えている業種は製造業全体で36.9%、特に地場産業の西陣61.5%、染色58.1%といずれも過半数を超えており、続いて金属46.2%、化学35.0%、印刷26.9%が上位となった。一方、トップの「売上不振」が2.2ポイント低下しており、各企業の売上不振に対する不安が和らぎつつある様子が見えてくる。また、非製造業の建設では同業者数が多いことから「売上不振」以上に「競争激化」62.9%の割合が最も高く、厳しい業界状況が反映された結果となっている。

原材料価格の上昇の中では、「生糸」（上京区／西陣）、「染料」（右京区／染色）、「紙」（右京区／印刷）、「石油」（下京区／その他製造）、「電気」（南区／金属）等への不安が示されている。

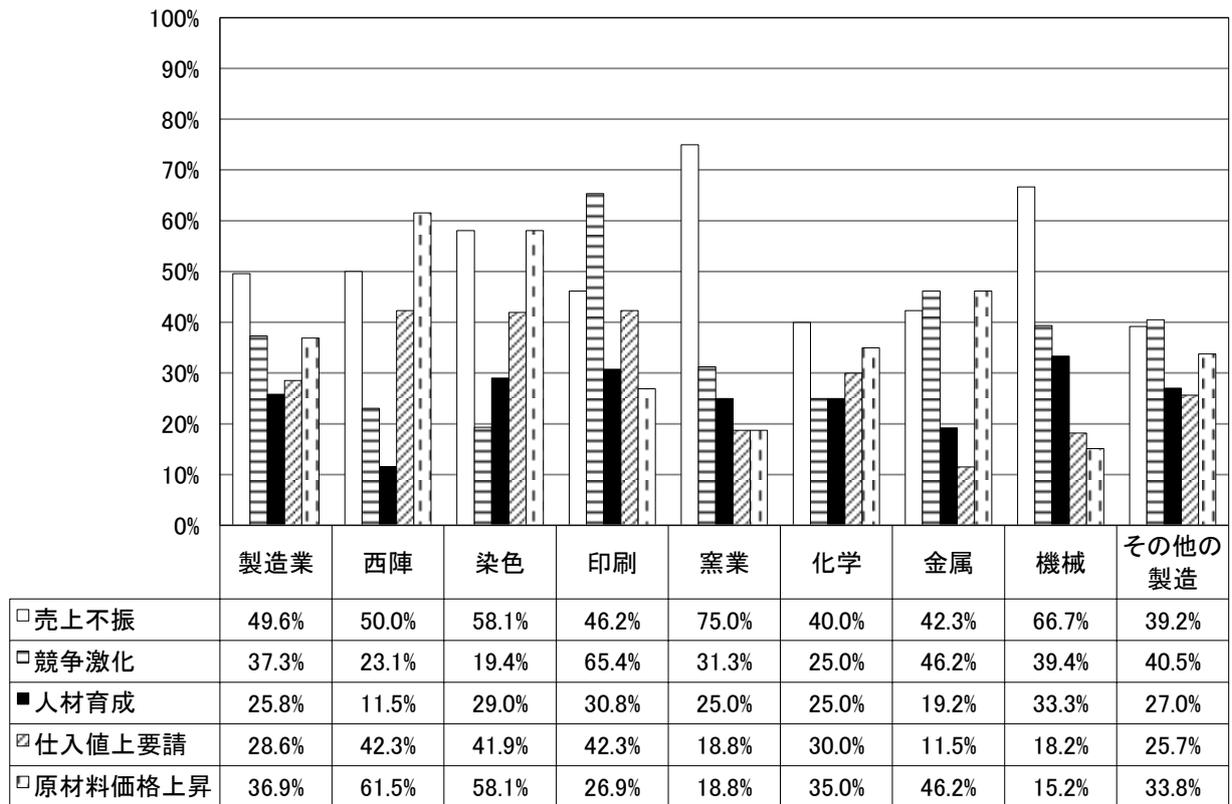
その他の意見として「消費税増税」（下京区／その他製造業）、「下請け職人不足・後継者不在」（上京区／西陣）、「電気料金の値上」（中京区／飲食・宿泊）等、多種多様な意見が寄せられた。



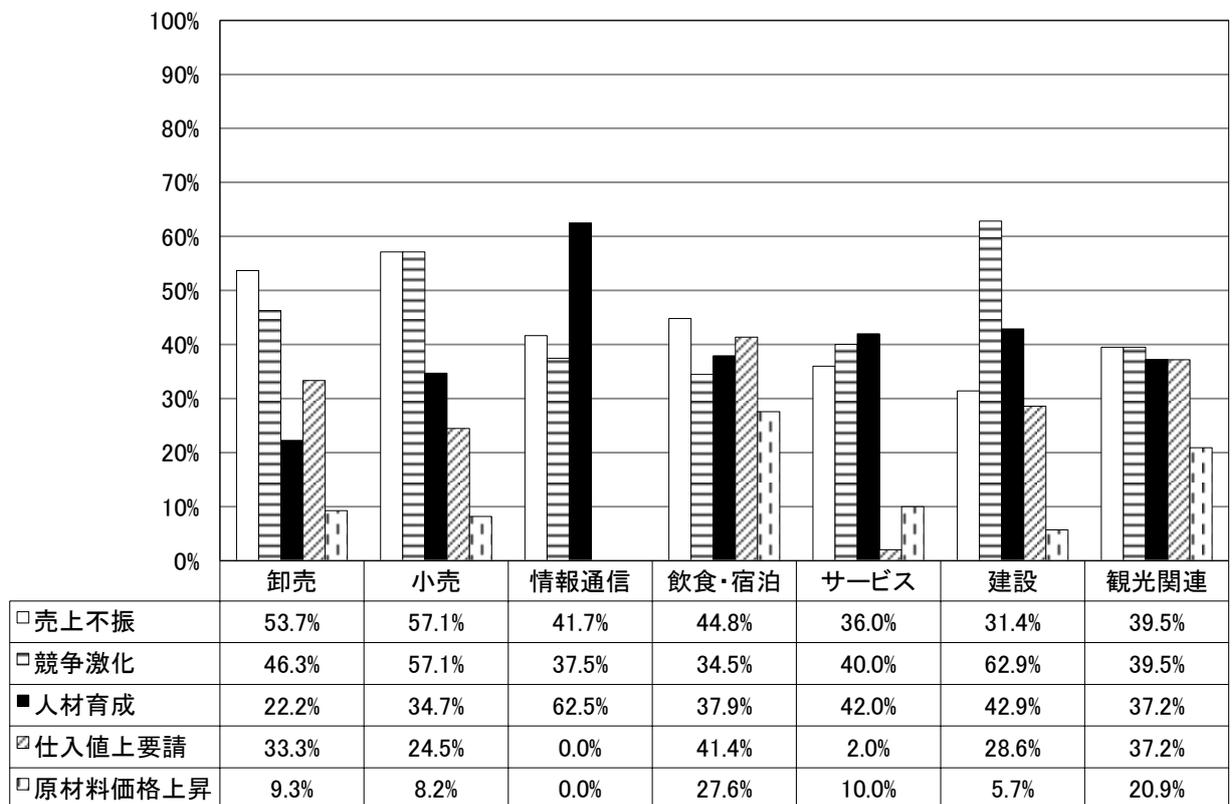
注1：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

注2：回答の選択肢のうち「13 円安」については、今回の調査から新設した。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

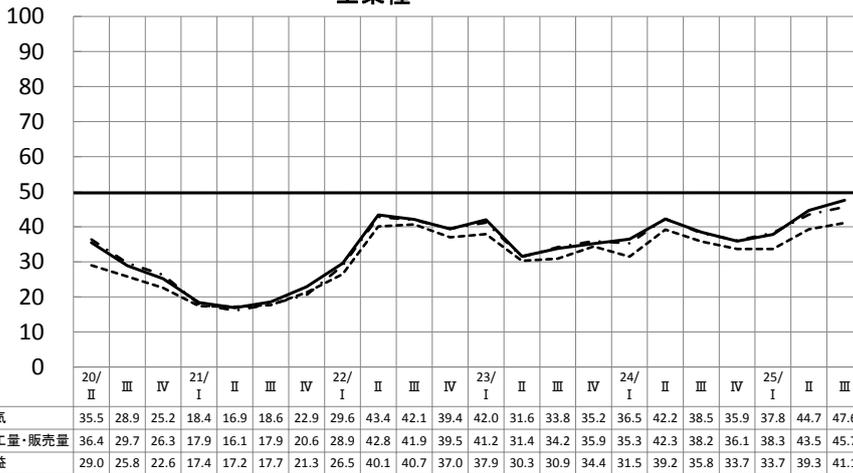


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



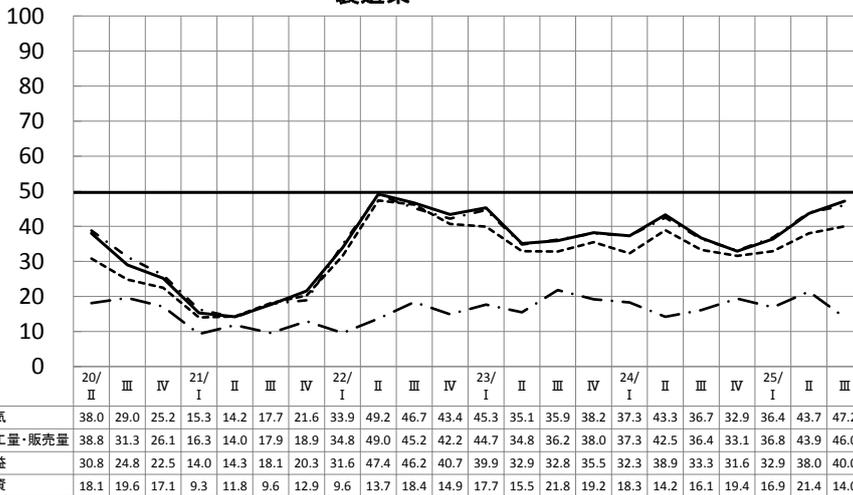
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



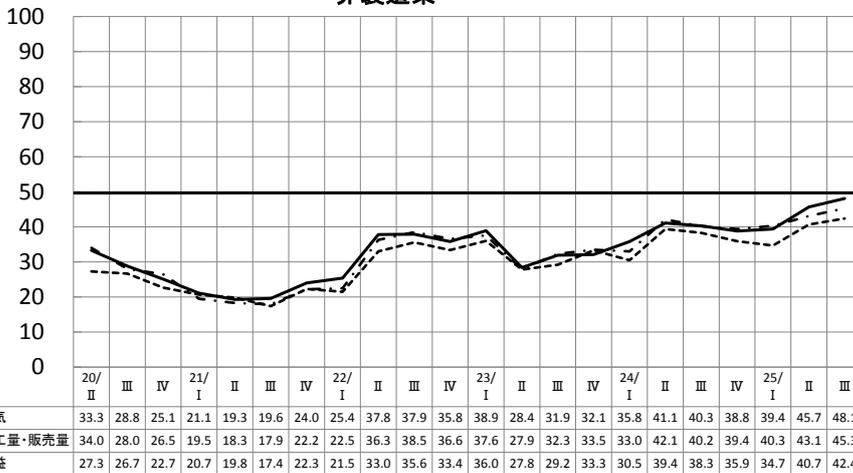
(見通し)

製造業



(見通し)

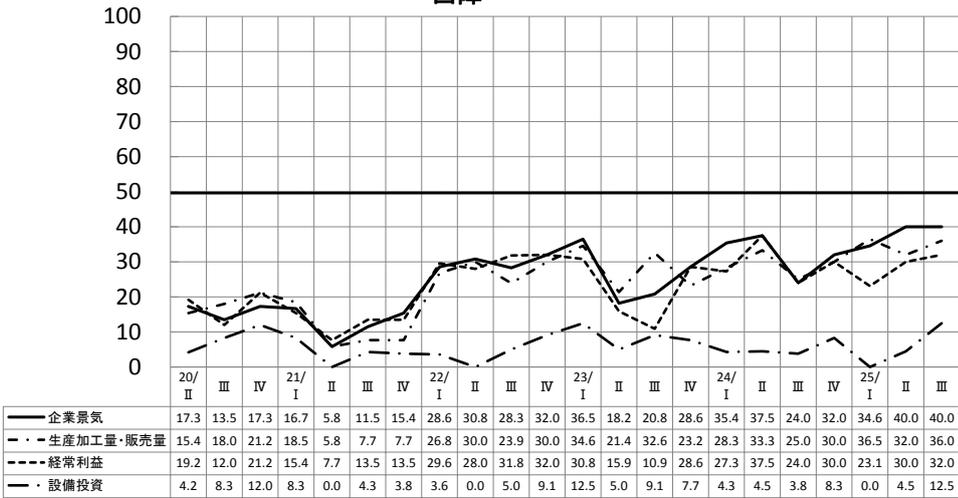
非製造業



(見通し)

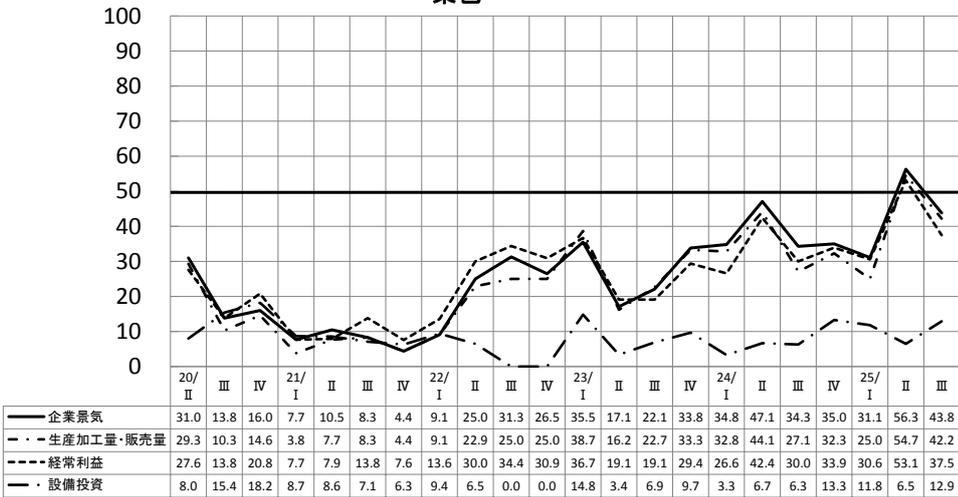
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



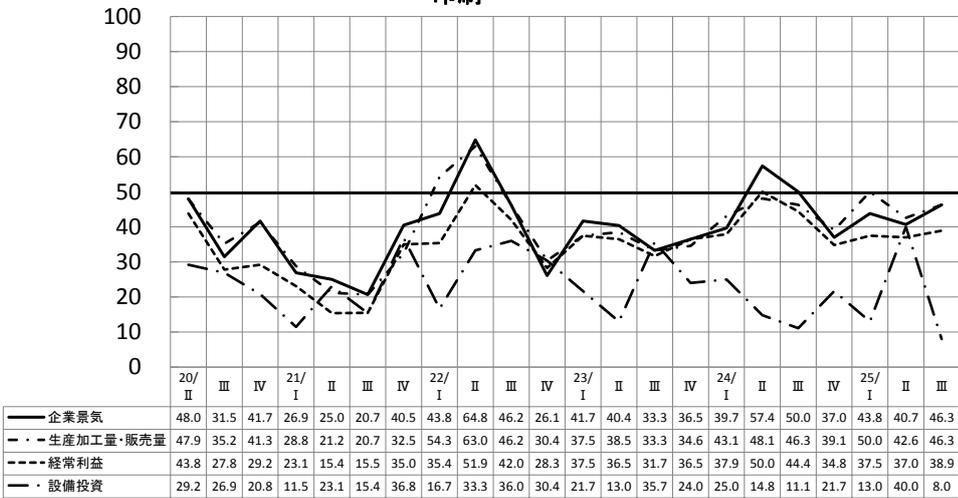
(見通し)

染色



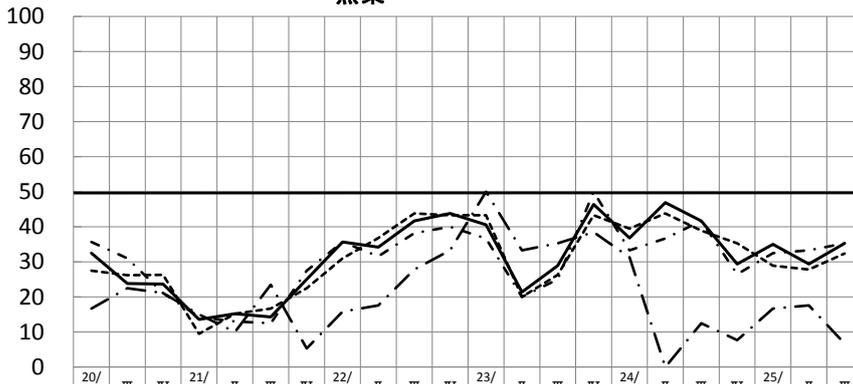
(見通し)

印刷



(見通し)

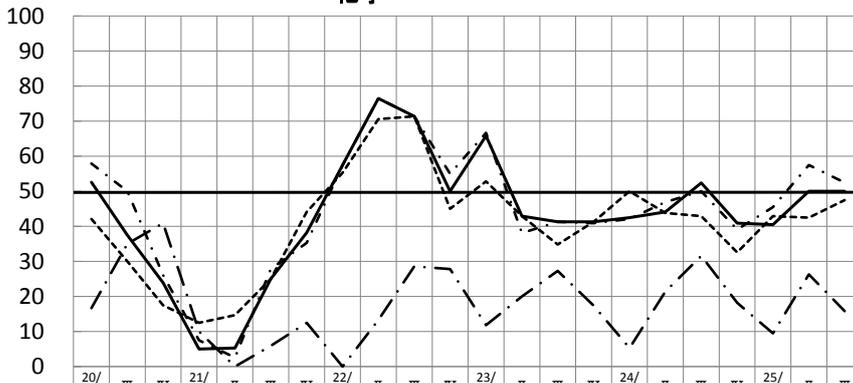
### 窯業



	20/II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III
企業景気	32.5	23.8	23.7	13.6	15.2	14.3	25.0	35.7	34.2	41.7	43.8	40.6	21.4	28.9	46.4	36.8	46.9	41.7	29.4	35.0	29.4	35.3
生産加工量・販売量	35.7	31.0	21.1	14.3	13.0	12.5	27.5	35.7	31.6	38.2	40.0	36.7	20.0	25.0	50.0	33.3	36.7	41.7	26.5	32.5	33.3	35.3
経常利益	27.5	26.2	26.3	9.5	15.2	16.7	22.5	31.0	36.8	43.8	43.3	43.3	20.0	26.3	43.3	39.5	43.8	38.9	35.3	28.9	27.8	32.4
設備投資	16.7	22.5	21.1	15.0	10.0	23.5	5.3	15.8	17.6	27.8	33.3	50.0	33.3	35.3	38.5	31.3	0.0	12.5	7.7	16.7	17.6	6.7

(見通し)

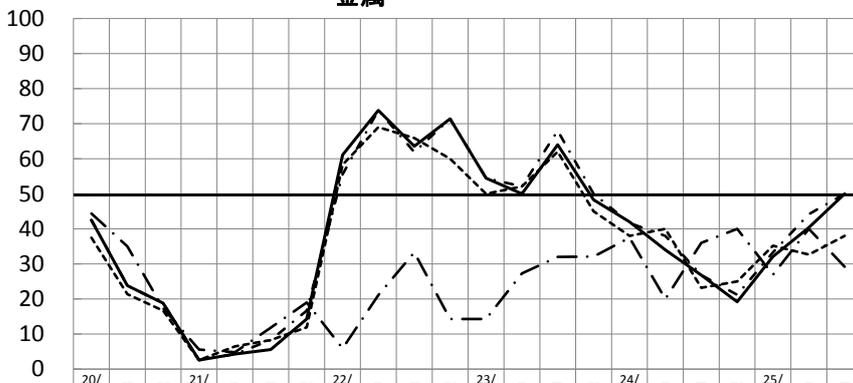
### 化学



	20/II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III
企業景気	52.6	37.5	23.9	5.0	5.3	25.0	38.2	57.5	76.5	71.4	50.0	65.8	42.9	41.3	41.3	42.5	44.1	52.4	40.9	40.5	50.0	50.0
生産加工量・販売量	57.9	50.0	26.1	7.5	2.6	27.8	35.3	57.5	76.5	71.4	55.0	66.7	38.1	41.3	40.9	42.1	46.9	50.0	39.1	45.5	57.5	52.5
経常利益	42.1	30.0	17.5	12.5	14.7	25.0	44.1	55.3	70.6	71.4	45.0	52.8	42.9	34.8	41.3	50.0	43.8	42.9	32.6	42.9	42.5	47.5
設備投資	16.7	35.0	40.9	10.0	0.0	5.9	12.5	0.0	13.3	28.6	27.8	11.8	20.0	27.3	17.4	5.3	21.4	31.6	18.2	9.5	26.3	15.8

(見通し)

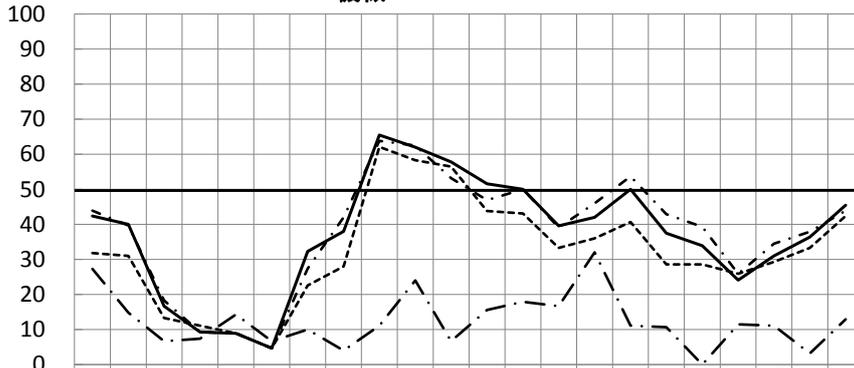
### 金属



	20/II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III
企業景気	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	5.6	14.3	61.1	73.8	63.6	71.4	54.5	50.0	64.0	48.3	42.0	34.0	26.8	19.2	32.1	40.4	50.0
生産加工量・販売量	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	8.3	16.7	55.6	73.8	61.9	71.4	54.5	52.1	68.0	50.0	41.7	38.0	26.8	21.2	33.3	44.2	50.0
経常利益	37.5	21.4	16.7	2.6	6.5	8.3	11.9	58.3	69.0	65.9	60.0	50.0	52.1	62.0	45.0	38.0	40.0	23.2	25.0	35.2	32.7	38.0
設備投資	44.4	35.0	17.4	5.6	4.8	11.8	19.0	5.9	21.1	33.3	14.3	14.3	27.3	32.0	32.1	37.5	20.0	36.0	40.0	26.9	40.0	29.2

(見通し)

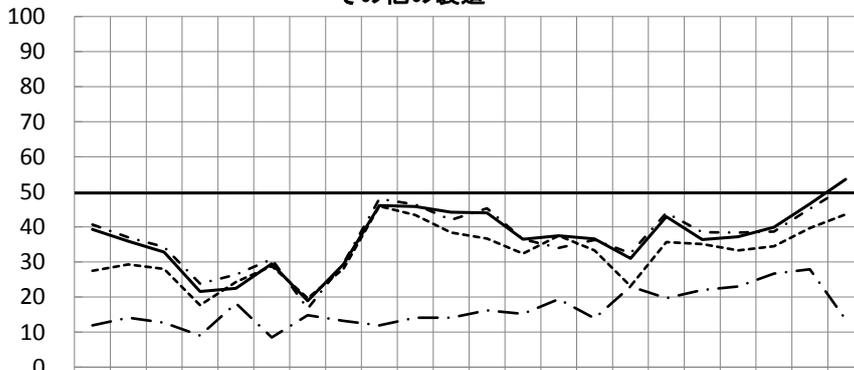
### 機械



	20/II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III
— 企業景気	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	57.8	51.6	50.0	39.6	42.0	50.0	37.5	33.9	24.1	31.0	36.4	45.5
- - 生産加工量・販売量	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	53.2	46.9	50.0	39.1	46.0	53.7	42.9	39.3	25.9	34.5	37.9	43.9
- - - 経常利益	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.5	43.8	43.1	33.3	36.0	40.7	28.6	28.6	25.9	29.3	33.3	42.4
— ・ 設備投資	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	6.7	15.6	17.9	16.7	32.0	11.1	10.7	0.0	11.5	11.1	3.2	12.9

(見通し)

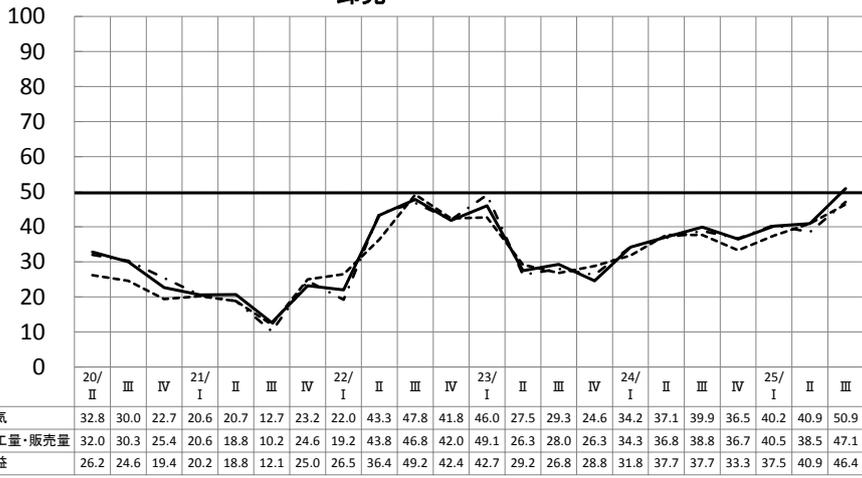
### その他の製造



	20/II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III
— 企業景気	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	44.2	44.0	36.5	37.5	36.6	31.0	42.9	36.4	37.2	39.9	46.6	53.6
- - 生産加工量・販売量	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	42.0	45.3	36.5	34.0	36.3	32.5	44.0	38.5	38.4	38.7	45.2	51.4
- - - 経常利益	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	38.4	36.7	32.4	37.5	33.3	23.1	35.7	35.1	33.3	34.5	39.7	43.6
— ・ 設備投資	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	14.1	16.2	15.2	19.4	13.9	23.0	19.7	22.0	23.0	26.7	27.9	13.6

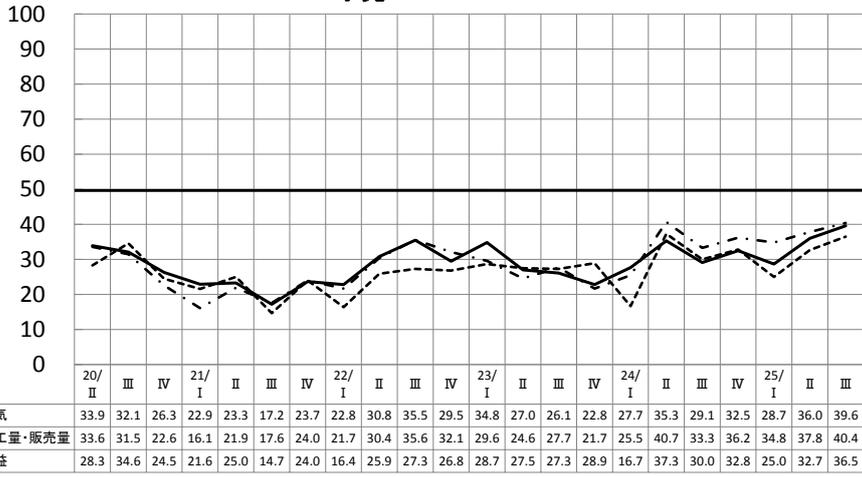
(見通し)

### 卸売



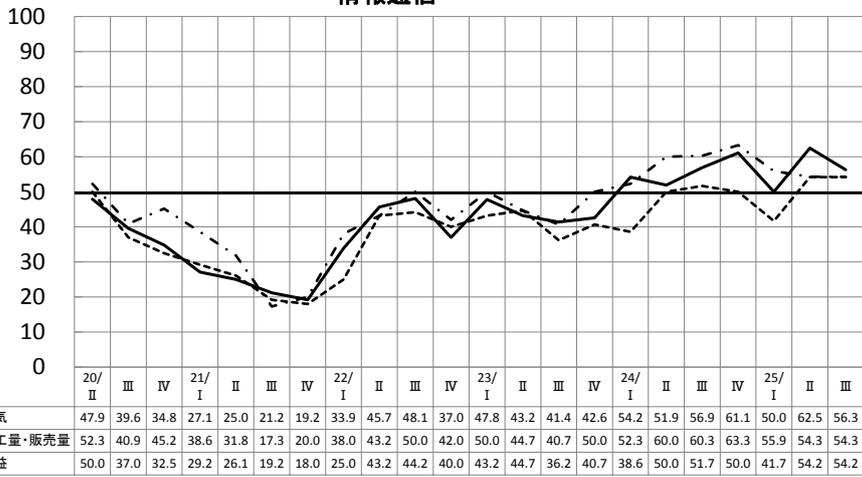
(見通し)

### 小売



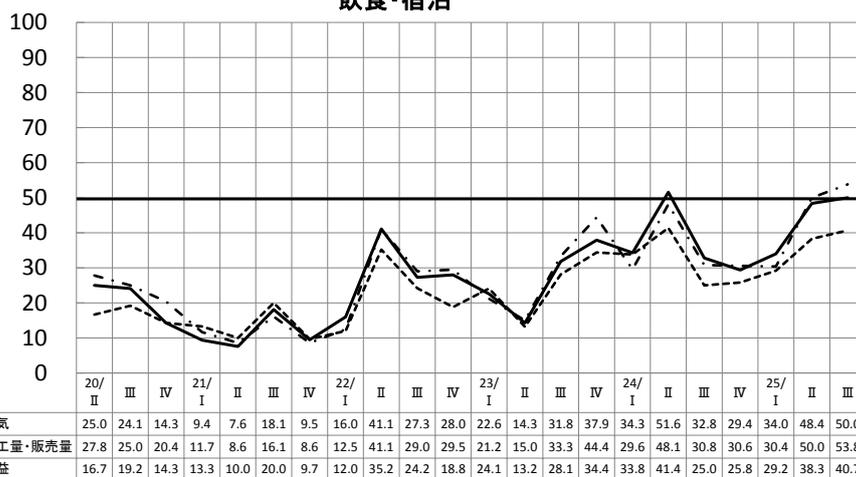
(見通し)

### 情報通信



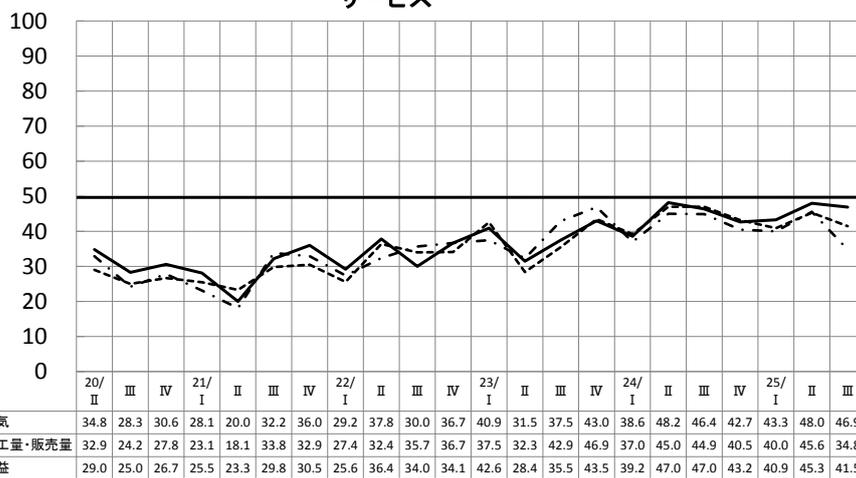
(見通し)

### 飲食・宿泊



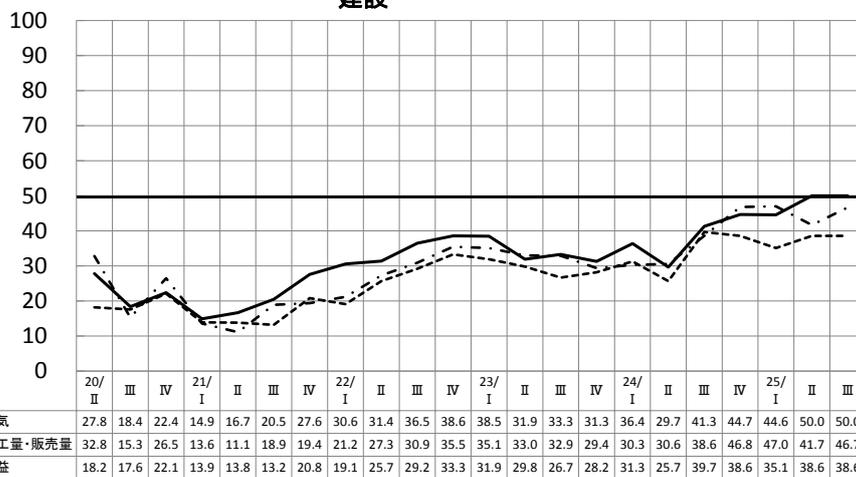
(見通し)

### サービス



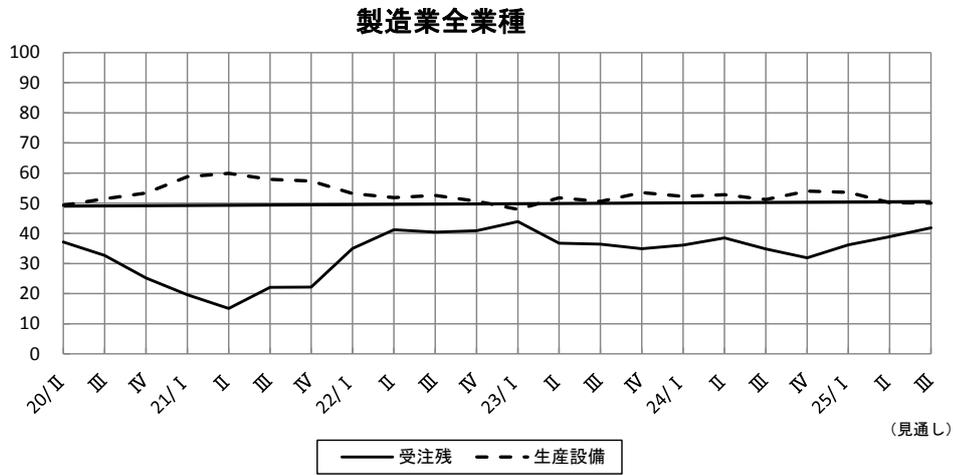
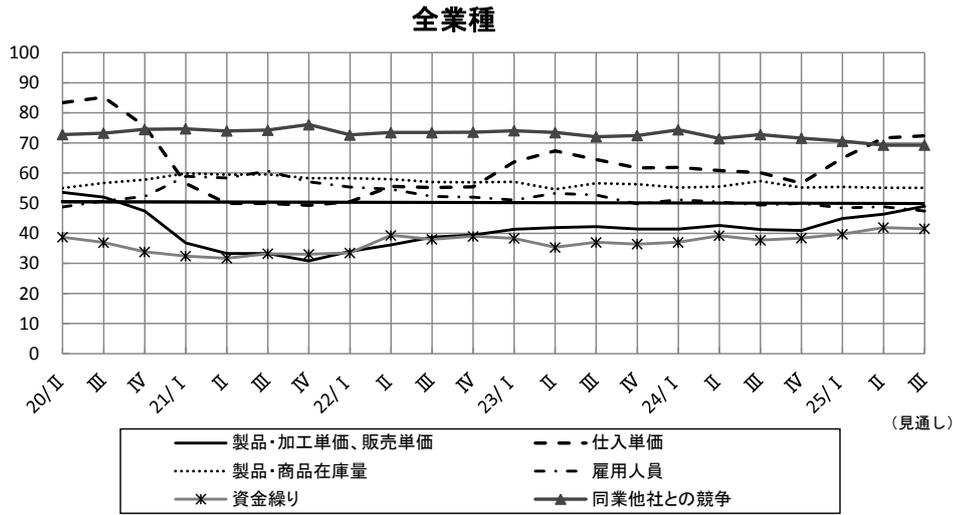
(見通し)

### 建設

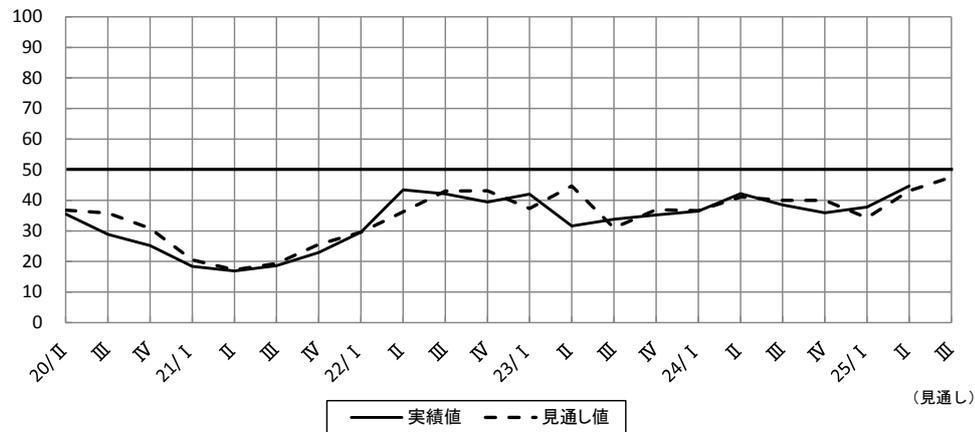


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



## 調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

### 注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

# (1) 景気動向について

## 1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

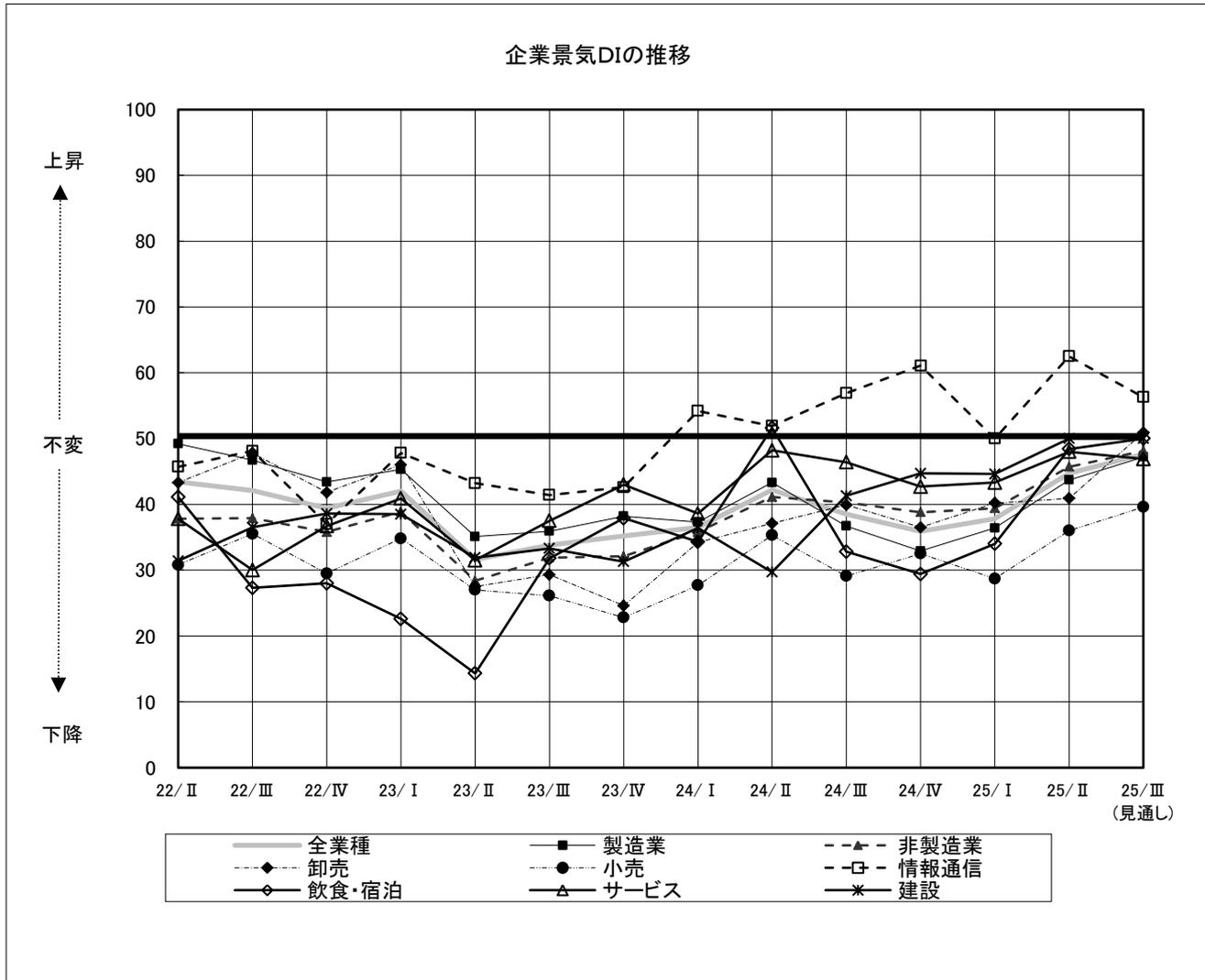


図2. 企業景気DIの推移 (製造業)

企業景気DIの推移(製造業)

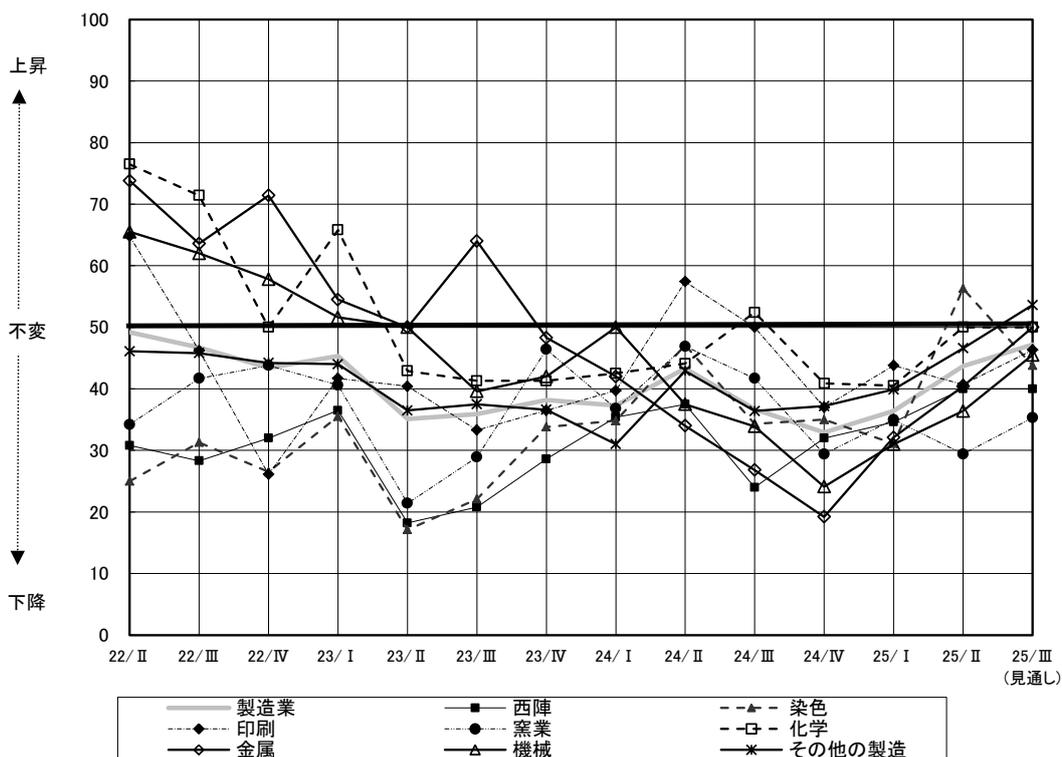


表 1. 企業景気DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	37.8	44.7	△ 6.9	47.6 △ 2.9
製造業	36.4	43.7	△ 7.3	47.2 △ 3.5
西陣	34.6	40.0	△ 5.4	40.0 △ 0.0
染色	31.1	56.3	△ 25.2	43.8 ▼ 12.5
印刷	43.8	40.7	▼ 3.1	46.3 △ 5.6
窯業	35.0	29.4	▼ 5.6	35.3 △ 5.9
化学	40.5	50.0	△ 9.5	50.0 △ 0.0
金属	32.1	40.4	△ 8.3	50.0 △ 9.6
機械	31.0	36.4	△ 5.4	45.5 △ 9.1
その他の製造	39.9	46.6	△ 6.7	53.6 △ 7.0
非製造業	39.4	45.7	△ 6.3	48.1 △ 2.4
卸売	40.2	40.9	△ 0.7	50.9 △ 10.0
小売	28.7	36.0	△ 7.3	39.6 △ 3.6
情報通信	50.0	62.5	△ 12.5	56.3 ▼ 6.2
飲食・宿泊	34.0	48.4	△ 14.4	50.0 △ 1.6
サービス	43.3	48.0	△ 4.7	46.9 ▼ 1.1
建設	44.6	50.0	△ 5.4	50.0 △ 0.0
観光関連	37.8	55.8	△ 18.0	56.0 △ 0.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

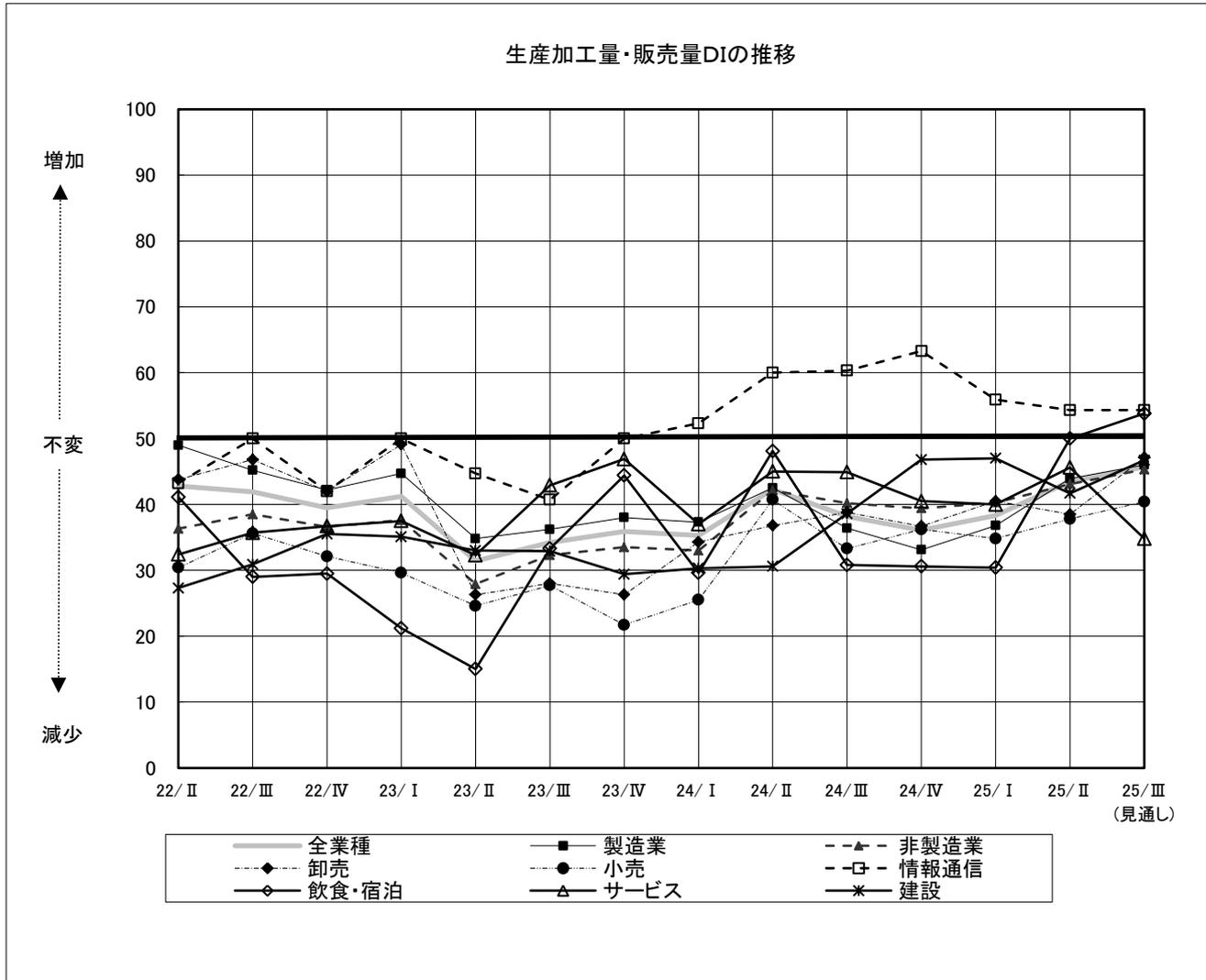


図4. 生産加工量・販売量DIの推移 (製造業)

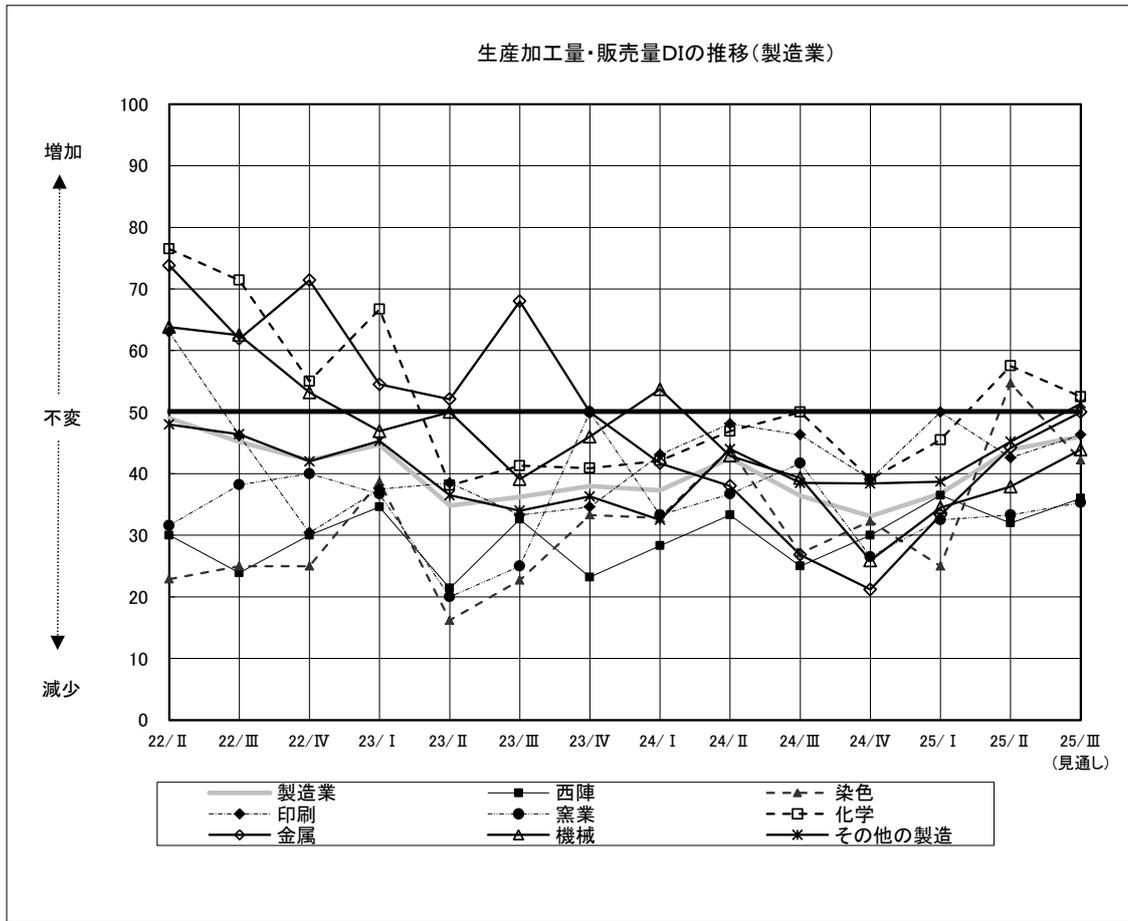


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.3	43.5	△ 5.2	45.7 △ 2.2
製造業	36.8	43.9	△ 7.1	46.0 △ 2.1
西陣	36.5	32.0	▼ 4.5	36.0 △ 4.0
染色	25.0	54.7	△ 29.7	42.2 ▼ 12.5
印刷	50.0	42.6	▼ 7.4	46.3 △ 3.7
窯業	32.5	33.3	△ 0.8	35.3 △ 2.0
化学	45.5	57.5	△ 12.0	52.5 ▼ 5.0
金属	33.3	44.2	△ 10.9	50.0 △ 5.8
機械	34.5	37.9	△ 3.4	43.9 △ 6.0
その他の製造	38.7	45.2	△ 6.5	51.4 △ 6.2
非製造業	40.3	43.1	△ 2.8	45.3 △ 2.2
卸売	40.5	38.5	▼ 2.0	47.1 △ 8.6
小売	34.8	37.8	△ 3.0	40.4 △ 2.6
情報通信	55.9	54.3	▼ 1.6	54.3 △ 0.0
飲食・宿泊	30.4	50.0	△ 19.6	53.8 △ 3.8
サービス	40.0	45.6	△ 5.6	34.8 ▼ 10.8
建設	47.0	41.7	▼ 5.3	46.7 △ 5.0
観光関連	37.0	57.1	△ 20.1	57.3 △ 0.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

### 3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

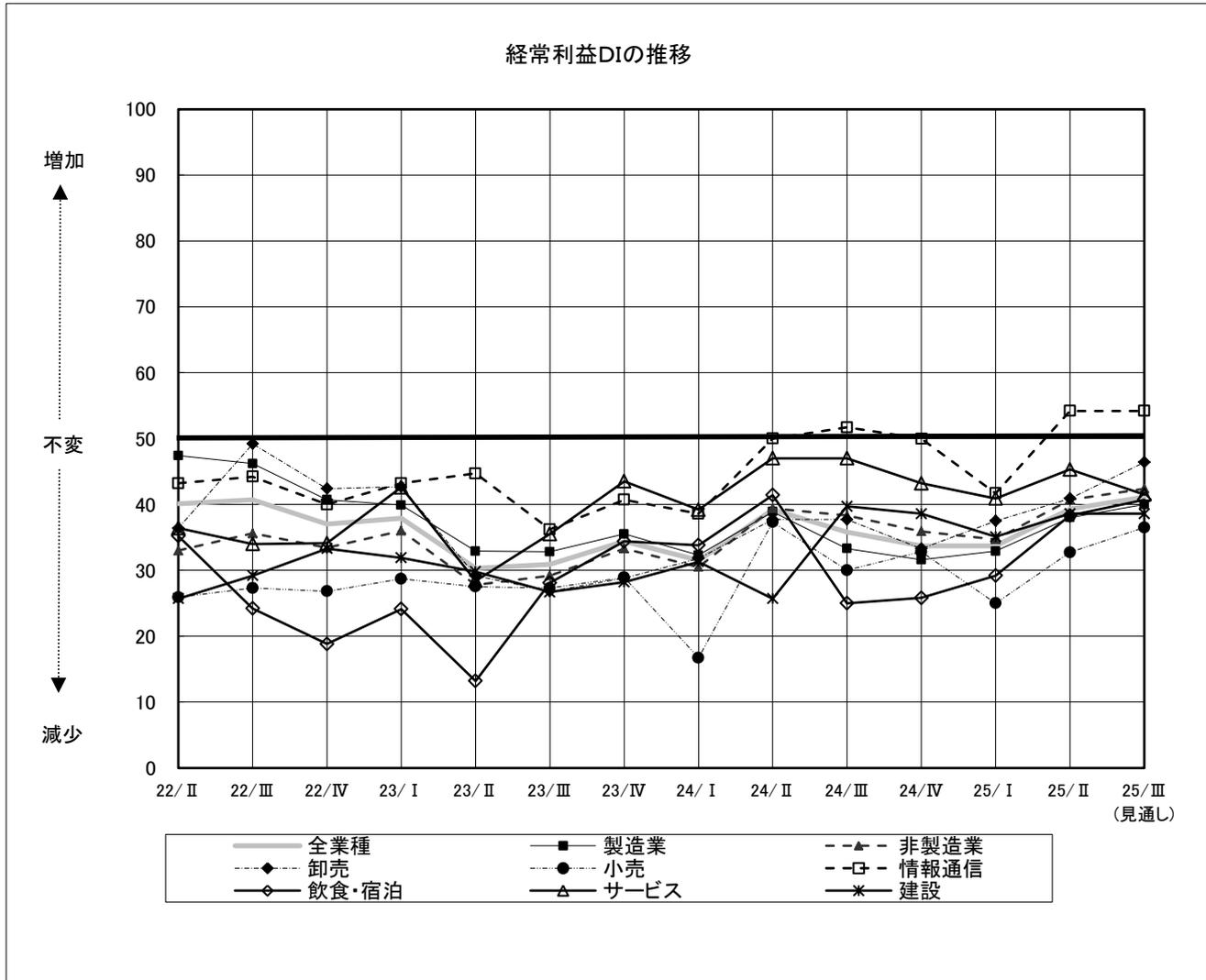


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

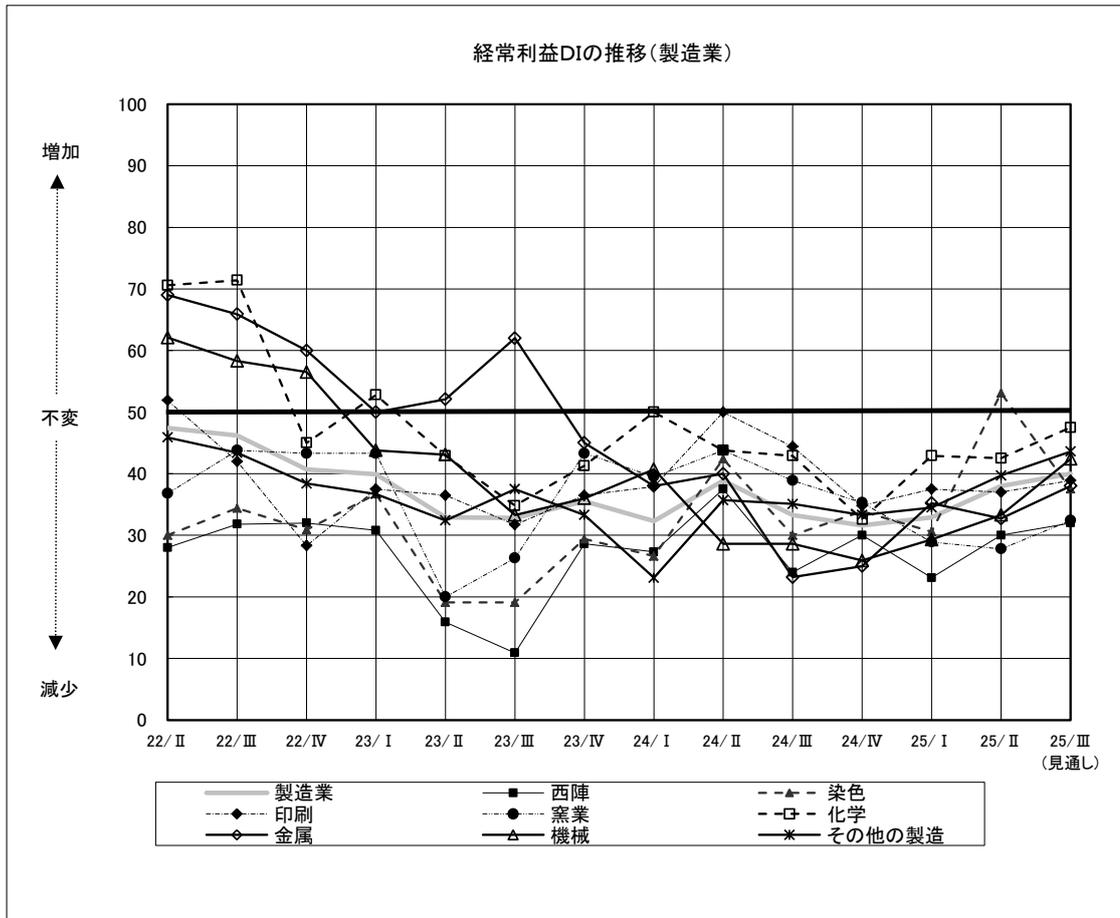


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	33.7	39.3	△ 5.6	41.1 △ 1.8
製造業	32.9	38.0	△ 5.1	40.0 △ 2.0
西陣	23.1	30.0	△ 6.9	32.0 △ 2.0
染色	30.6	53.1	△ 22.5	37.5 ▼ 15.6
印刷	37.5	37.0	▼ 0.5	38.9 △ 1.9
窯業	28.9	27.8	▼ 1.1	32.4 △ 4.6
化学	42.9	42.5	▼ 0.4	47.5 △ 5.0
金属	35.2	32.7	▼ 2.5	38.0 △ 5.3
機械	29.3	33.3	△ 4.0	42.4 △ 9.1
その他の製造	34.5	39.7	△ 5.2	43.6 △ 3.9
非製造業	34.7	40.7	△ 6.0	42.4 △ 1.7
卸売	37.5	40.9	△ 3.4	46.4 △ 5.5
小売	25.0	32.7	△ 7.7	36.5 △ 3.8
情報通信	41.7	54.2	△ 12.5	54.2 △ 0.0
飲食・宿泊	29.2	38.3	△ 9.1	40.7 △ 2.4
サービス	40.9	45.3	△ 4.4	41.5 ▼ 3.8
建設	35.1	38.6	△ 3.5	38.6 △ 0.0
観光関連	35.4	52.3	△ 16.9	48.8 ▼ 3.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

#### 4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

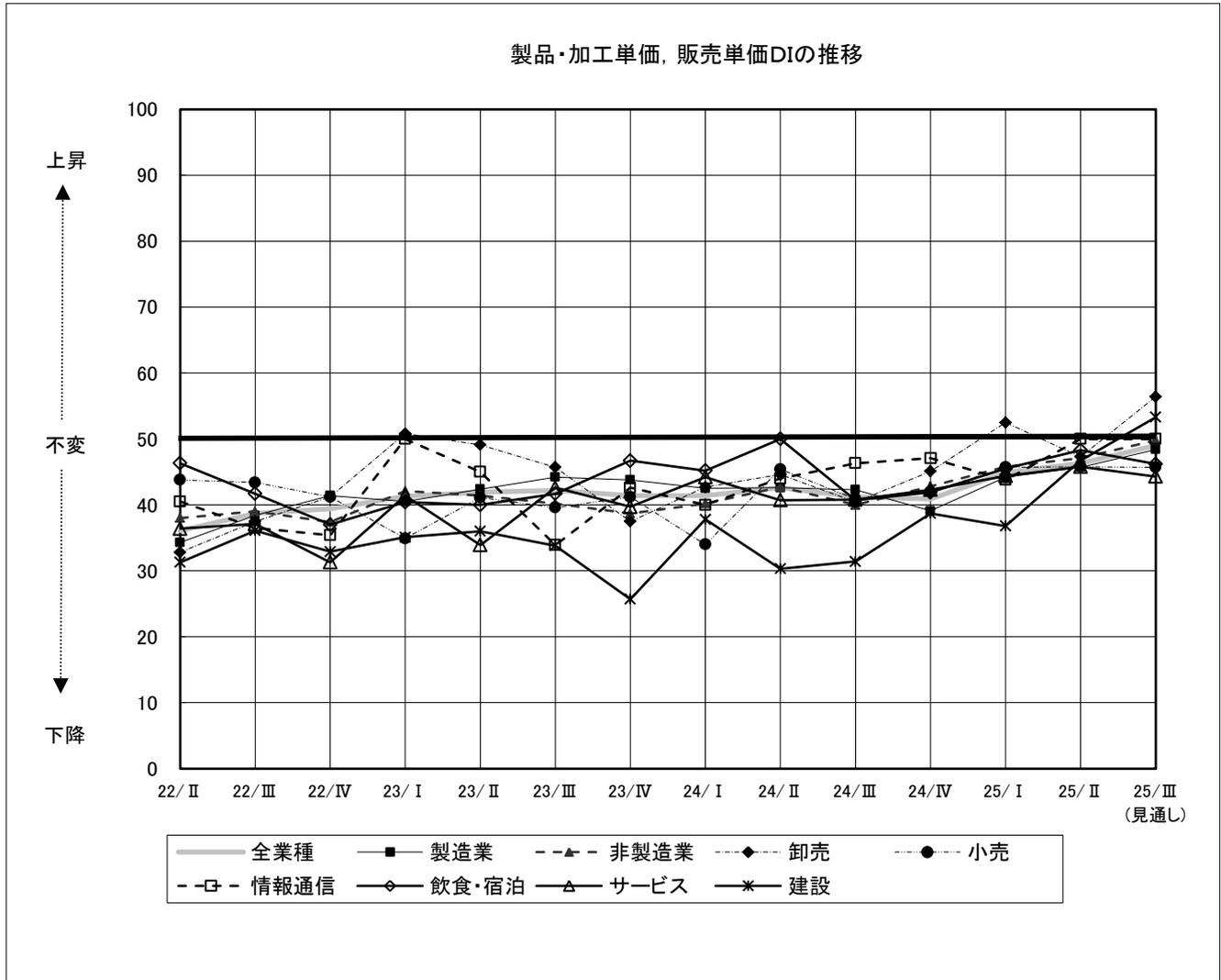


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

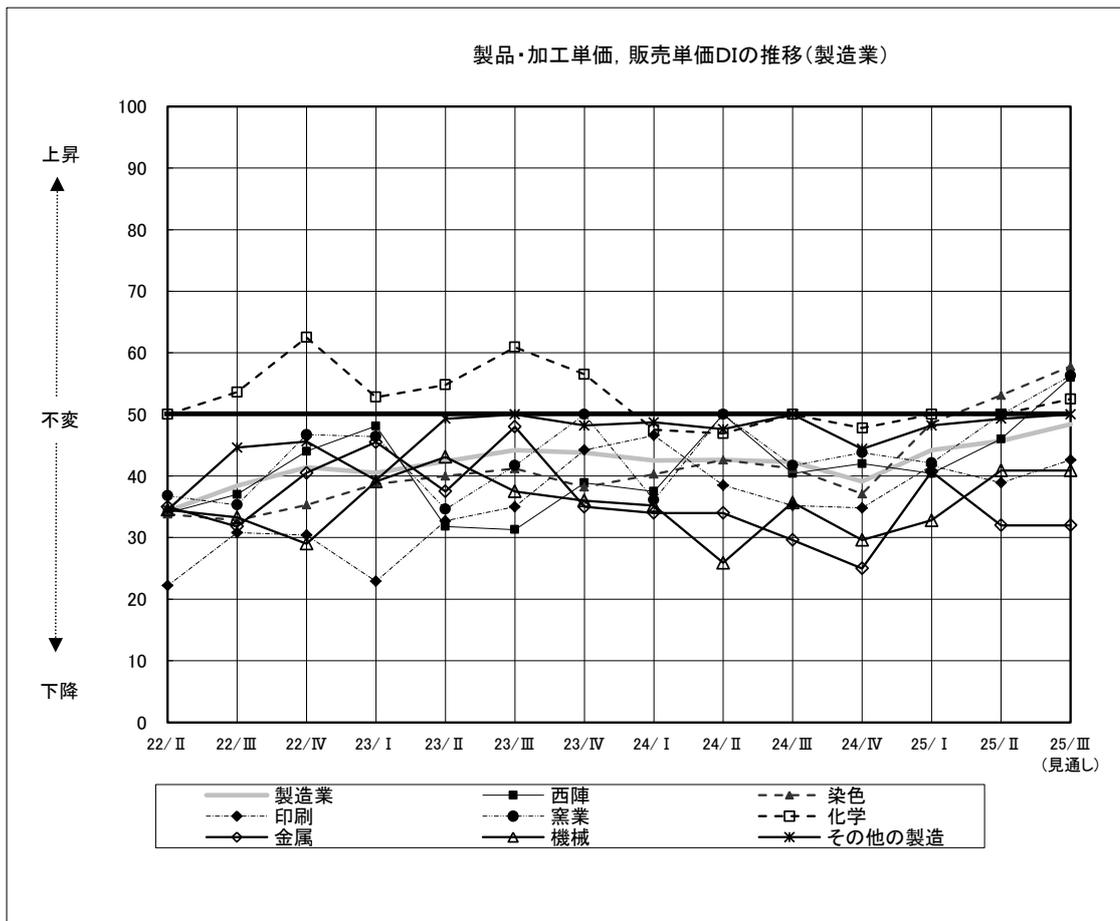


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	44.9	46.3	△ 1.4	49.0	△ 2.7
製造業	44.2	45.7	△ 1.5	48.4	△ 2.7
西陣	40.4	46.0	△ 5.6	56.0	△ 10.0
染色	48.6	53.1	△ 4.5	57.8	△ 4.7
印刷	41.7	38.9	▼ 2.8	42.6	△ 3.7
窯業	42.1	50.0	△ 7.9	56.3	△ 6.3
化学	50.0	50.0	△ 0.0	52.5	△ 2.5
金属	40.7	32.0	▼ 8.7	32.0	△ 0.0
機械	32.8	40.9	△ 8.1	40.9	△ 0.0
その他の製造	48.2	49.3	△ 1.1	50.0	△ 0.7
非製造業	45.8	47.1	△ 1.3	49.8	△ 2.7
卸売	52.5	47.3	▼ 5.2	56.4	△ 9.1
小売	45.7	45.8	△ 0.1	45.7	▼ 0.1
情報通信	43.8	50.0	△ 6.2	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	45.5	48.3	△ 2.8	46.2	▼ 2.1
サービス	44.4	45.8	△ 1.4	44.3	▼ 1.5
建設	36.8	46.7	△ 9.9	53.3	△ 6.6
観光関連	48.9	52.4	△ 3.5	51.2	▼ 1.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

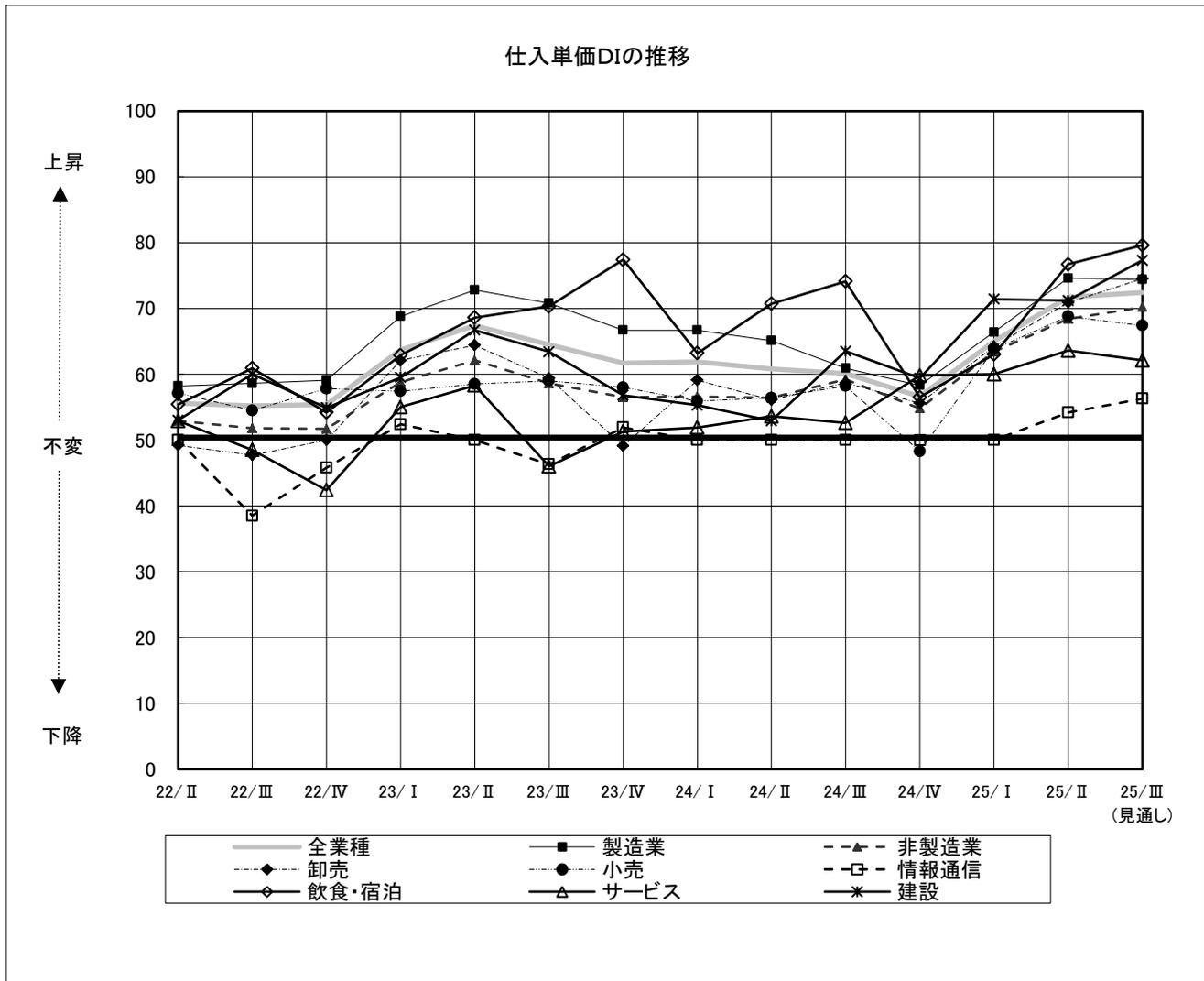


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

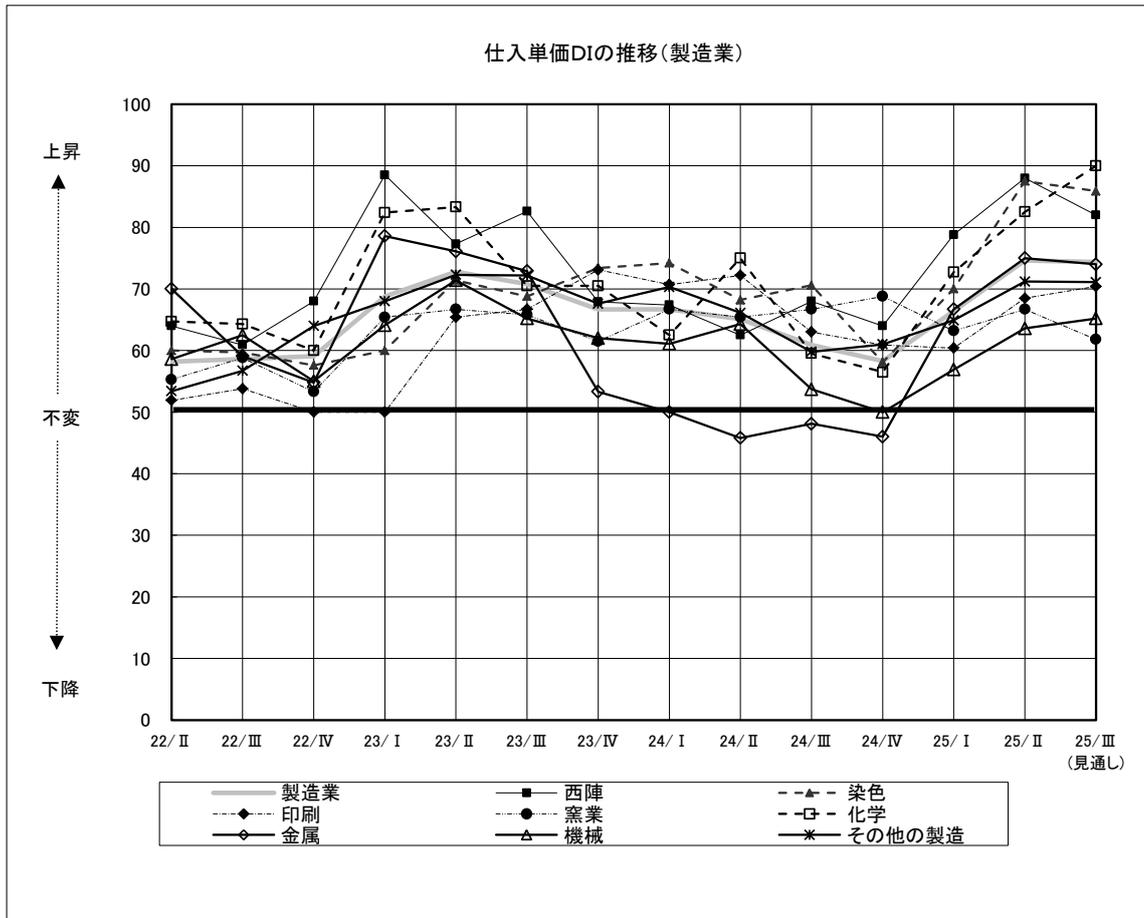


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	65.0	71.7	△ 6.7	72.4 △ 0.7
製造業	66.4	74.6	△ 8.2	74.4 ▼ 0.2
西陣	78.8	88.0	△ 9.2	82.0 ▼ 6.0
染色	70.0	87.5	△ 17.5	85.9 ▼ 1.6
印刷	60.4	68.5	△ 8.1	70.4 △ 1.9
窯業	63.2	66.7	△ 3.5	61.8 ▼ 4.9
化学	72.7	82.5	△ 9.8	90.0 △ 7.5
金属	66.7	75.0	△ 8.3	74.0 ▼ 1.0
機械	56.9	63.6	△ 6.7	65.2 △ 1.6
その他の製造	64.9	71.2	△ 6.3	71.1 ▼ 0.1
非製造業	63.4	68.4	△ 5.0	70.2 △ 1.8
卸売	64.2	70.9	△ 6.7	74.5 △ 3.6
小売	63.8	68.8	△ 5.0	67.4 ▼ 1.4
情報通信	50.0	54.2	△ 4.2	56.3 △ 2.1
飲食・宿泊	63.0	76.7	△ 13.7	79.6 △ 2.9
サービス	60.0	63.6	△ 3.6	62.1 ▼ 1.5
建設	71.4	71.2	▼ 0.2	77.3 △ 6.1
観光関連	61.7	69.8	△ 8.1	69.0 ▼ 0.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

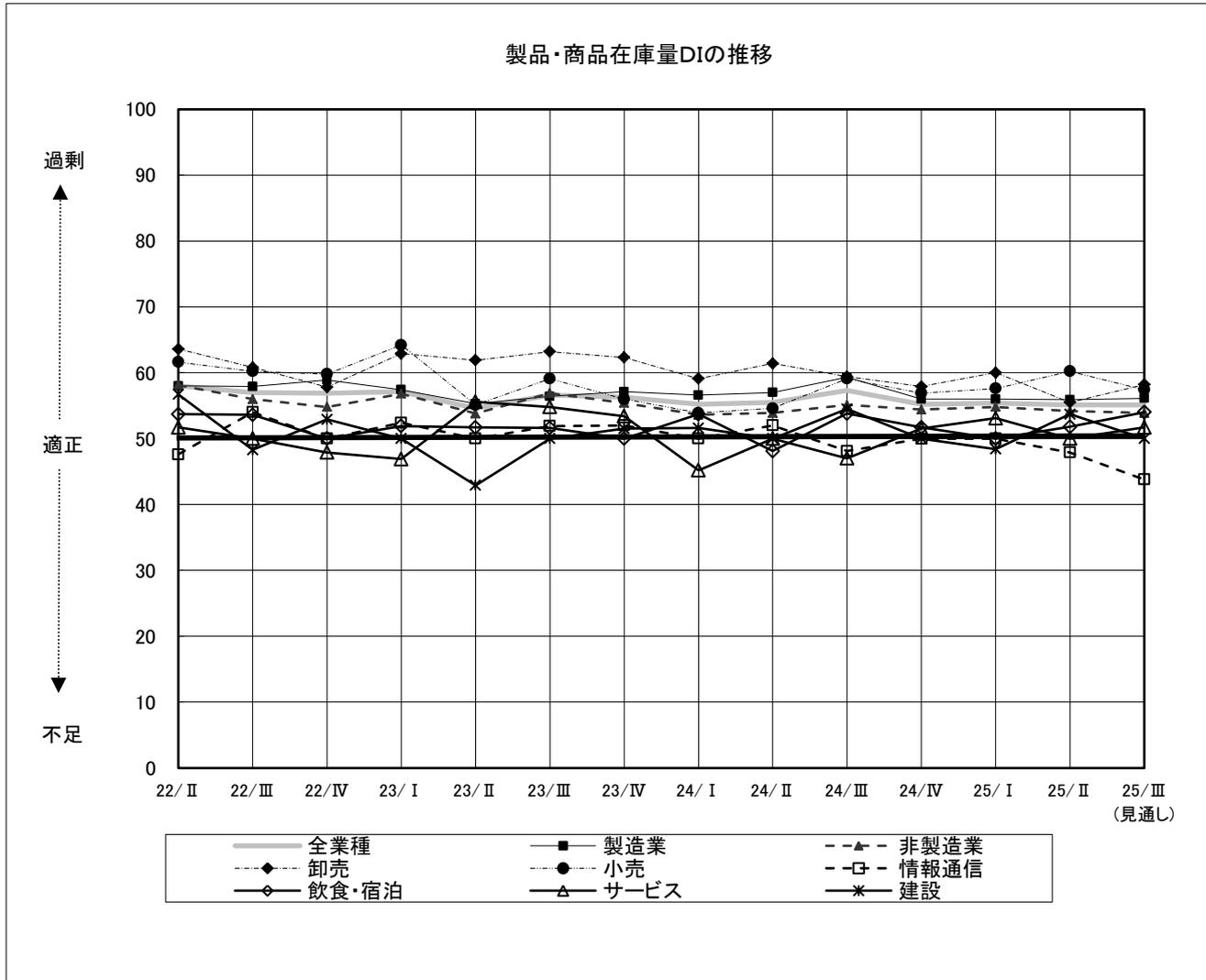


図12. 製品・商品在庫量DIの推移（製造業）

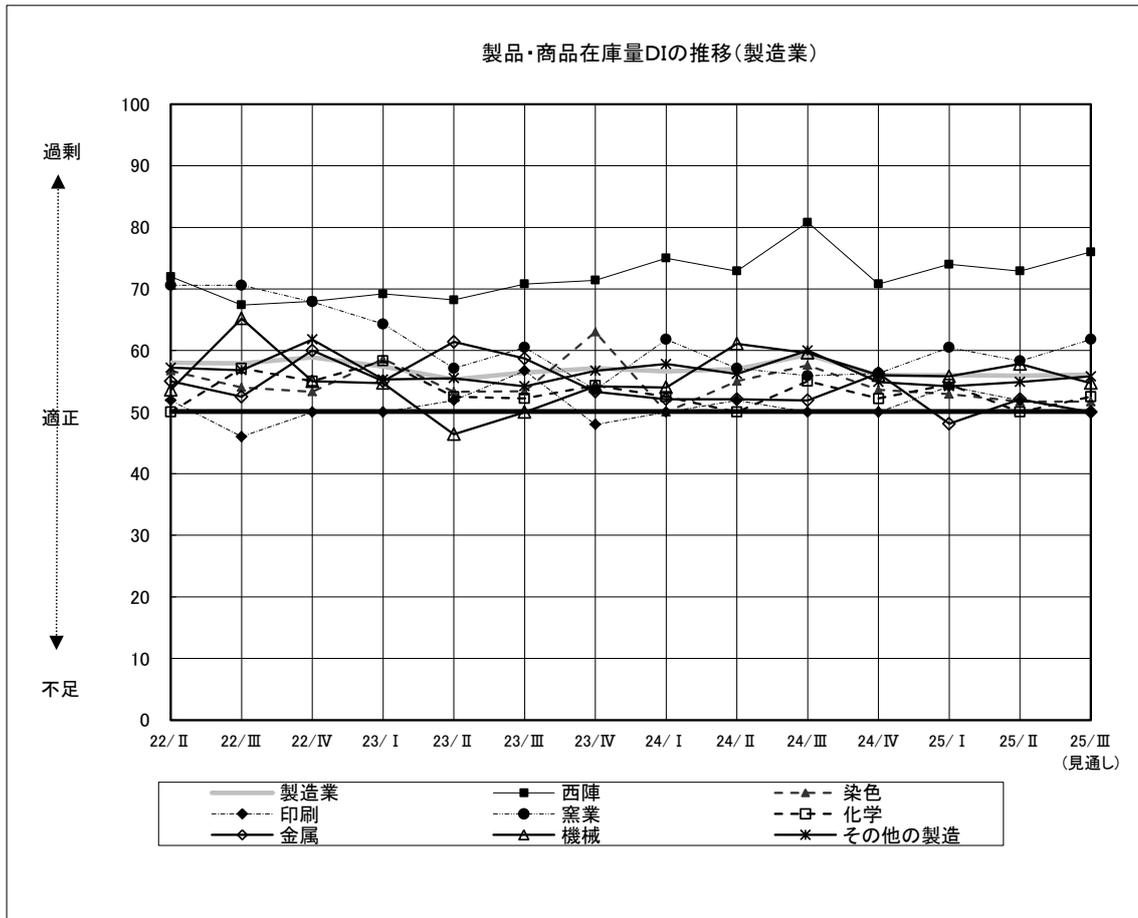


表6. 製品・商品在庫量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.4	55.1	▼ 0.3	55.1	△ 0.0
製造業	56.0	55.9	▼ 0.1	56.1	△ 0.2
西陣	74.0	72.9	▼ 1.1	76.0	△ 3.1
染色	52.9	51.7	▼ 1.2	51.7	△ 0.0
印刷	54.2	51.9	▼ 2.3	50.0	▼ 1.9
窯業	60.5	58.3	▼ 2.2	61.8	△ 3.5
化学	54.5	50.0	▼ 4.5	52.5	△ 2.5
金属	48.1	52.1	△ 4.0	50.0	▼ 2.1
機械	55.8	57.8	△ 2.0	54.7	▼ 3.1
その他の製造	54.2	54.9	△ 0.7	55.8	△ 0.9
非製造業	54.8	54.2	▼ 0.6	53.9	▼ 0.3
卸売	60.0	55.5	▼ 4.5	58.2	△ 2.7
小売	57.6	60.2	△ 2.6	57.4	▼ 2.8
情報通信	50.0	47.9	▼ 2.1	43.8	▼ 4.1
飲食・宿泊	50.0	51.8	△ 1.8	54.0	△ 2.2
サービス	53.1	50.0	▼ 3.1	51.7	△ 1.7
建設	48.4	53.7	△ 5.3	50.0	▼ 3.7
観光関連	54.3	54.8	△ 0.5	53.7	▼ 1.1

## 7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移（全体）

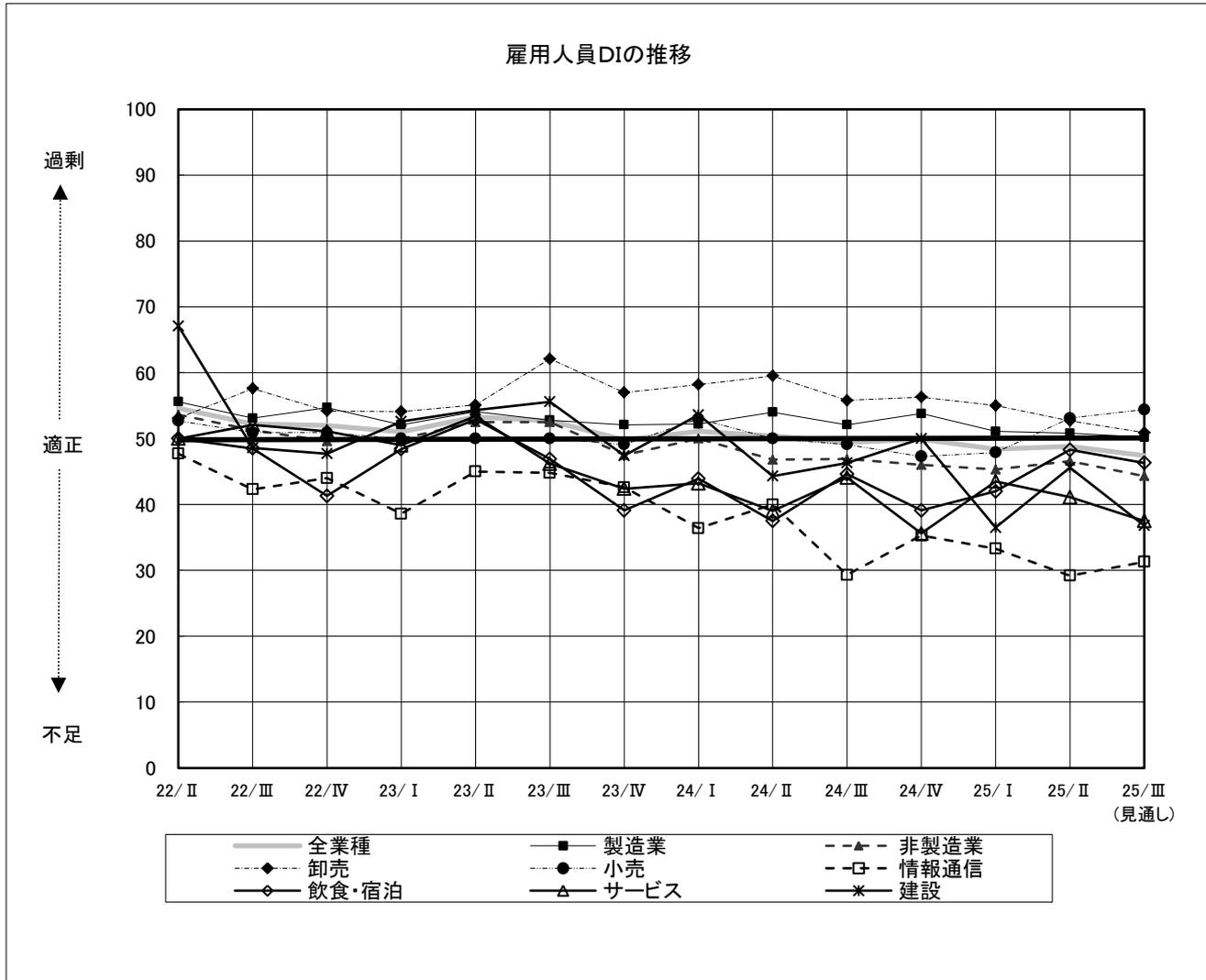


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

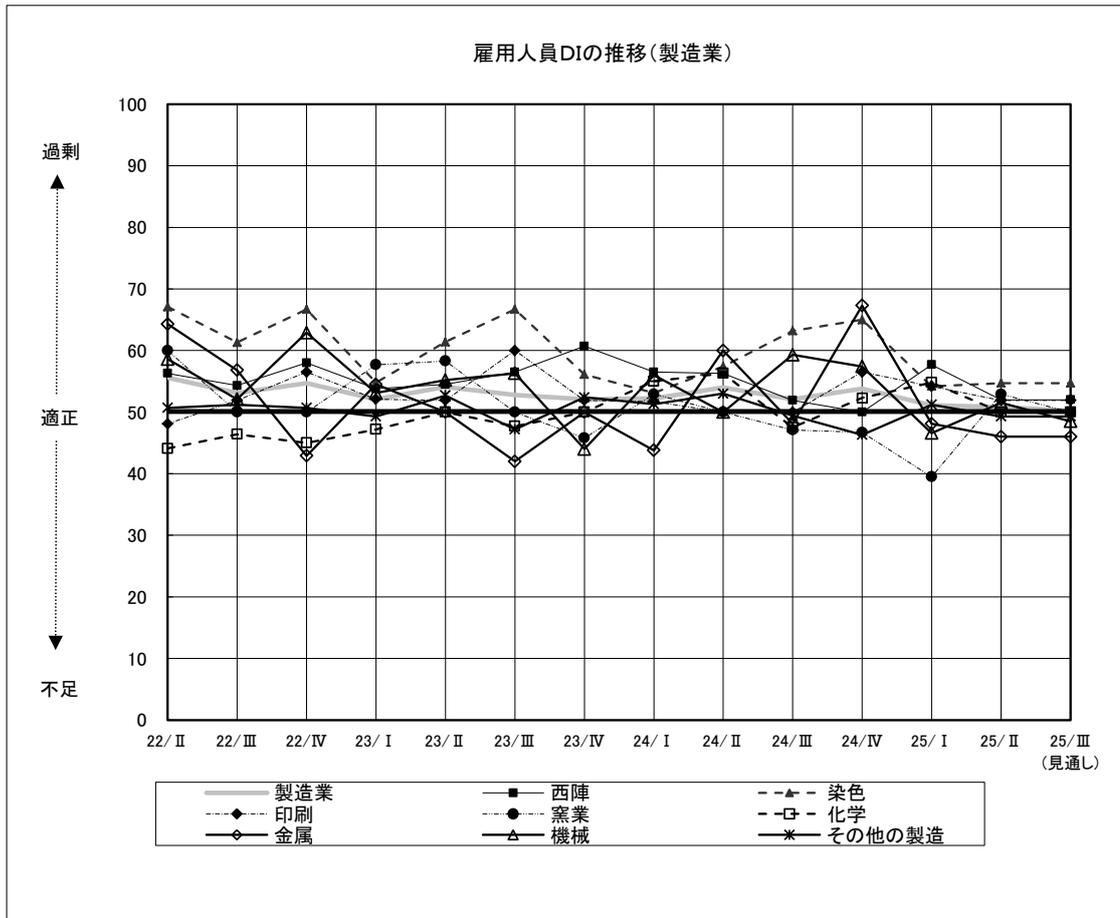


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	48.4	48.8	△ 0.4	▼ 1.4
製造業	51.1	50.8	▼ 0.3	▼ 0.6
西陣	57.7	52.0	▼ 5.7	△ 0.0
染色	54.2	54.7	△ 0.5	△ 0.0
印刷	54.2	51.9	▼ 2.3	△ 0.0
窯業	39.5	52.9	△ 13.4	▼ 2.9
化学	54.8	50.0	▼ 4.8	△ 0.0
金属	48.1	46.0	▼ 2.1	△ 0.0
機械	46.6	51.5	△ 4.9	▼ 3.0
その他の製造	51.2	49.3	▼ 1.9	△ 0.0
非製造業	45.3	46.6	△ 1.3	▼ 2.3
卸売	55.0	52.7	▼ 2.3	▼ 1.8
小売	47.9	53.1	△ 5.2	△ 1.3
情報通信	33.3	29.2	▼ 4.1	△ 2.1
飲食・宿泊	42.0	48.3	△ 6.3	▼ 2.0
サービス	43.5	41.1	▼ 2.4	▼ 3.6
建設	36.5	45.6	△ 9.1	▼ 8.8
観光関連	43.8	43.0	▼ 0.8	▼ 0.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移（全体）

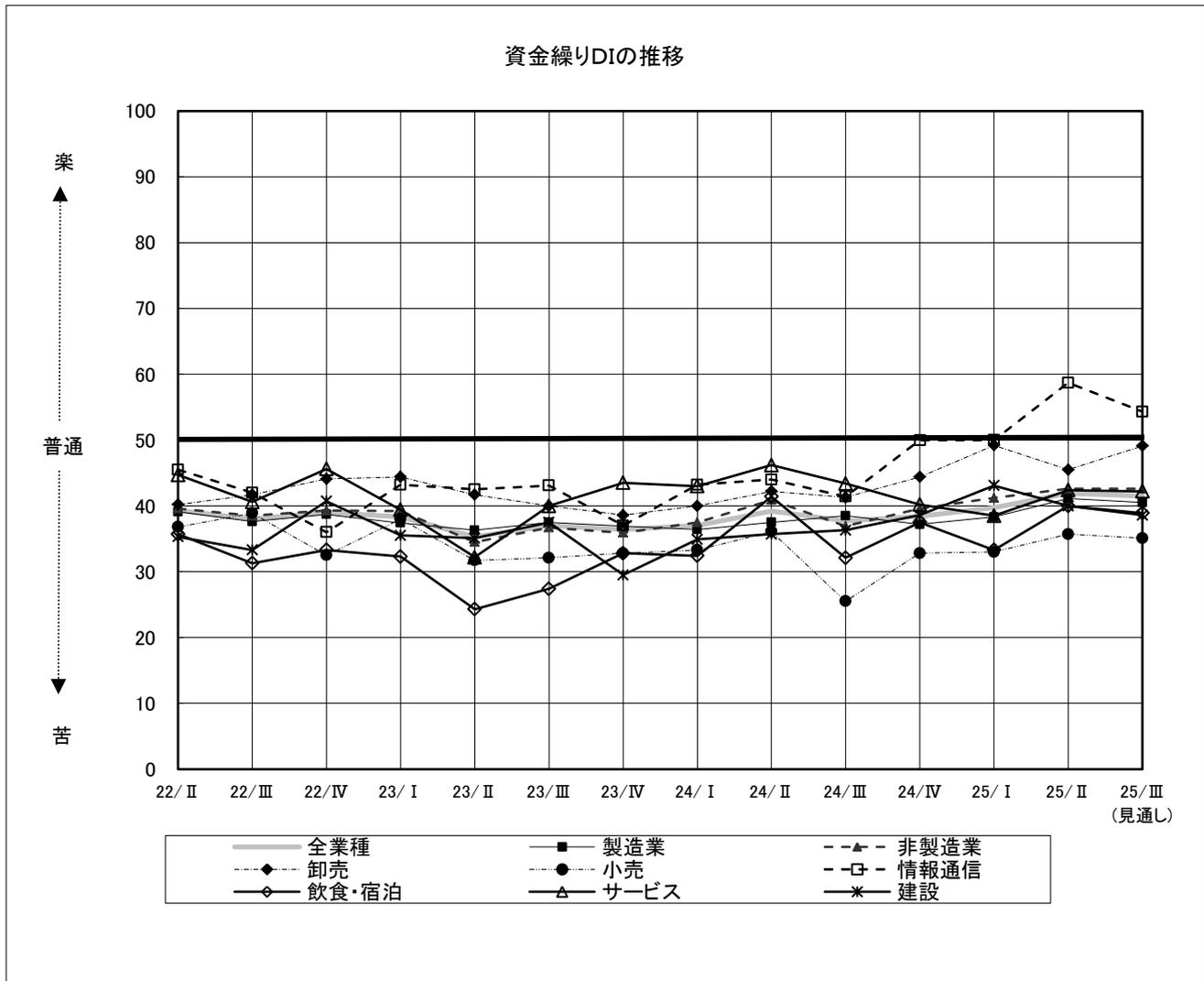


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

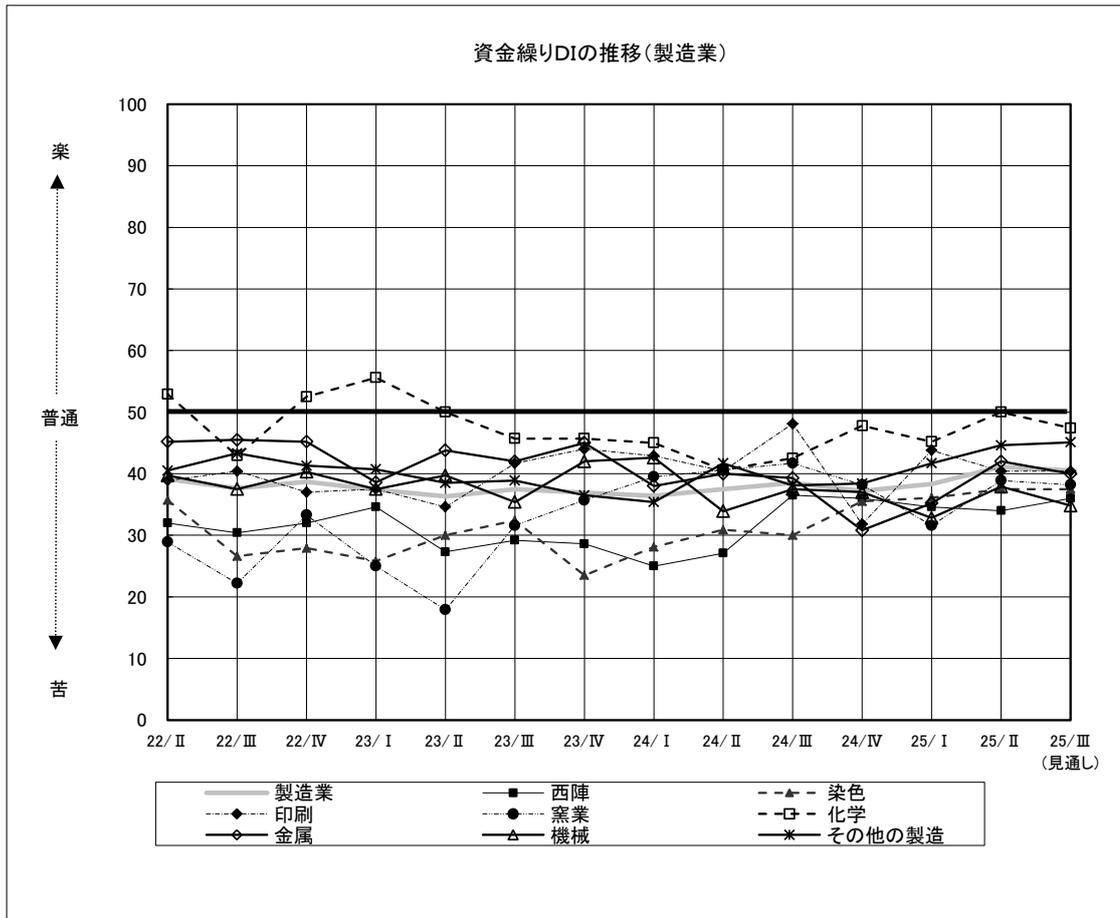


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	39.7	41.9	△ 2.2	▼ 0.4
製造業	38.3	41.1	△ 2.8	▼ 0.6
西陣	34.6	34.0	▼ 0.6	△ 2.0
染色	36.1	37.5	△ 1.4	△ 0.0
印刷	43.8	40.4	▼ 3.4	△ 0.0
窯業	31.6	38.9	△ 7.3	▼ 0.7
化学	45.2	50.0	△ 4.8	▼ 2.6
金属	35.2	42.0	△ 6.8	▼ 2.0
機械	32.8	37.9	△ 5.1	▼ 3.1
その他の製造	41.7	44.6	△ 2.9	△ 0.5
非製造業	41.2	42.6	△ 1.4	△ 0.0
卸売	49.2	45.5	▼ 3.7	△ 3.6
小売	33.0	35.7	△ 2.7	▼ 0.6
情報通信	50.0	58.7	△ 8.7	▼ 4.4
飲食・宿泊	33.3	40.0	△ 6.7	▼ 1.1
サービス	38.5	42.4	△ 3.9	▼ 0.2
建設	43.1	40.0	▼ 3.1	▼ 1.4
観光関連	35.4	41.9	△ 6.5	△ 1.0

## 9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

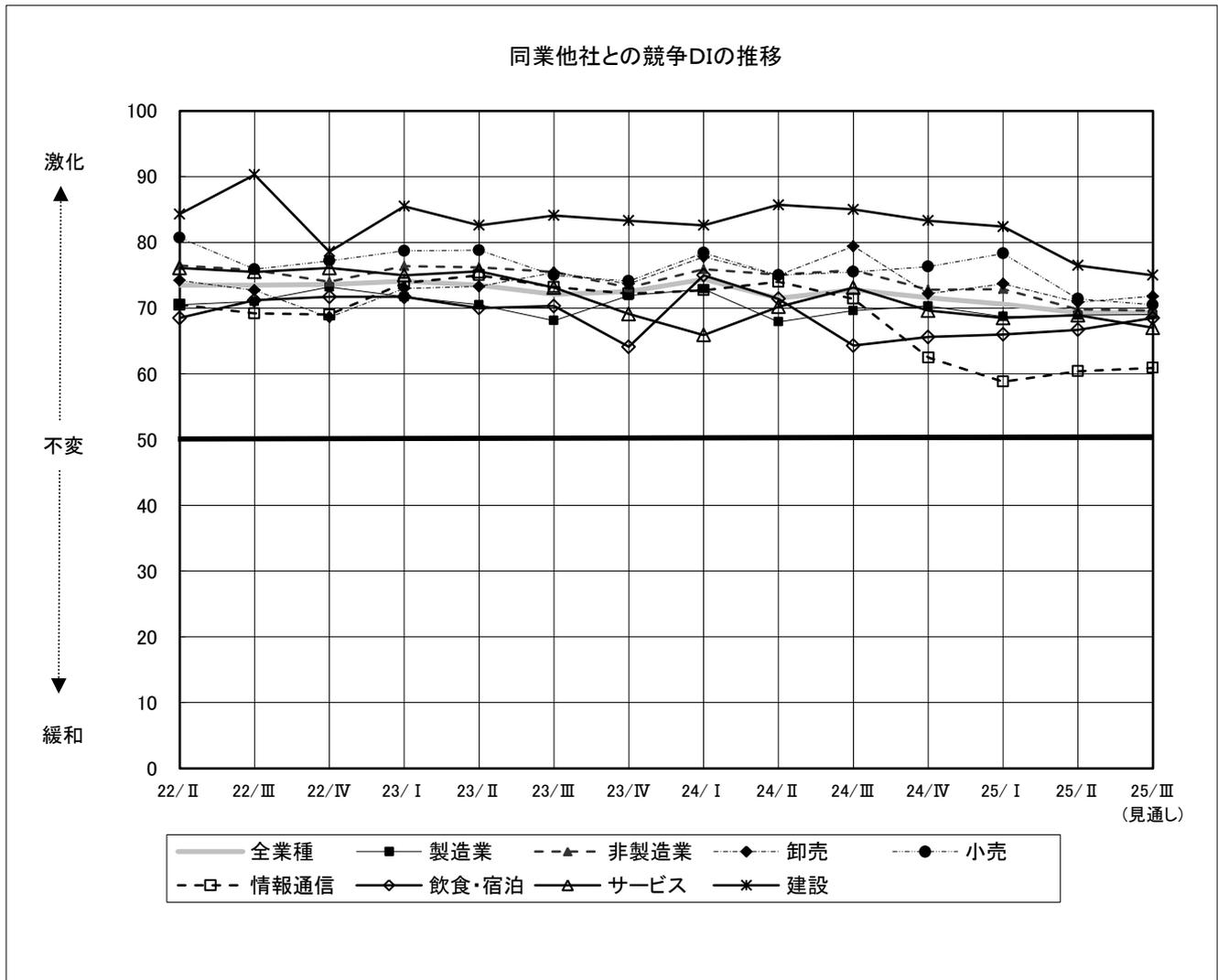


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

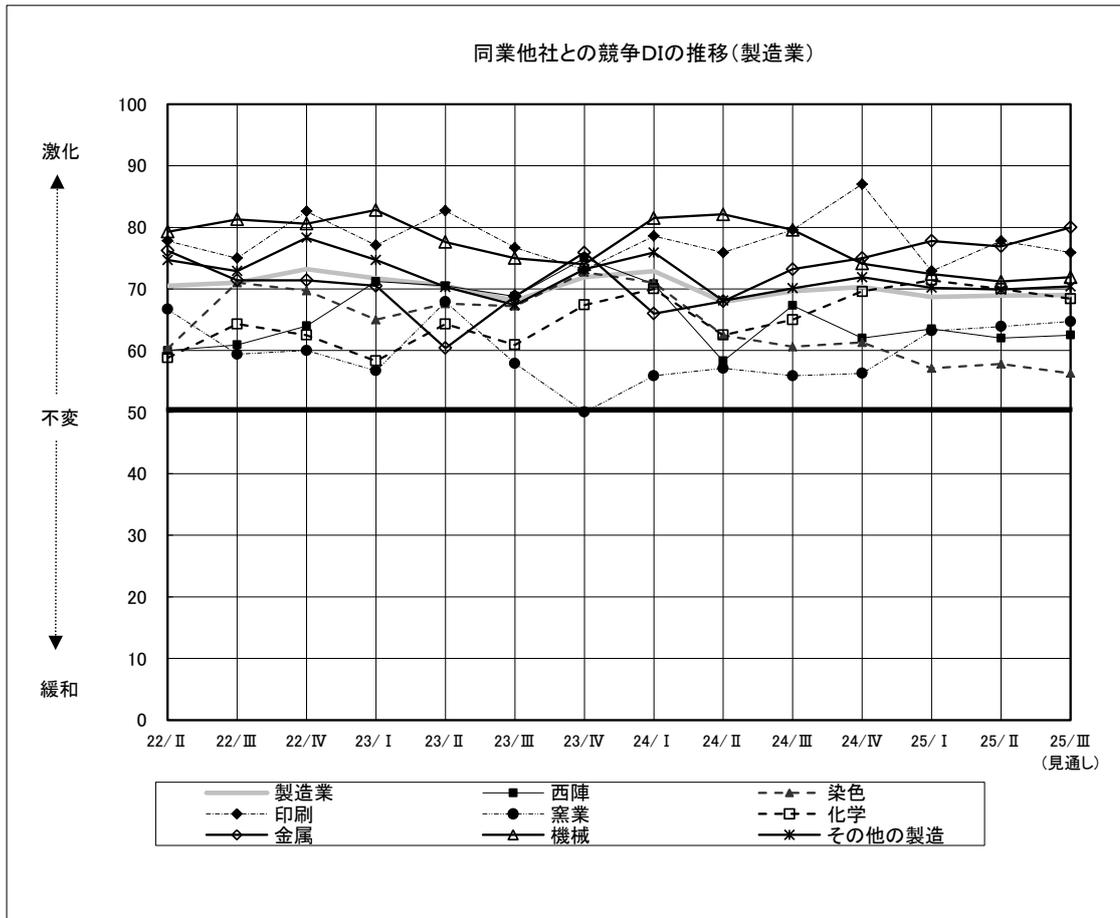


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	70.6	69.3	▼ 1.3	69.3	△ 0.0
製造業	68.7	68.9	△ 0.2	69.0	△ 0.1
西陣	63.5	62.0	▼ 1.5	62.5	△ 0.5
染色	57.1	57.8	△ 0.7	56.3	▼ 1.5
印刷	72.9	77.8	△ 4.9	75.9	▼ 1.9
窯業	63.2	63.9	△ 0.7	64.7	△ 0.8
化学	71.4	70.0	▼ 1.4	68.4	▼ 1.6
金属	77.8	76.9	▼ 0.9	80.0	△ 3.1
機械	72.4	71.2	▼ 1.2	71.9	△ 0.7
その他の製造	70.2	69.9	▼ 0.3	70.4	△ 0.5
非製造業	72.9	69.8	▼ 3.1	69.6	▼ 0.2
卸売	73.7	70.9	▼ 2.8	71.8	△ 0.9
小売	78.3	71.4	▼ 6.9	70.5	▼ 0.9
情報通信	58.8	60.4	△ 1.6	60.9	△ 0.5
飲食・宿泊	66.0	66.7	△ 0.7	68.5	△ 1.8
サービス	68.5	68.9	△ 0.4	67.0	▼ 1.9
建設	82.4	76.5	▼ 5.9	75.0	▼ 1.5
観光関連	71.3	69.8	▼ 1.5	70.2	△ 0.4

# 10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

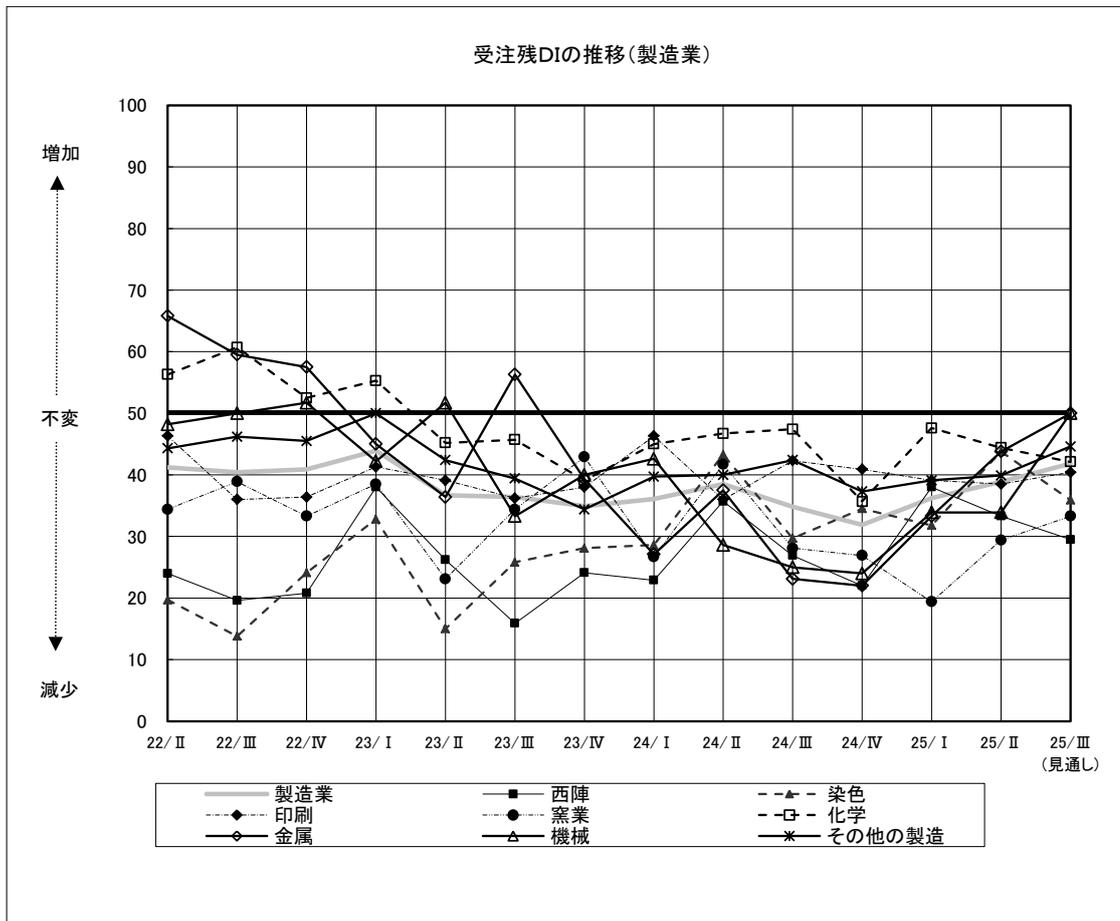


表10. 受注残DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	36.2	38.9	△ 2.7	41.8	△ 2.9
西陣	38.0	33.3	▼ 4.7	29.5	▼ 3.8
染色	31.8	43.8	△ 12.0	35.9	▼ 7.9
印刷	39.1	38.5	▼ 0.6	40.4	△ 1.9
窯業	19.4	29.4	△ 10.0	33.3	△ 3.9
化学	47.6	44.4	▼ 3.2	42.1	▼ 2.3
金属	33.3	43.8	△ 10.5	50.0	△ 6.2
機械	33.9	33.9	△ 0.0	50.0	△ 16.1
その他の製造	39.1	39.9	△ 0.8	44.6	△ 4.7
観光関連	37.5	54.2	△ 16.7	50.0	▼ 4.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 11. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

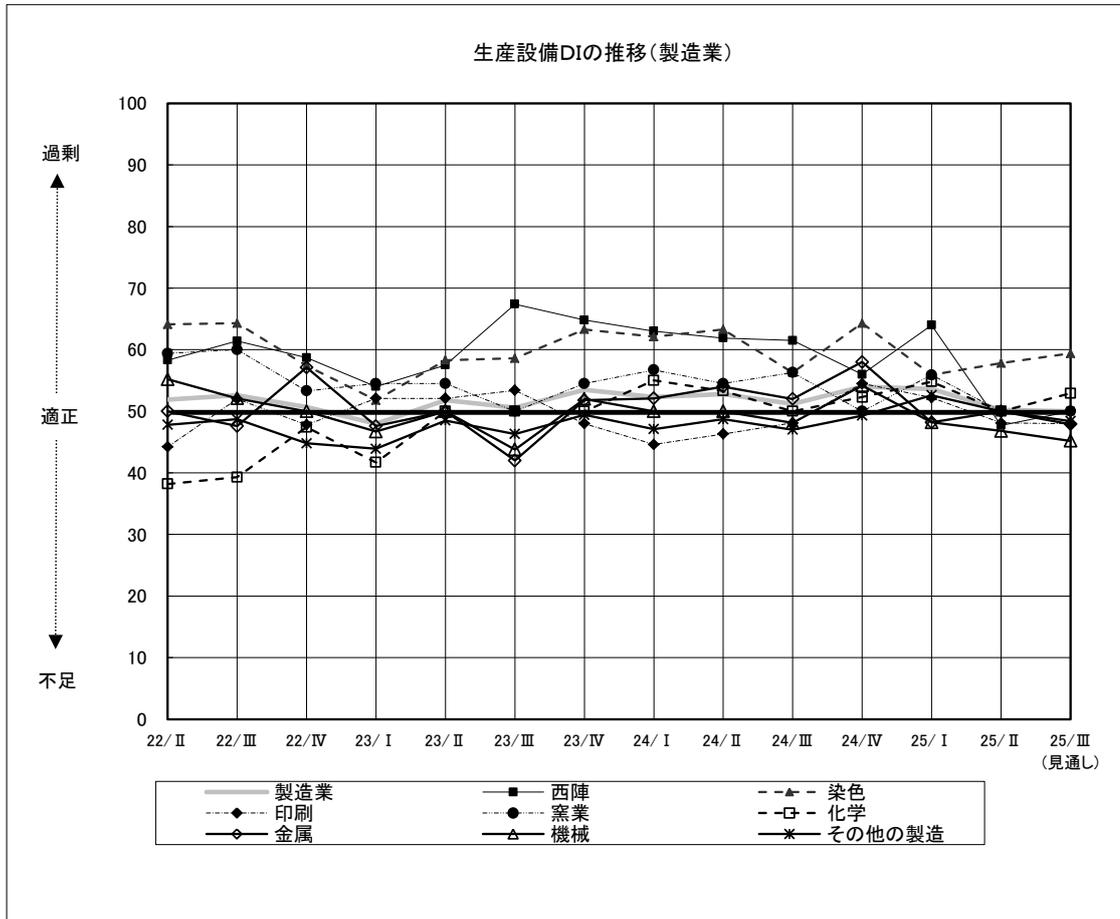


表11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	53.6	50.2	▼ 3.4	50.0	▼ 0.2
西陣	64.0	47.7	▼ 16.3	50.0	△ 2.3
染色	55.9	57.8	△ 1.9	59.4	△ 1.6
印刷	52.2	48.1	▼ 4.1	48.0	▼ 0.1
窯業	55.9	50.0	▼ 5.9	50.0	△ 0.0
化学	54.8	50.0	▼ 4.8	52.9	△ 2.9
金属	48.2	50.0	△ 1.8	47.9	▼ 2.1
機械	48.2	46.8	▼ 1.4	45.2	▼ 1.6
その他の製造	52.6	50.0	▼ 2.6	48.4	▼ 1.6
観光関連	46.7	45.5	▼ 1.2	45.5	△ 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

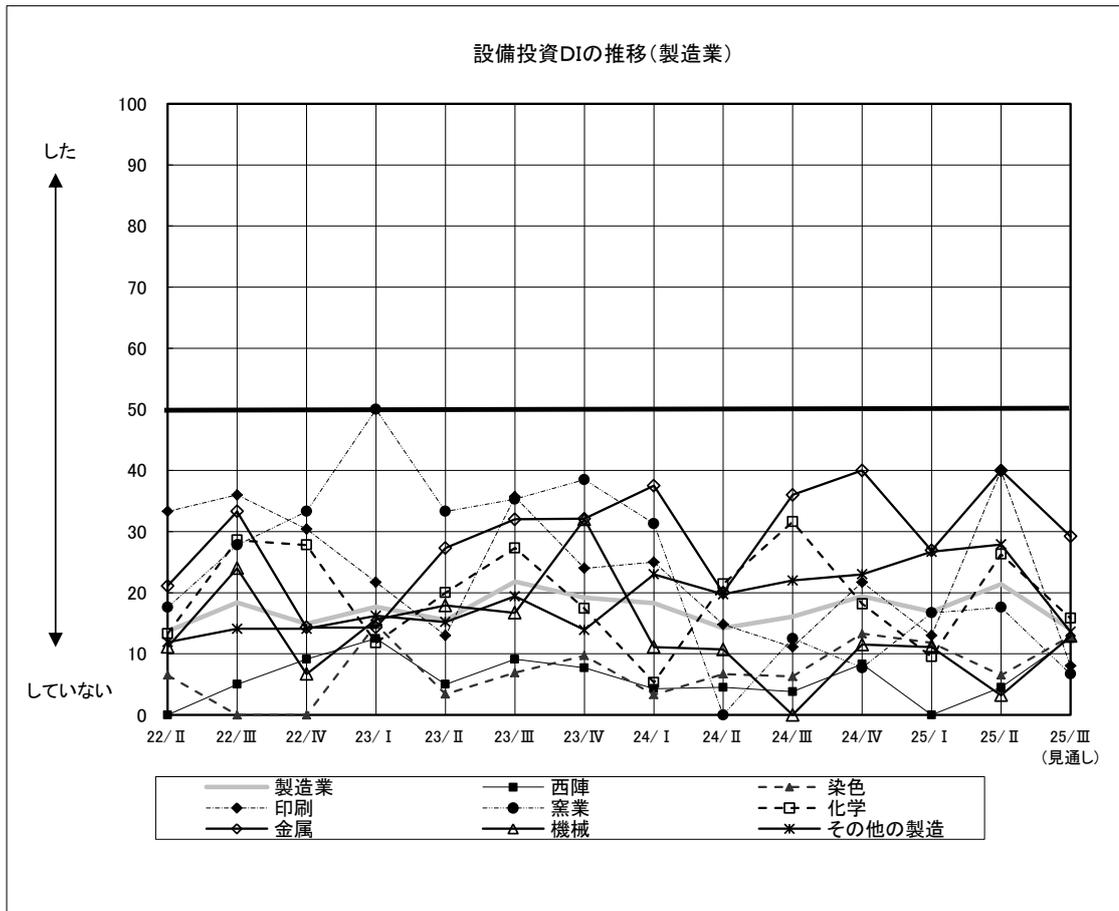


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	16.9	21.4	△ 4.5	14.0	▼ 7.4
西陣	0.0	4.5	△ 4.5	12.5	△ 8.0
染色	11.8	6.5	▼ 5.3	12.9	△ 6.4
印刷	13.0	40.0	△ 27.0	8.0	▼ 32.0
窯業	16.7	17.6	△ 0.9	6.7	▼ 10.9
化学	9.5	26.3	△ 16.8	15.8	▼ 10.5
金属	26.9	40.0	△ 13.1	29.2	▼ 10.8
機械	11.1	3.2	▼ 7.9	12.9	△ 9.7
その他の製造	26.7	27.9	△ 1.2	13.6	▼ 14.3
観光関連	20.0	27.3	△ 7.3	9.1	▼ 18.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## (2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

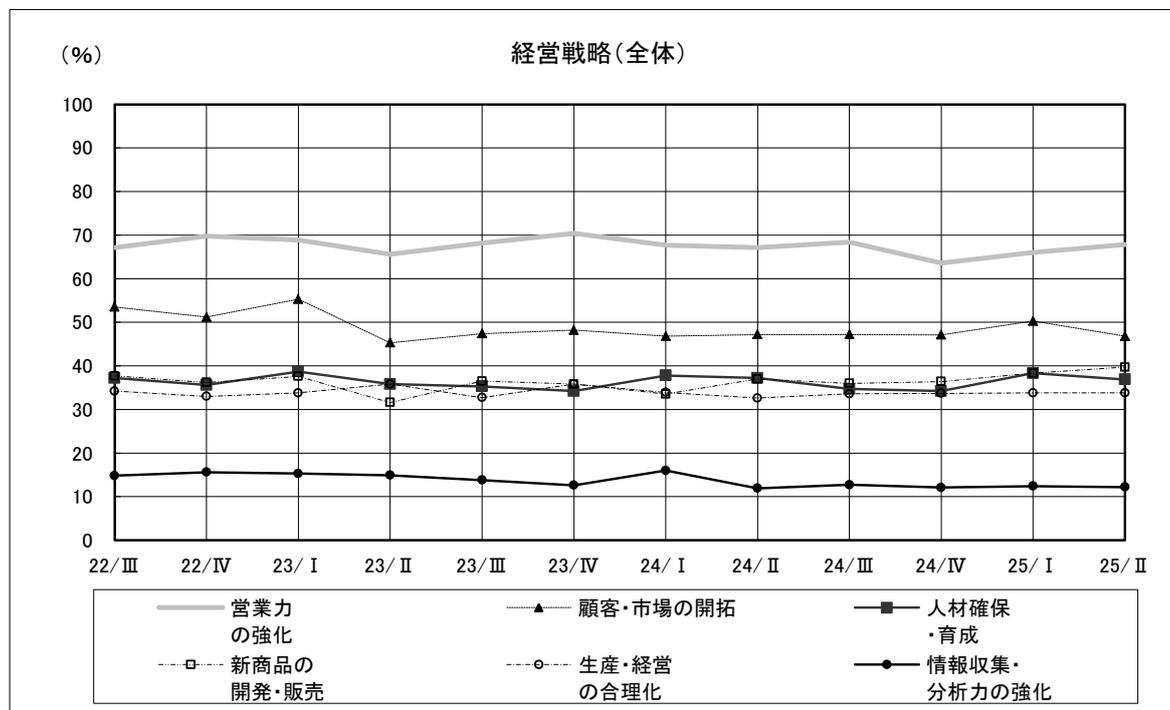


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

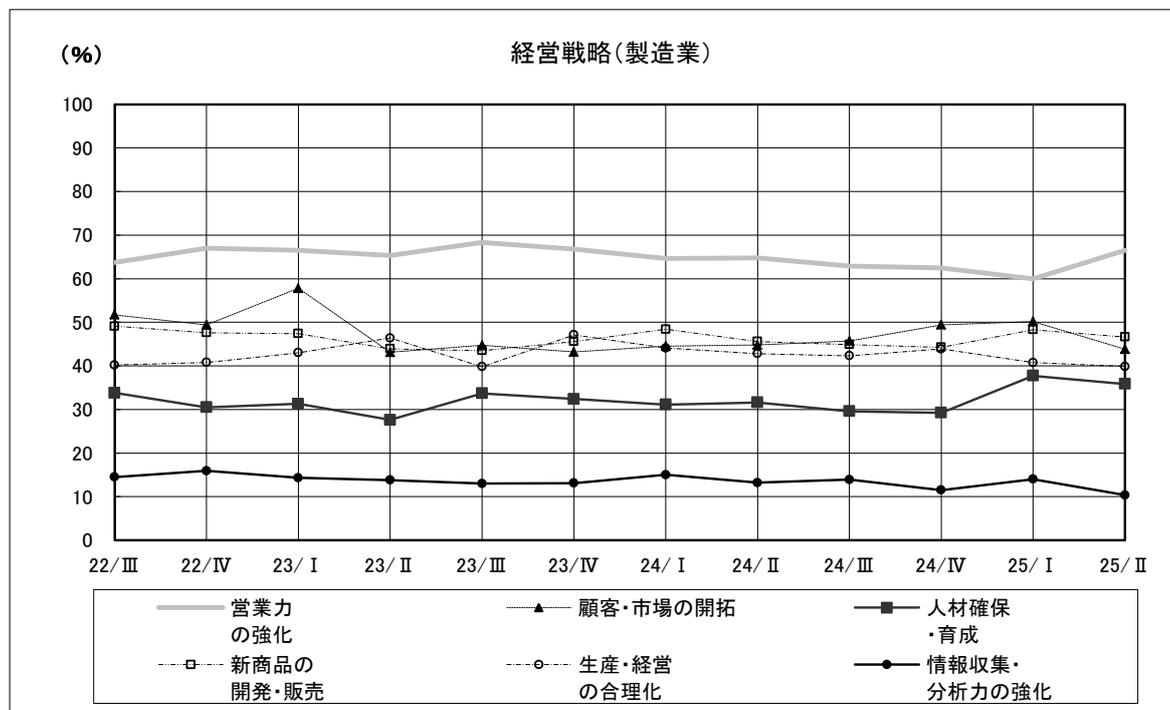


図 24. 当面の経営戦略・西陣

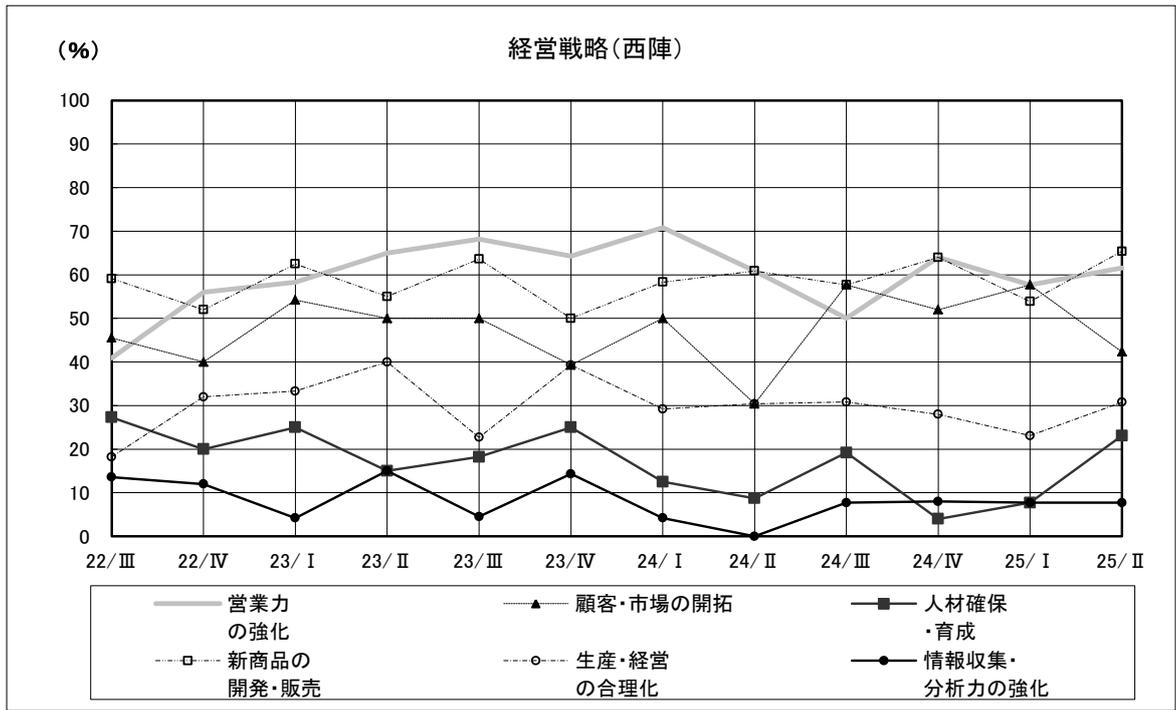


図 25. 当面の経営戦略・染色

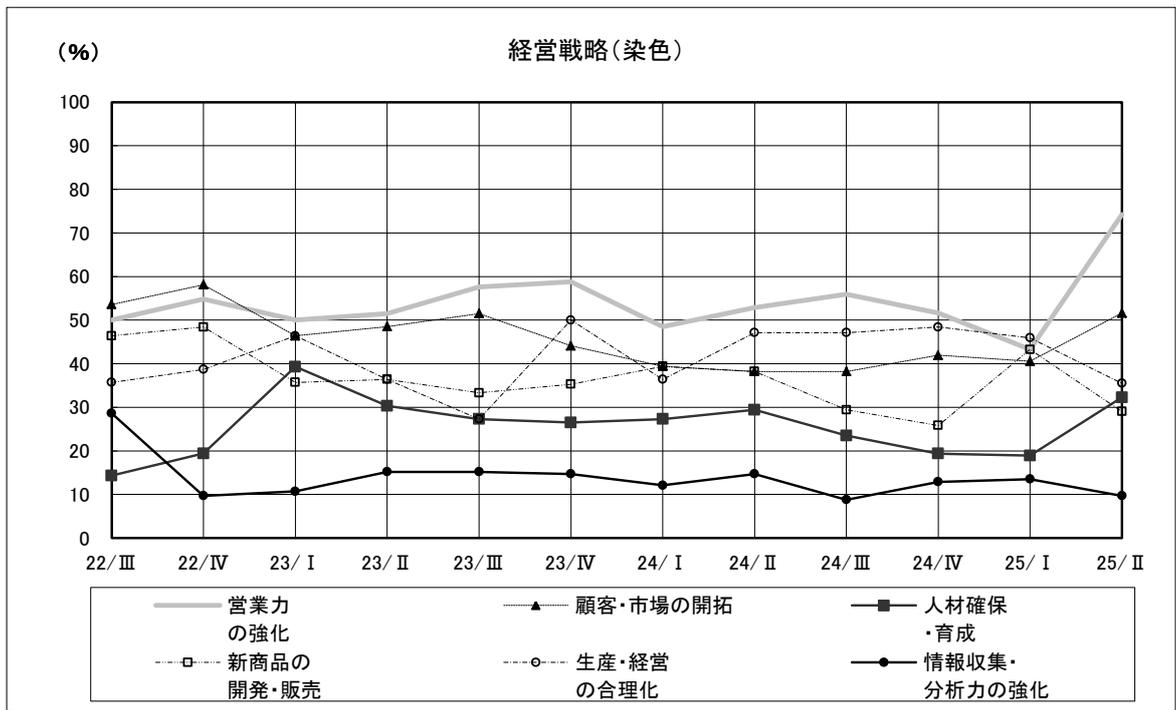


図 26. 当面の経営戦略・印刷

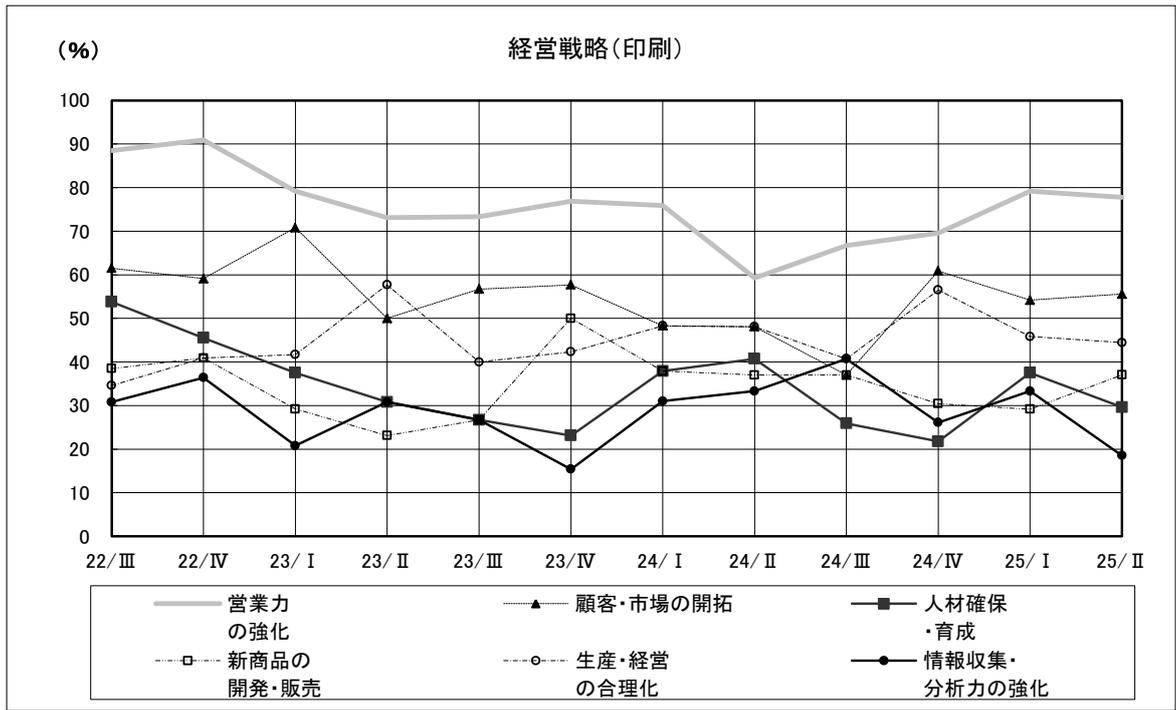


図 27. 当面の経営戦略・窯業

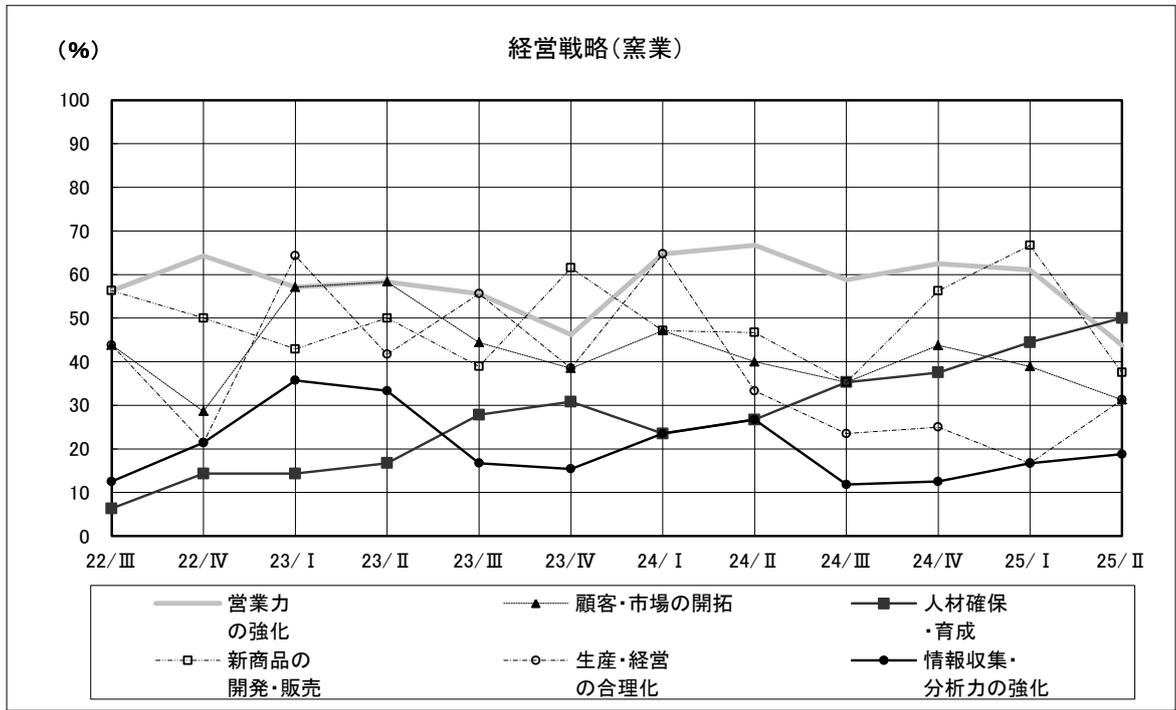


図 28. 当面の経営戦略・化学

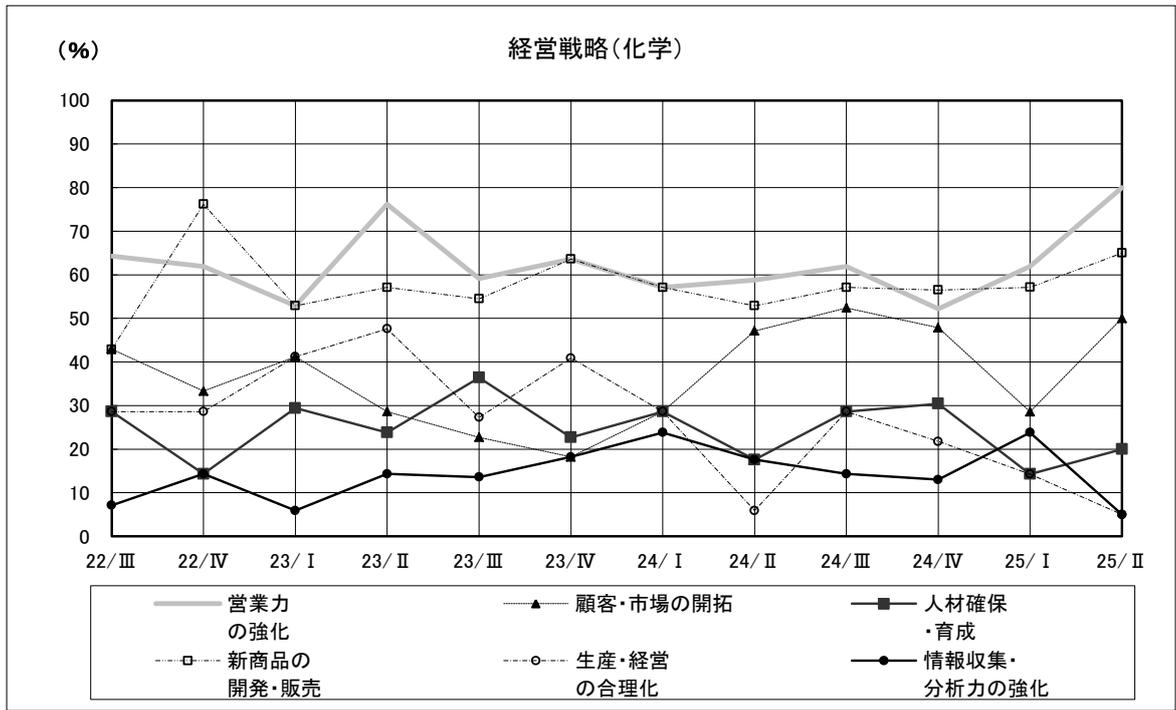


図 29. 当面の経営戦略・金属

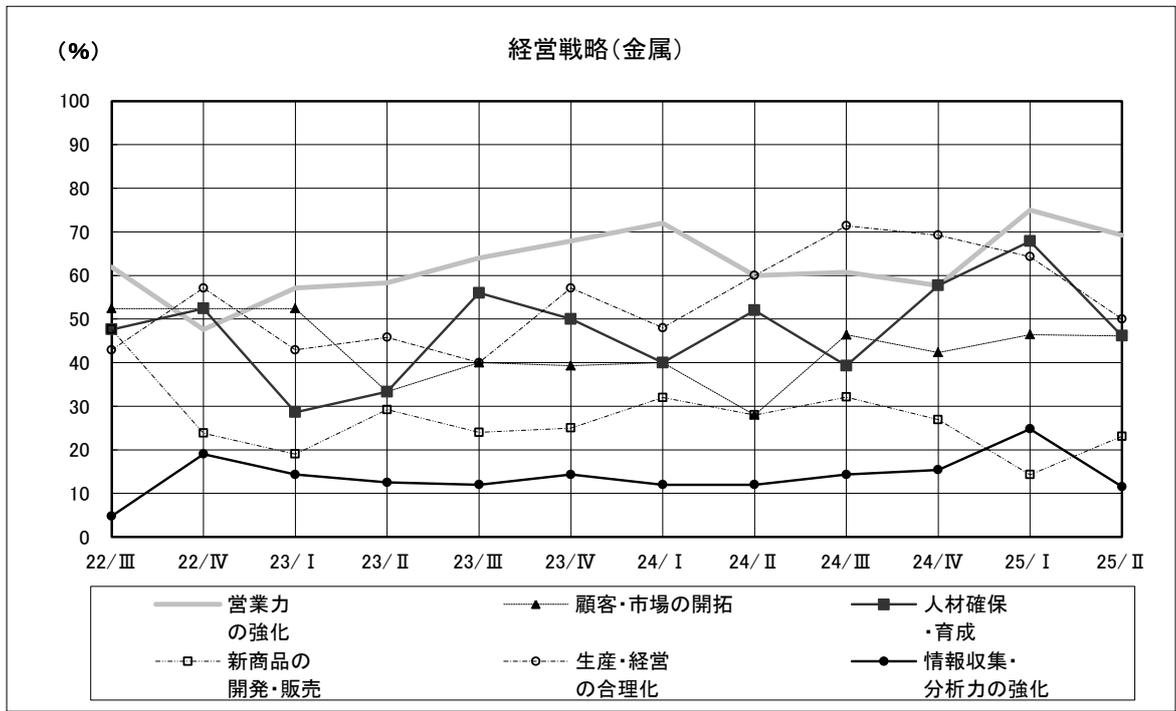


図 30. 当面の経営戦略・機械

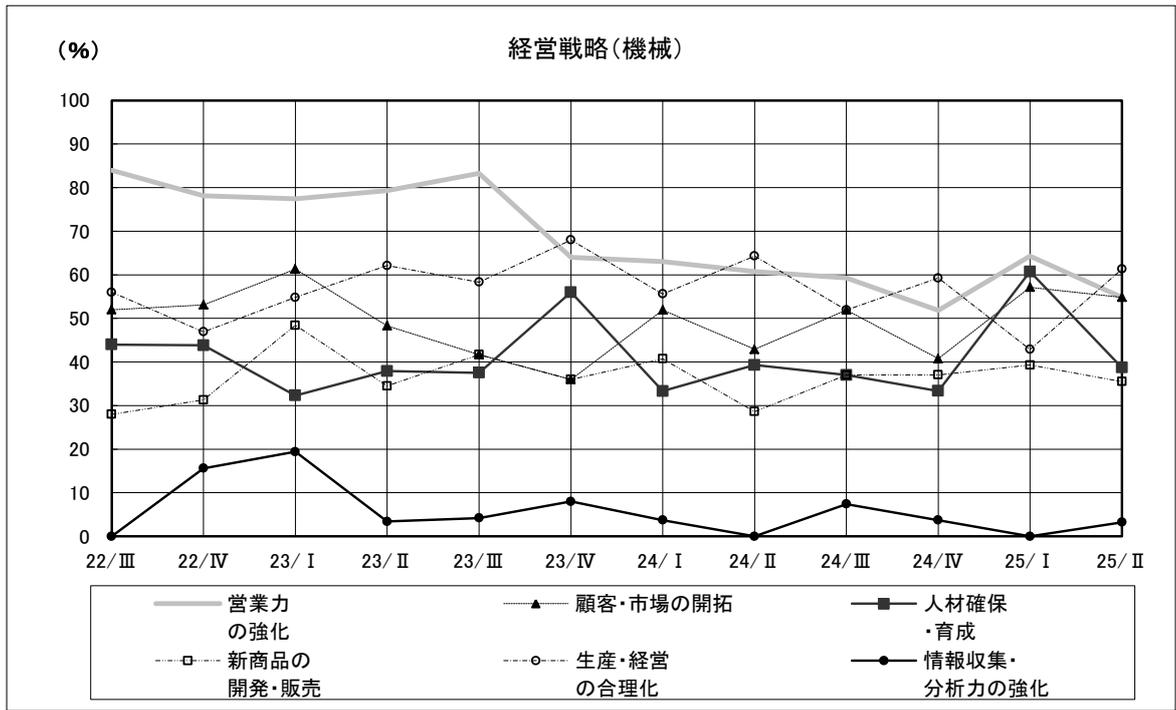


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

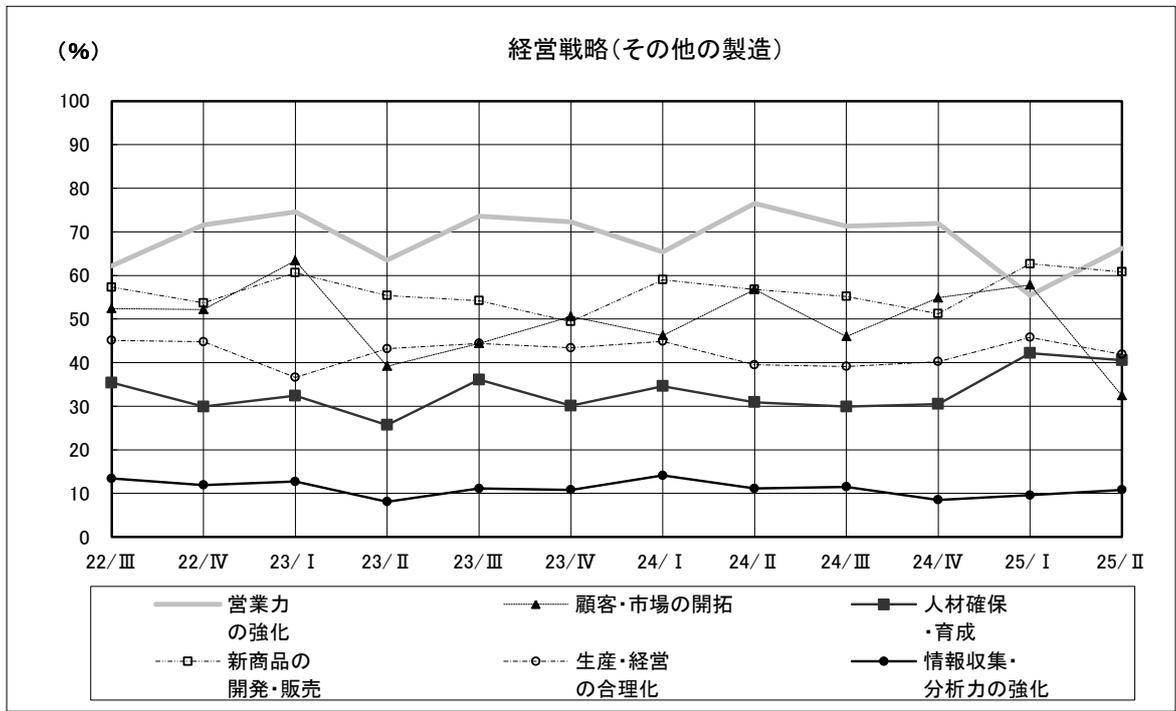


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

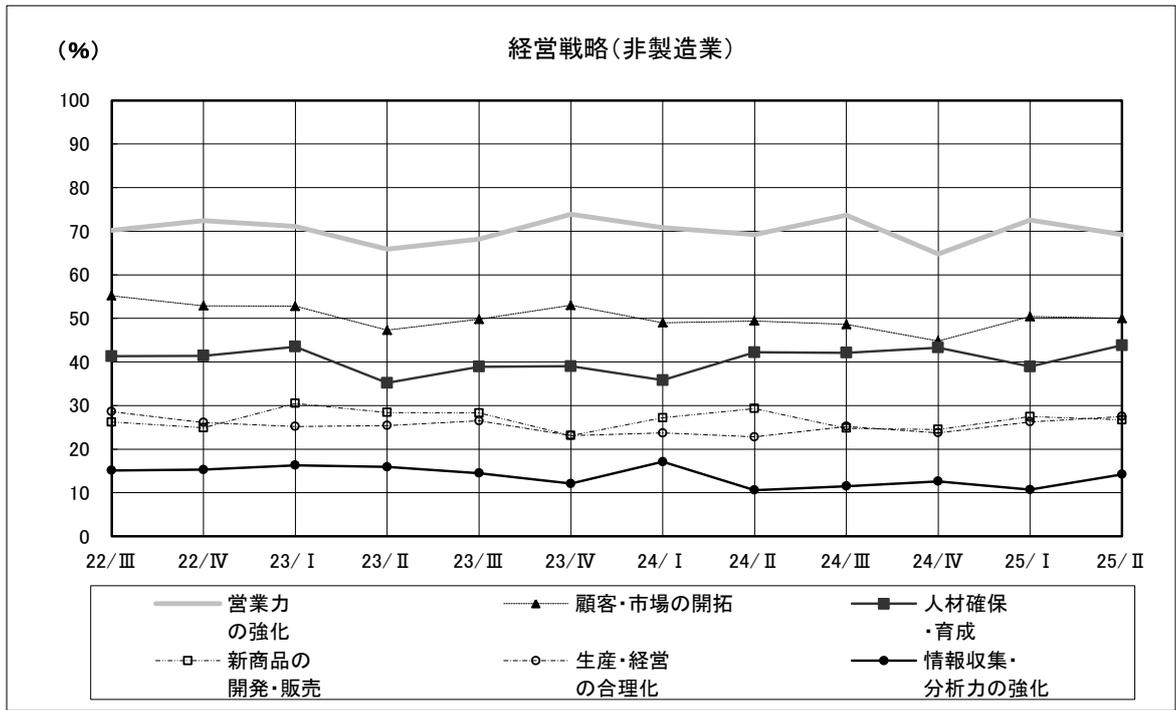


図 33. 当面の経営戦略・卸売

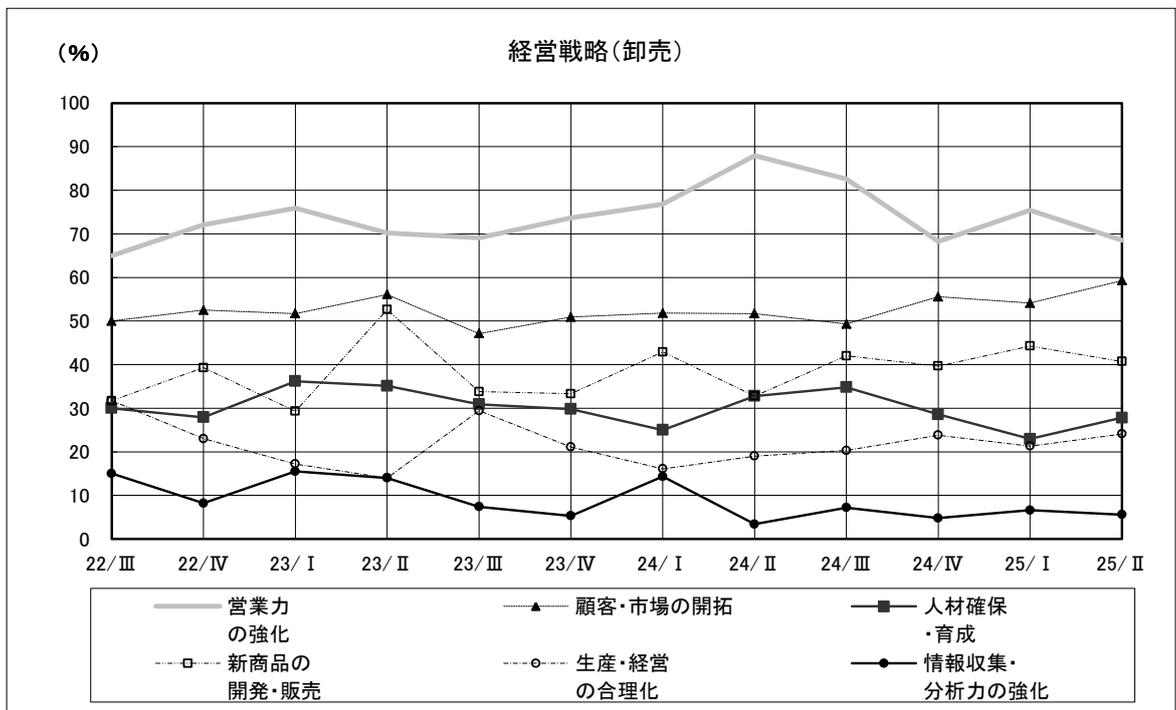


図 34. 当面の経営戦略・小売

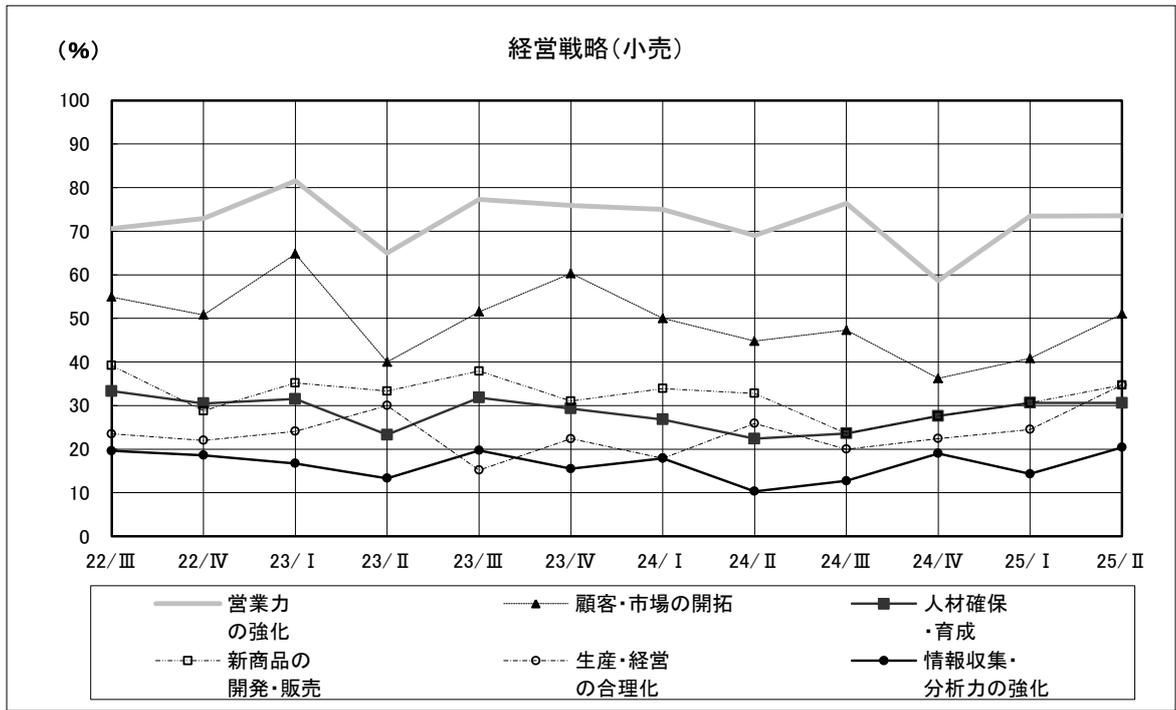


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

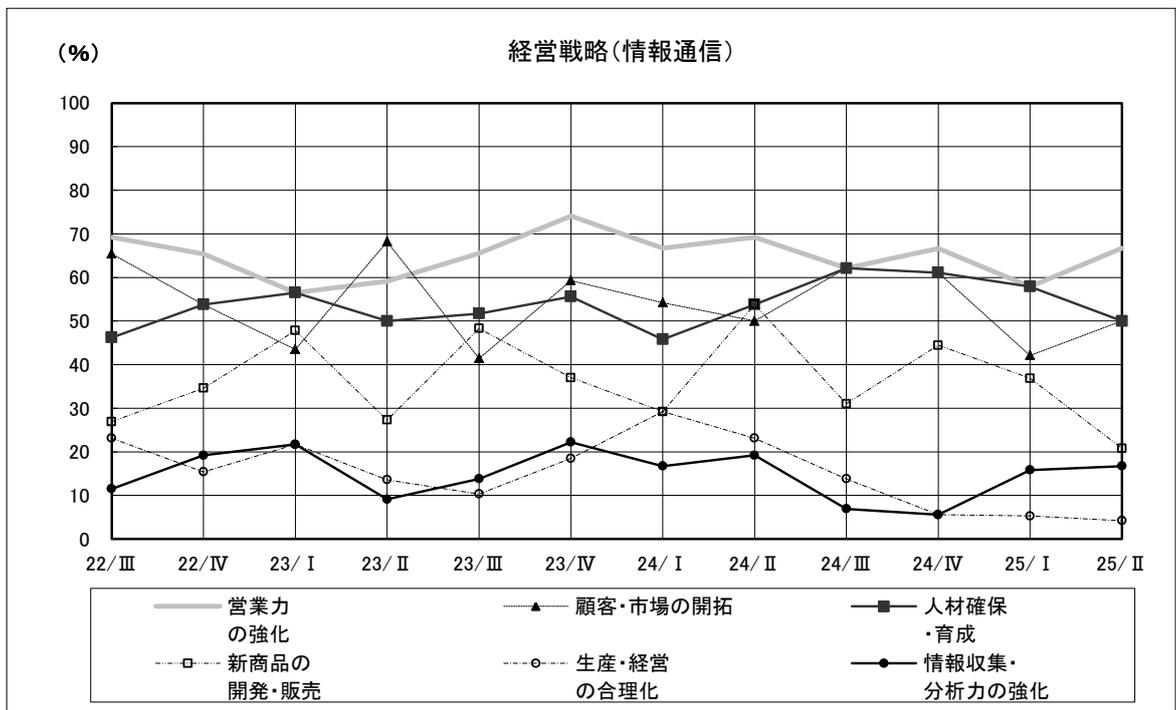


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

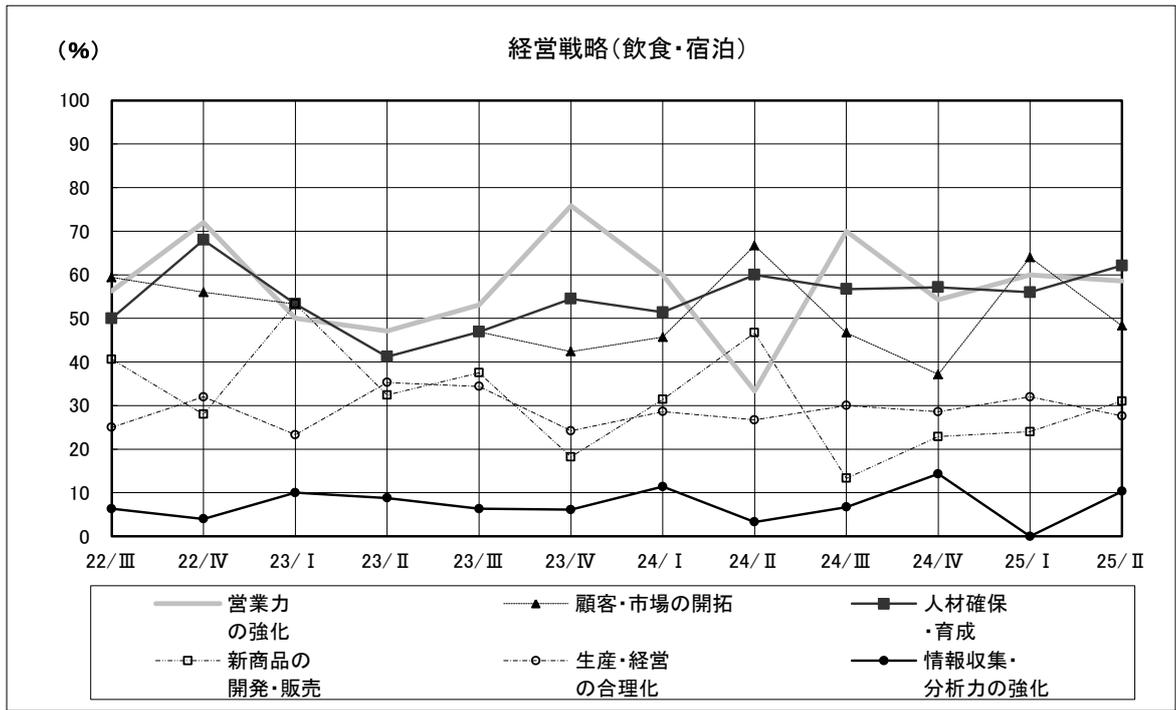


図 37. 当面の経営戦略・サービス

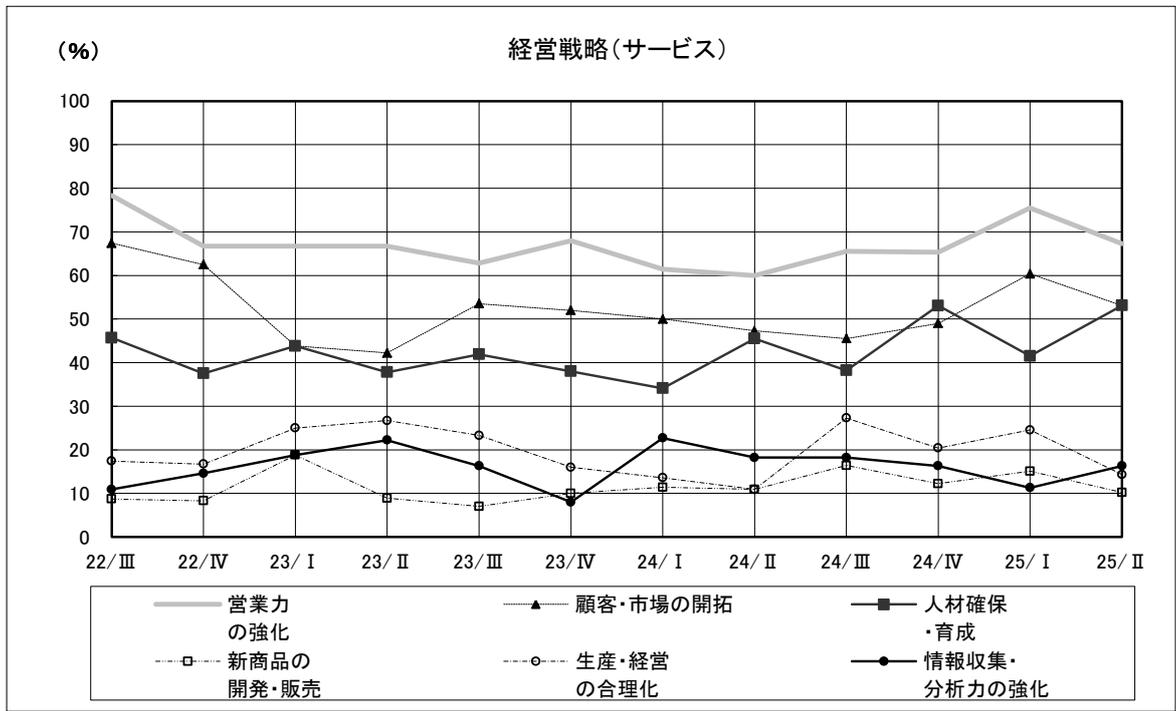


図 38. 当面の経営戦略・建設

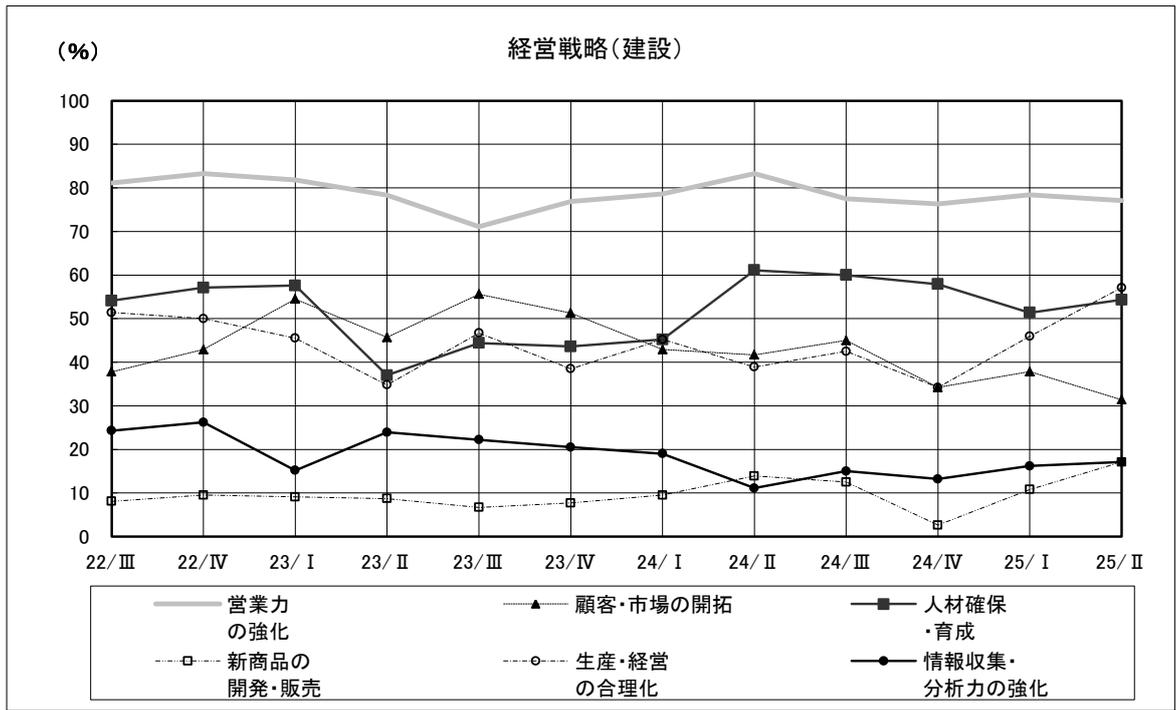


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	333 67.8%	166 33.8%	195 39.7%	59 12.0%	230 46.8%	181 36.9%	40 8.1%	60 12.2%	6 1.2%	491 100.0%	11
製造業	167 66.5%	100 39.8%	90 35.9%	41 16.3%	110 43.8%	117 46.6%	36 14.3%	26 10.4%	2 0.8%	251 100.0%	5
西陣	16 61.5%	8 30.8%	6 23.1%	3 11.5%	11 42.3%	17 65.4%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	26 100.0%	0
染色	23 74.2%	11 35.5%	10 32.3%	8 25.8%	16 51.6%	9 29.0%	4 12.9%	3 9.7%	0 0.0%	31 100.0%	1
印刷	21 77.8%	12 44.4%	8 29.6%	3 11.1%	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%	5 18.5%	0 0.0%	27 100.0%	0
窯業	7 43.8%	5 31.3%	8 50.0%	3 18.8%	5 31.3%	6 37.5%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%	16 100.0%	2
化学	16 80.0%	1 5.0%	4 20.0%	5 25.0%	10 50.0%	13 65.0%	5 25.0%	1 5.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	18 69.2%	13 50.0%	12 46.2%	3 11.5%	12 46.2%	6 23.1%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	26 100.0%	0
機械	17 54.8%	19 61.3%	12 38.7%	5 16.1%	17 54.8%	11 35.5%	3 9.7%	1 3.2%	0 0.0%	31 100.0%	2
その他の製造	49 66.2%	31 41.9%	30 40.5%	11 14.9%	24 32.4%	45 60.8%	15 20.3%	8 10.8%	0 0.0%	74 100.0%	0
非製造業	166 69.2%	66 27.5%	105 43.8%	18 7.5%	120 50.0%	64 26.7%	4 1.7%	34 14.2%	4 1.7%	240 100.0%	6
卸売	37 68.5%	13 24.1%	15 27.8%	10 18.5%	32 59.3%	22 40.7%	0 0.0%	3 5.6%	2 3.7%	54 100.0%	1
小売	36 73.5%	17 34.7%	15 30.6%	0 0.0%	25 51.0%	17 34.7%	0 0.0%	10 20.4%	0 0.0%	49 100.0%	1
情報通信	16 66.7%	1 4.2%	12 50.0%	3 12.5%	12 50.0%	5 20.8%	2 8.3%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	0
飲食・宿泊	17 58.6%	8 27.6%	18 62.1%	0 0.0%	14 48.3%	9 31.0%	1 3.4%	3 10.3%	0 0.0%	29 100.0%	2
サービス	33 67.3%	7 14.3%	26 53.1%	4 8.2%	26 53.1%	5 10.2%	0 0.0%	8 16.3%	2 4.1%	49 100.0%	1
建設	27 77.1%	20 57.1%	19 54.3%	1 2.9%	11 31.4%	6 17.1%	1 2.9%	6 17.1%	0 0.0%	35 100.0%	1
観光関連	26 60.5%	13 30.2%	22 51.2%	1 2.3%	19 44.2%	23 53.5%	0 0.0%	7 16.3%	1 2.3%	43 100.0%	0

### (3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

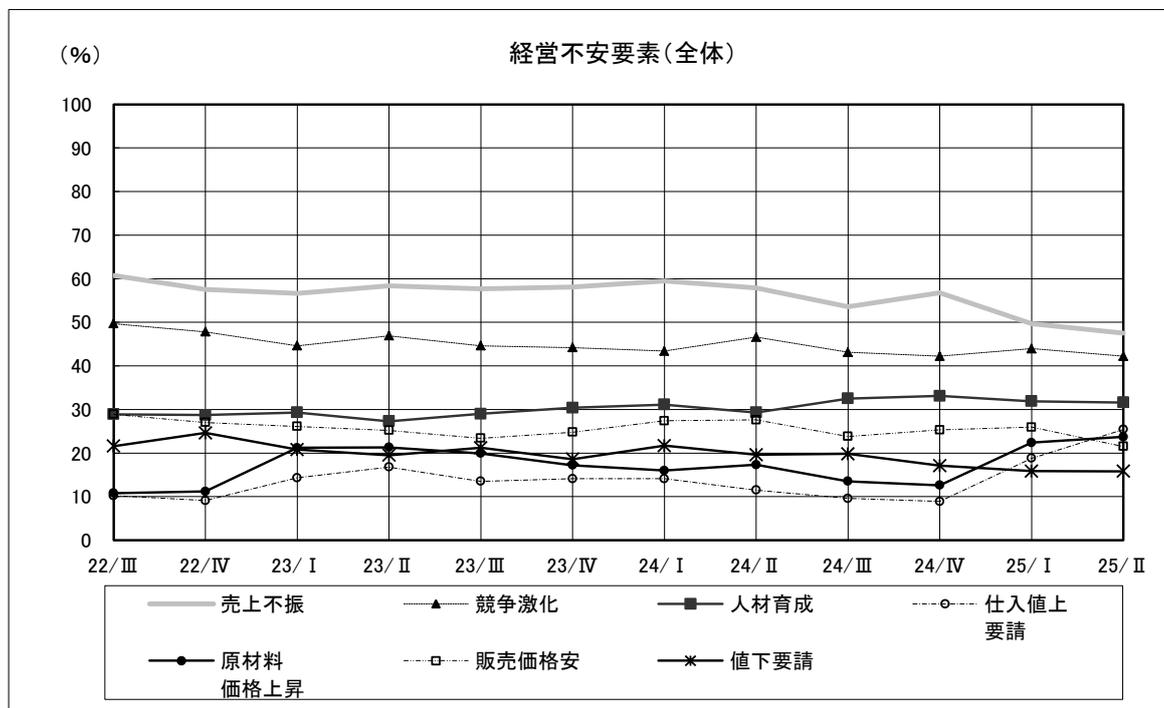


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

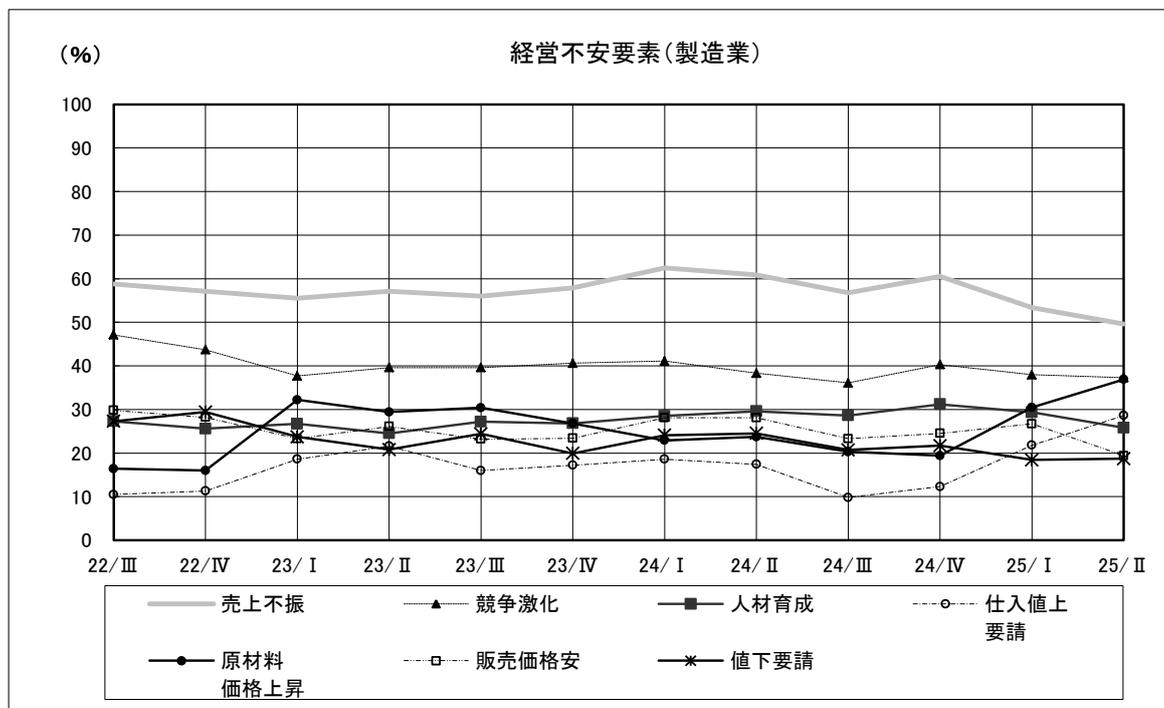


図 41. 経営上の不安要素・西陣

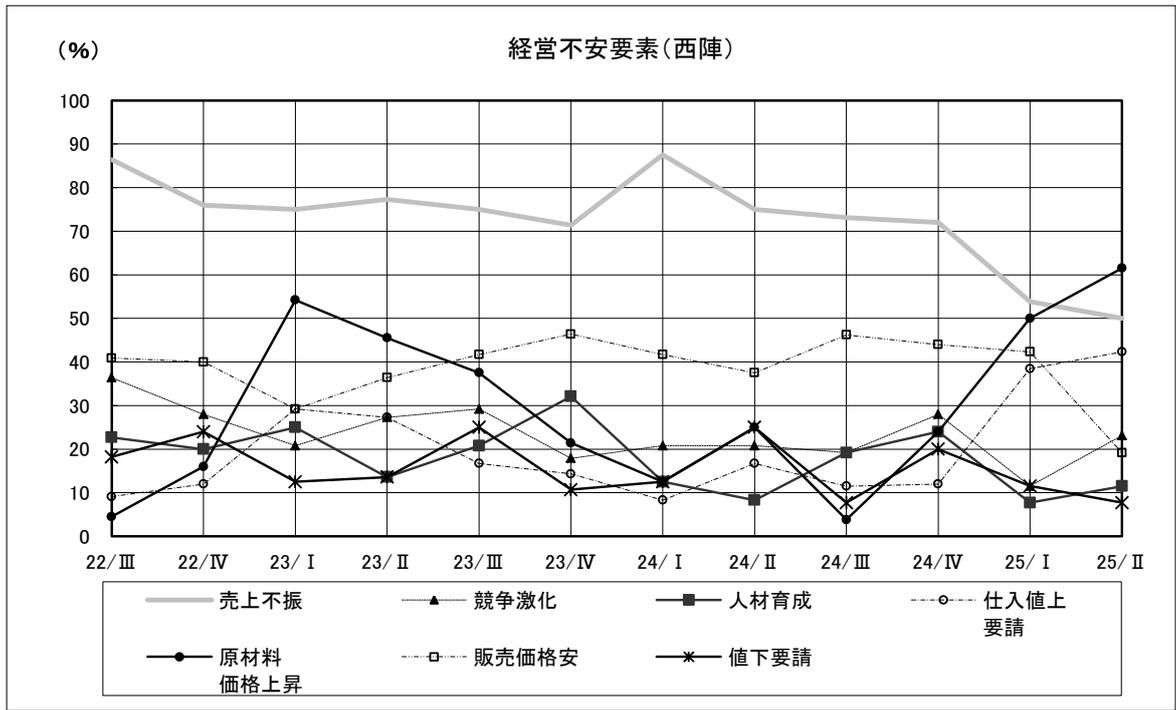


図 42. 経営上の不安要素・染色

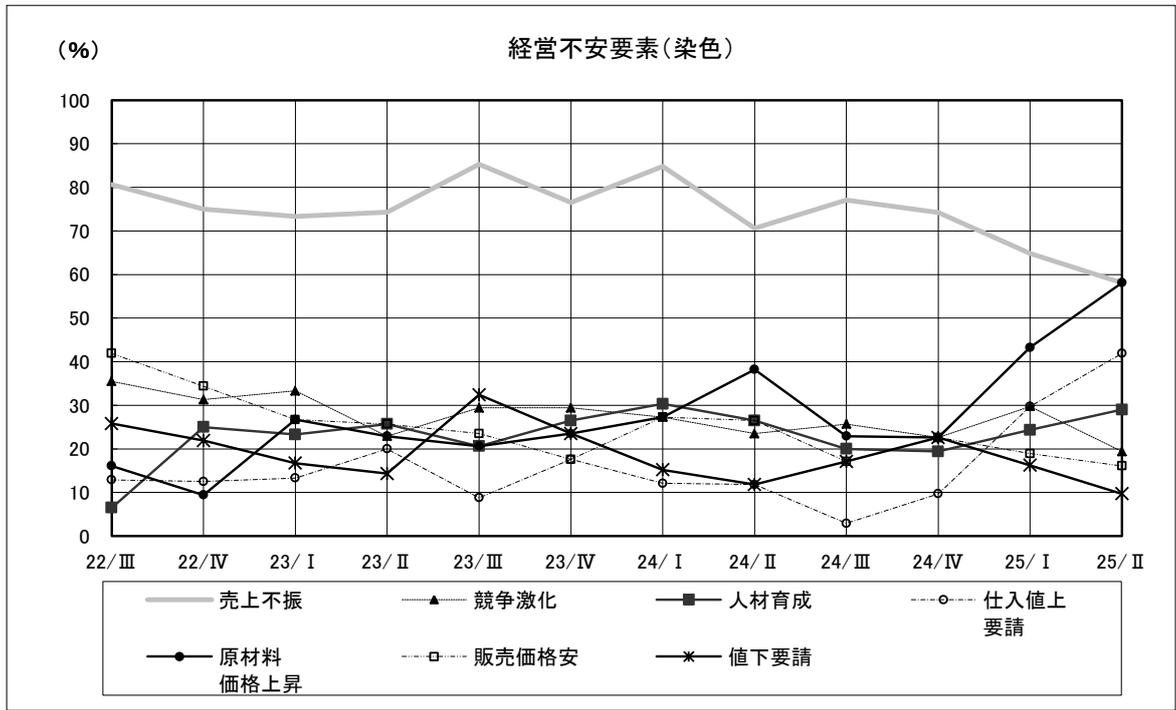


図 43. 経営上の不安要素・印刷

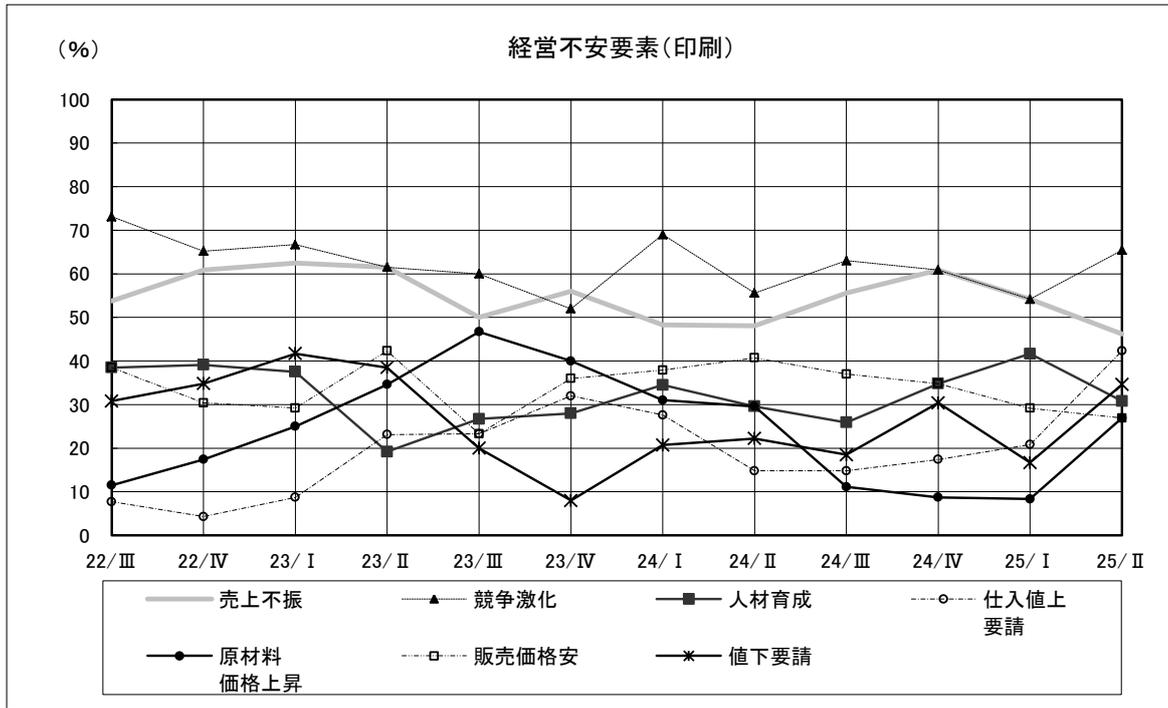


図 44. 経営上の不安要素・窯業

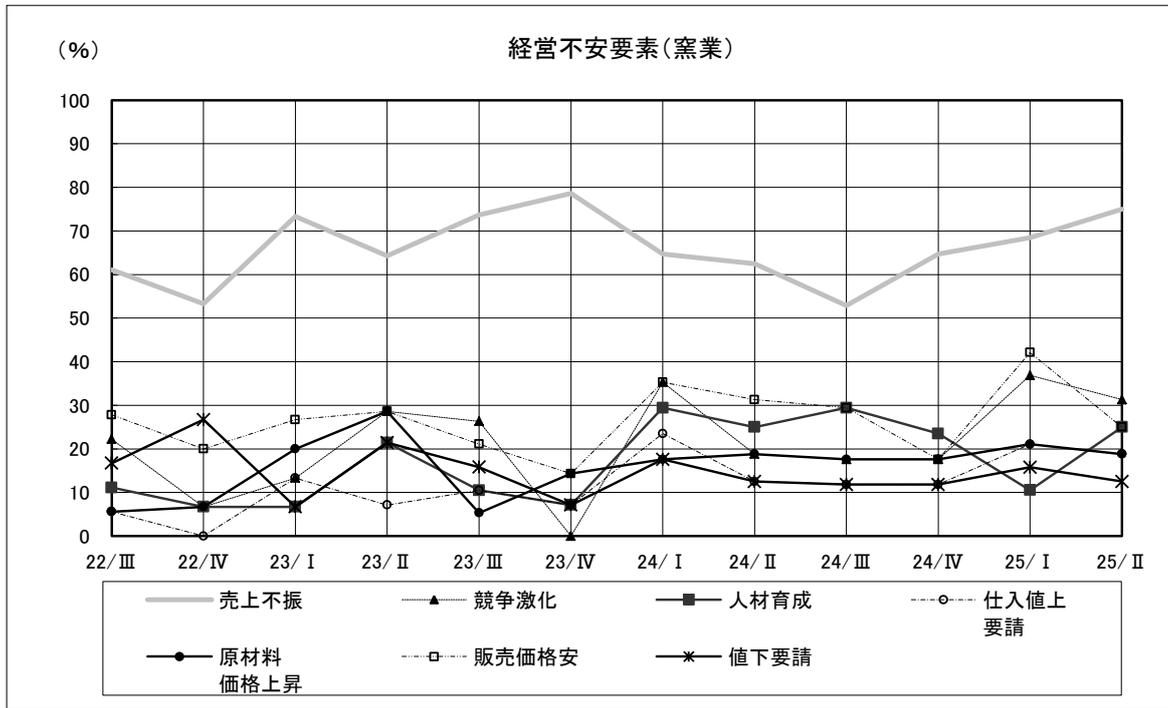


図 45. 経営上の不安要素・化学

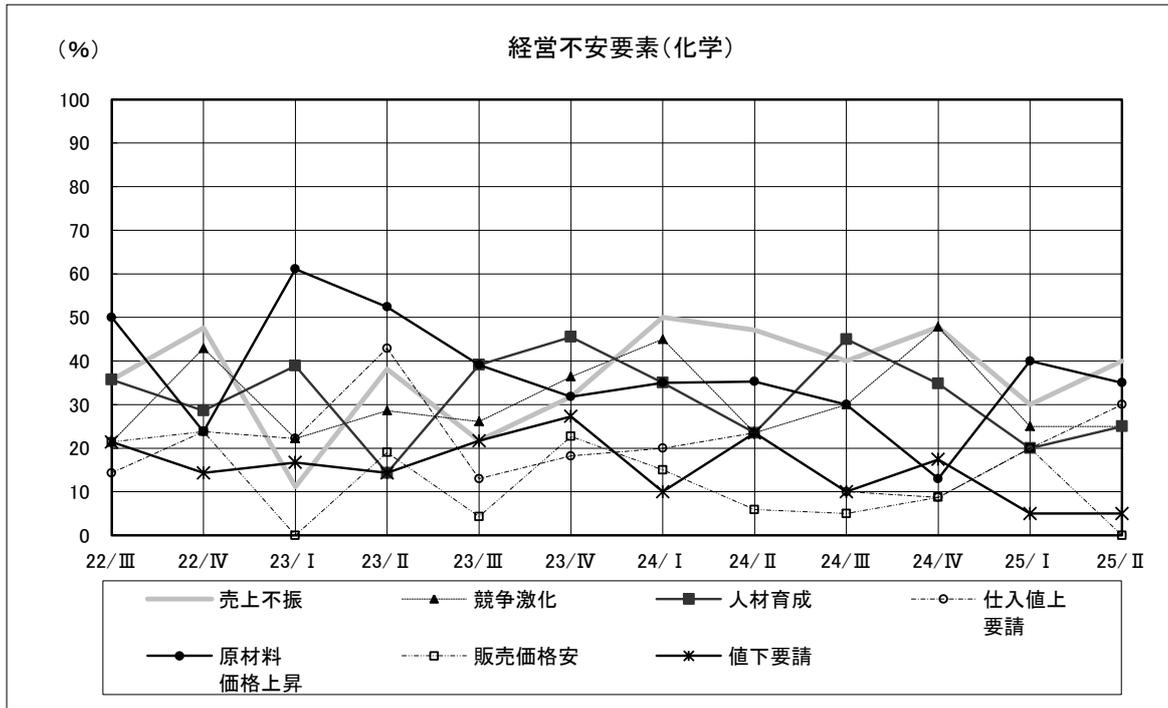


図 46. 経営上の不安要素・金属

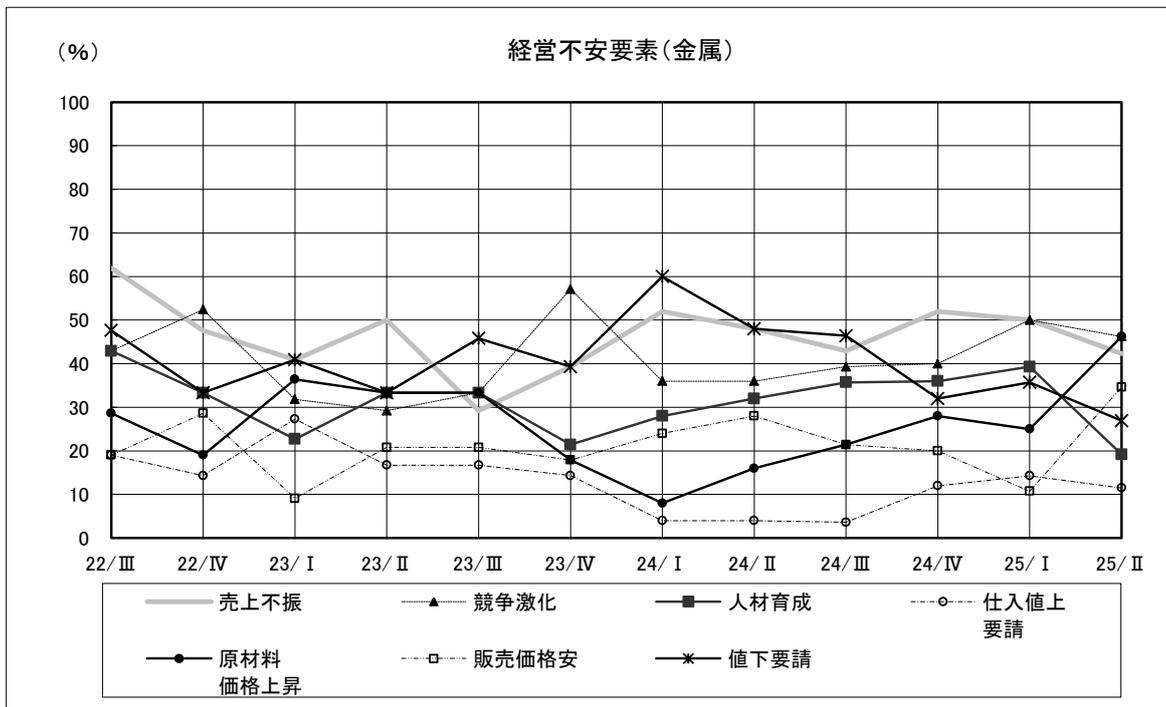


図 47. 経営上の不安要素・機械

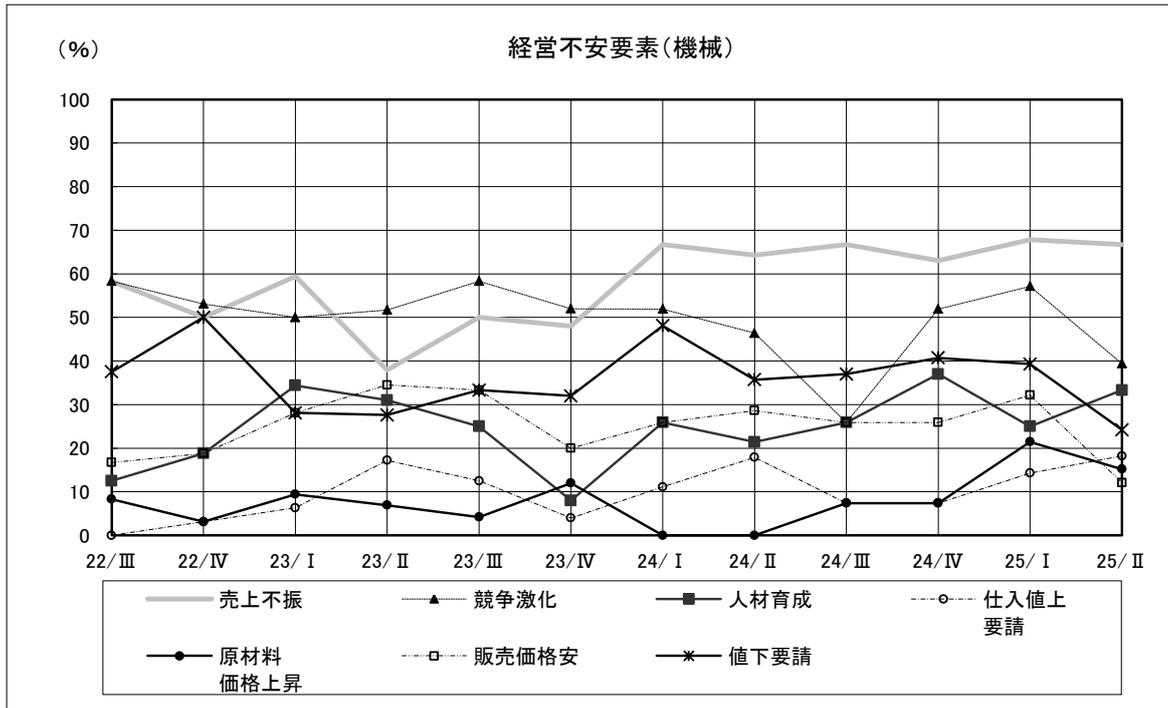


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

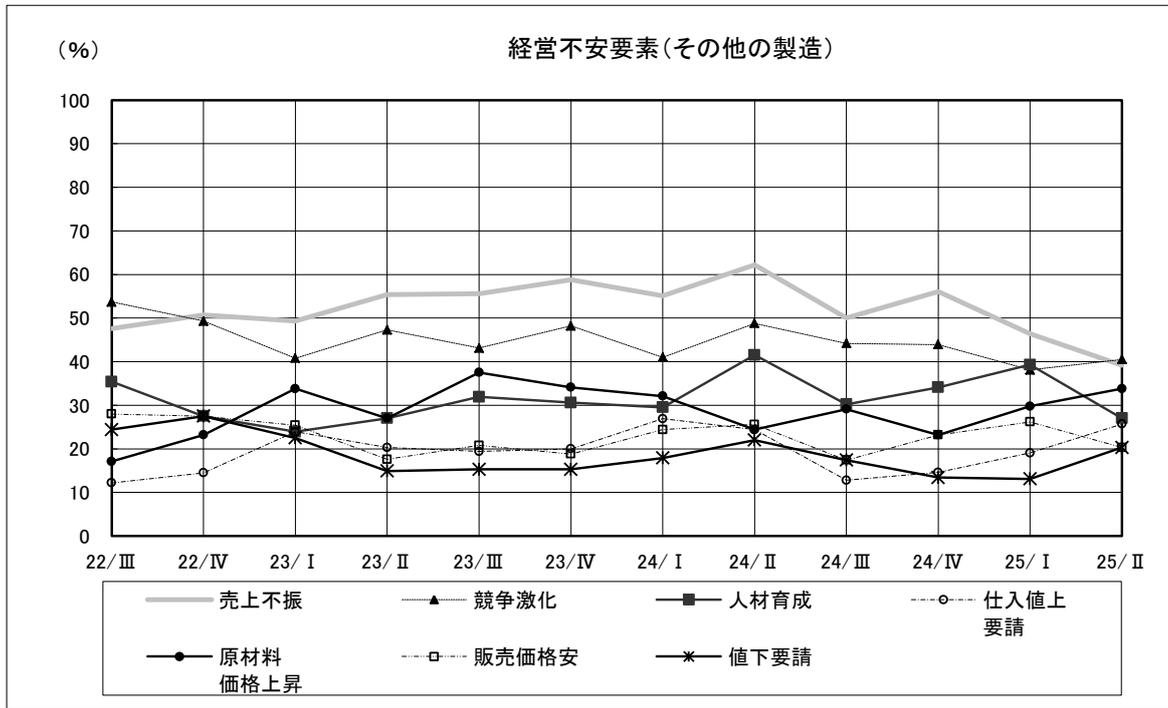


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

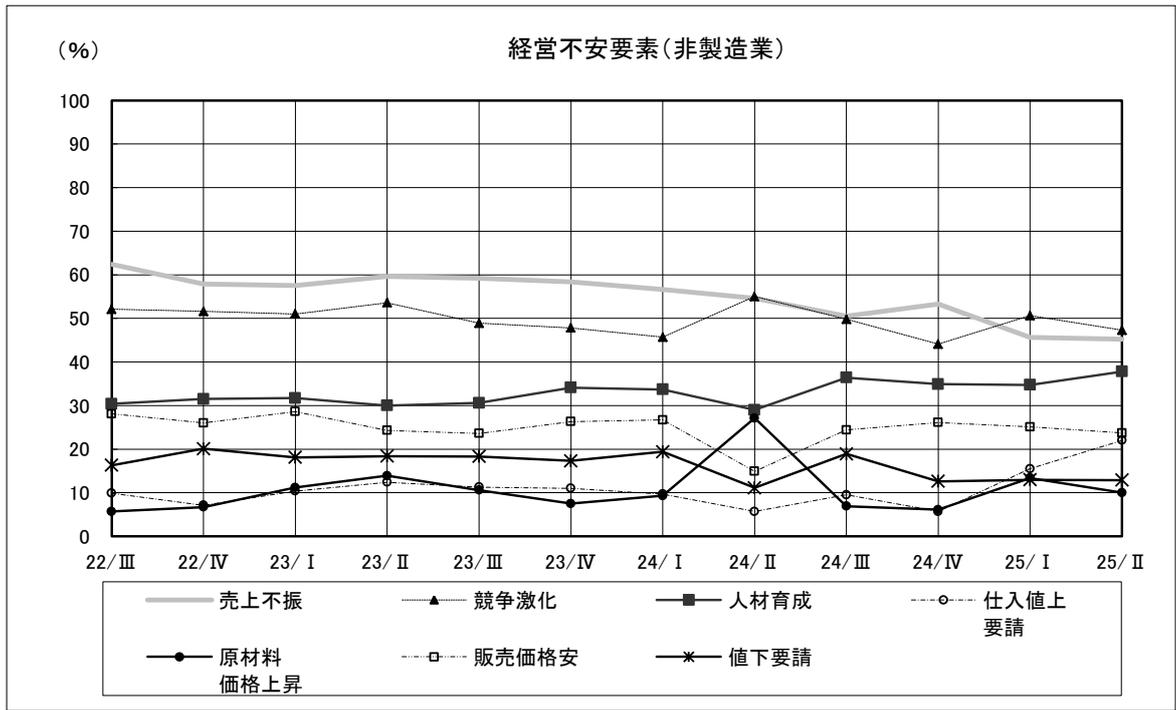


図 50. 経営上の不安要素・卸売

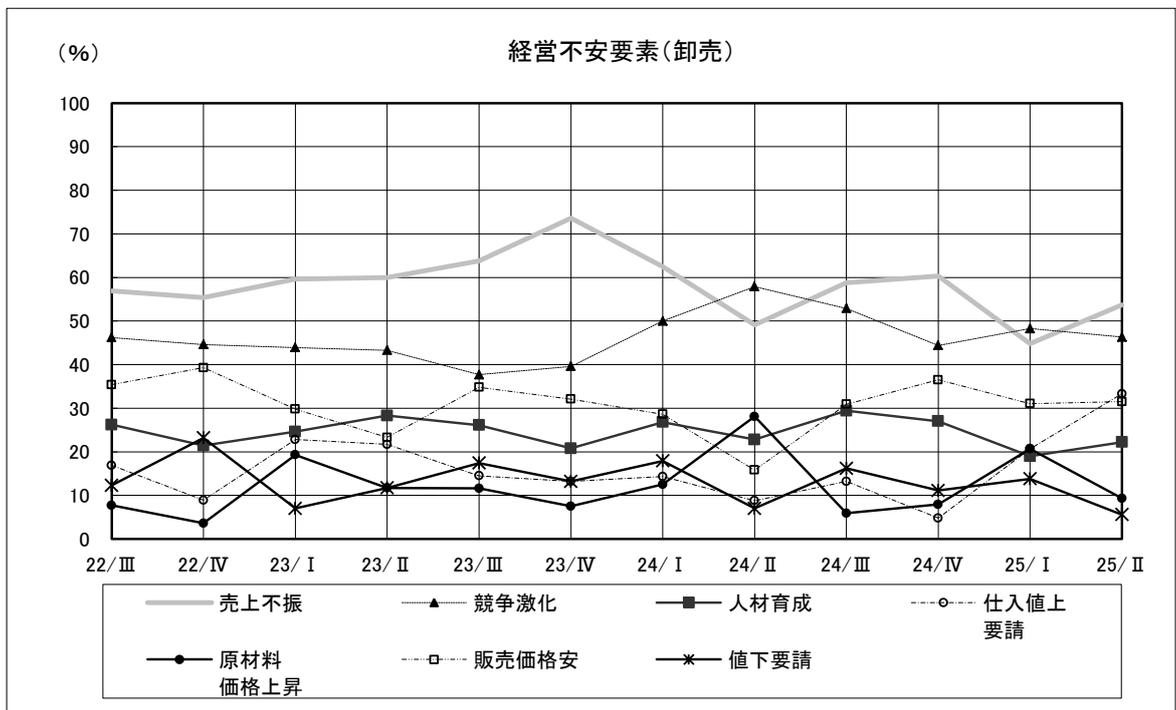


図 51. 経営上の不安要素・小売

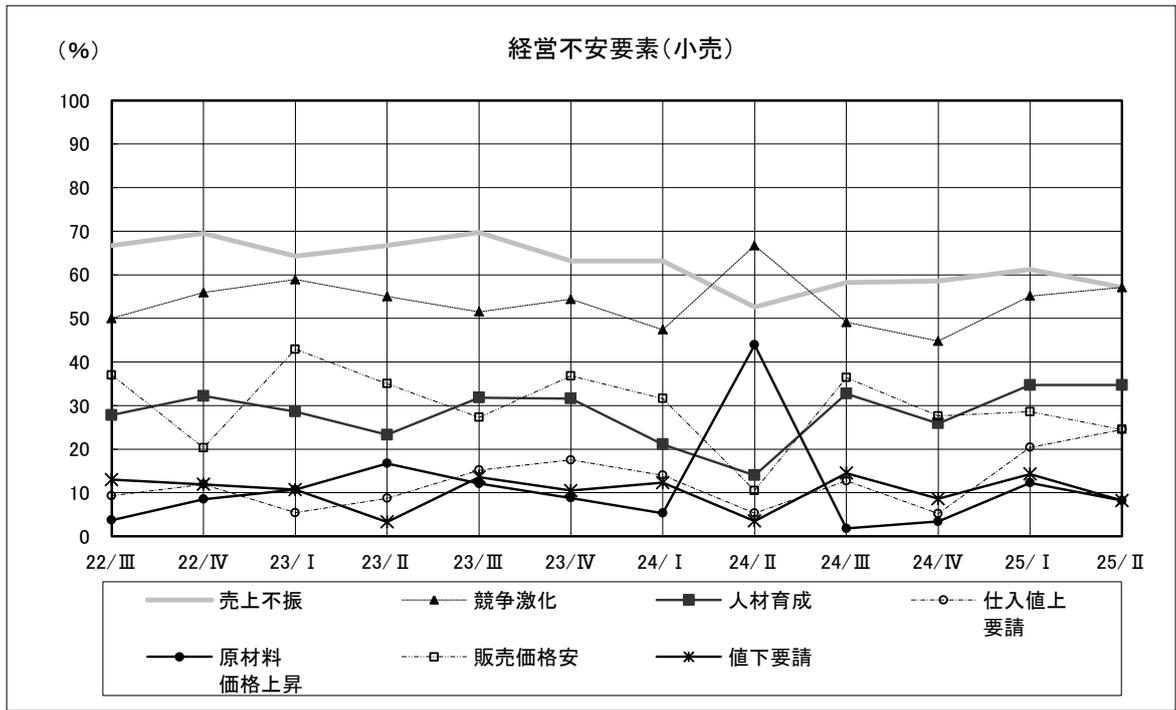


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

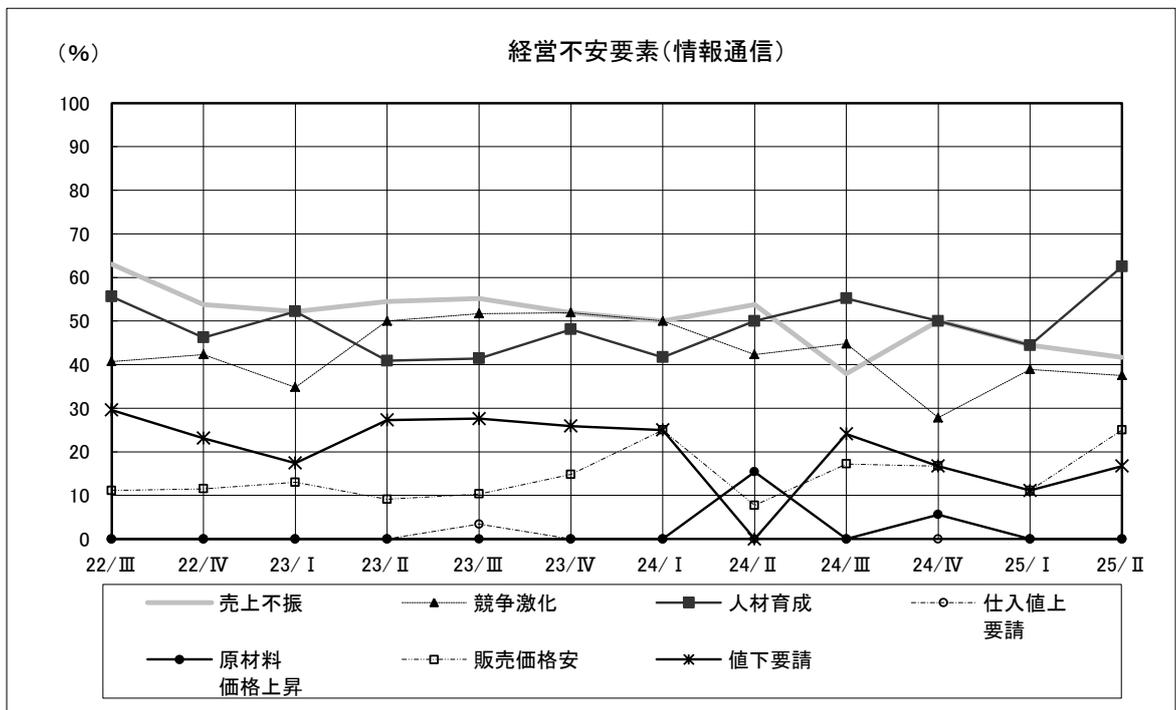


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

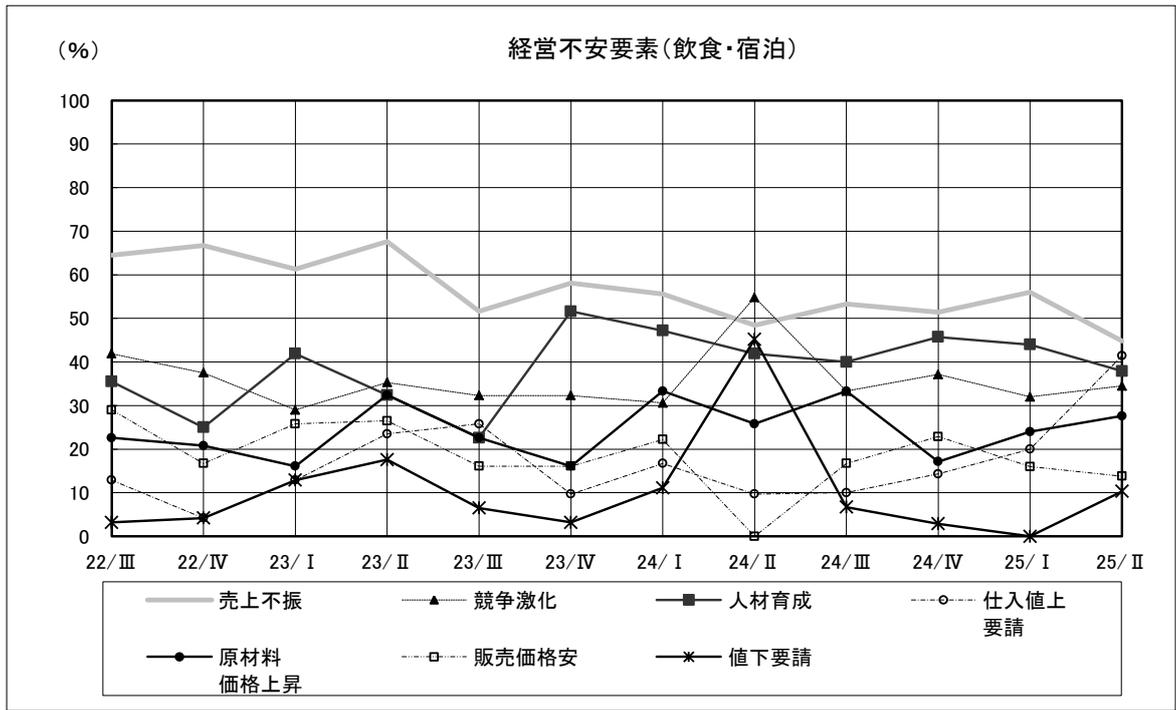


図 54. 経営上の不安要素・サービス

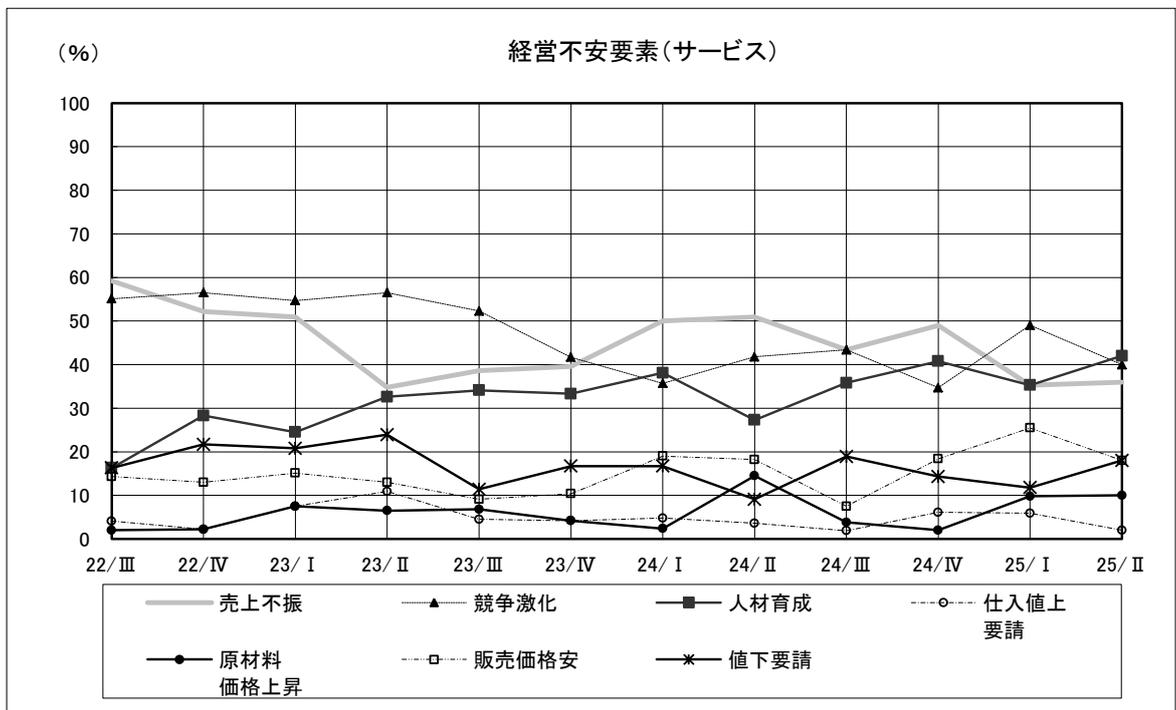


図 55. 経営上の不安要素・建設

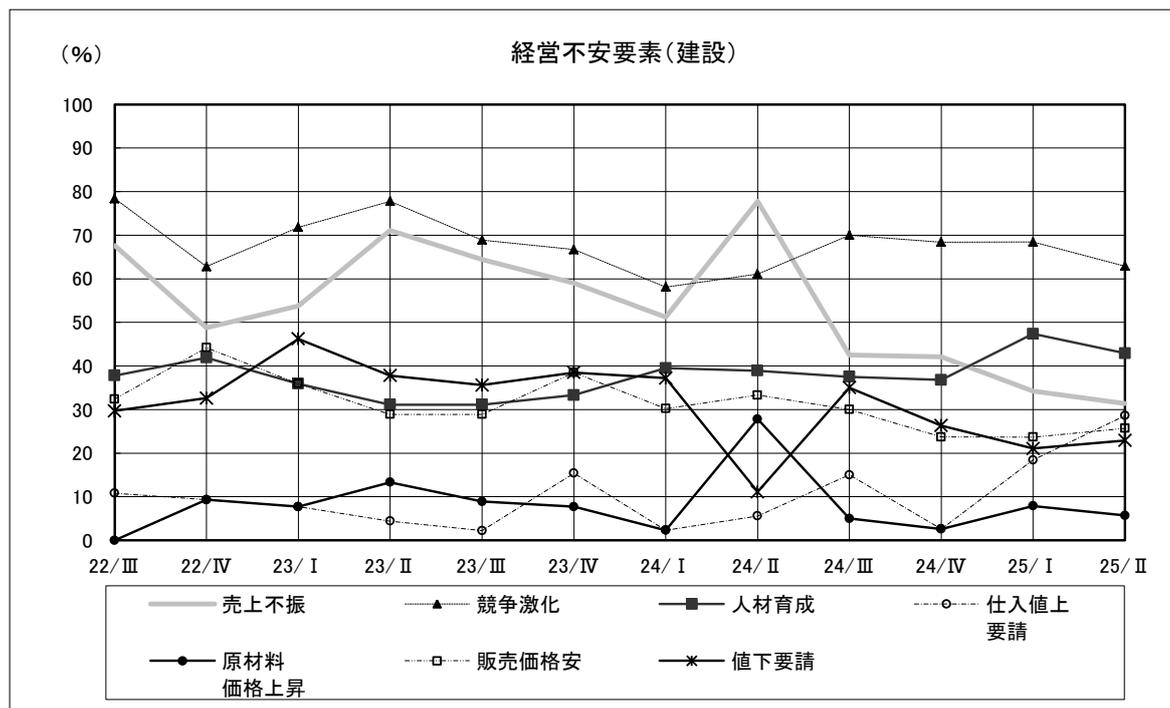


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	208 42.2%	234 47.5%	156 31.6%	78 15.8%	125 25.4%	117 23.7%	33 6.7%	106 21.5%
製造業	94 37.3%	125 49.6%	65 25.8%	47 18.7%	72 28.6%	93 36.9%	16 6.3%	49 19.4%
西陣	6 23.1%	13 50.0%	3 11.5%	2 7.7%	11 42.3%	16 61.5%	1 3.8%	5 19.2%
染色	6 19.4%	18 58.1%	9 29.0%	3 9.7%	13 41.9%	18 58.1%	2 6.5%	5 16.1%
印刷	17 65.4%	12 46.2%	8 30.8%	9 34.6%	11 42.3%	7 26.9%	3 11.5%	7 26.9%
窯業	5 31.3%	12 75.0%	4 25.0%	2 12.5%	3 18.8%	3 18.8%	3 18.8%	4 25.0%
化学	5 25.0%	8 40.0%	5 25.0%	1 5.0%	6 30.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%
金属	12 46.2%	11 42.3%	5 19.2%	7 26.9%	3 11.5%	12 46.2%	1 3.8%	9 34.6%
機械	13 39.4%	22 66.7%	11 33.3%	8 24.2%	6 18.2%	5 15.2%	3 9.1%	4 12.1%
その他の製造	30 40.5%	29 39.2%	20 27.0%	15 20.3%	19 25.7%	25 33.8%	3 4.1%	15 20.3%
非製造業	114 47.3%	109 45.2%	91 37.8%	31 12.9%	53 22.0%	24 10.0%	17 7.1%	57 23.7%
卸売	25 46.3%	29 53.7%	12 22.2%	3 5.6%	18 33.3%	5 9.3%	2 3.7%	17 31.5%
小売	28 57.1%	28 57.1%	17 34.7%	4 8.2%	12 24.5%	4 8.2%	0 0.0%	12 24.5%
情報通信	9 37.5%	10 41.7%	15 62.5%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	6 25.0%
飲食・宿泊	10 34.5%	13 44.8%	11 37.9%	3 10.3%	12 41.4%	8 27.6%	2 6.9%	4 13.8%
サービス	20 40.0%	18 36.0%	21 42.0%	9 18.0%	1 2.0%	5 10.0%	6 12.0%	9 18.0%
建設	22 62.9%	11 31.4%	15 42.9%	8 22.9%	10 28.6%	2 5.7%	6 17.1%	9 25.7%
観光関連	17 39.5%	17 39.5%	16 37.2%	2 4.7%	16 37.2%	9 20.9%	1 2.3%	4 9.3%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	41 8.3%	50 10.1%	57 11.6%	61 12.4%	37 7.5%	14 2.8%	493 100.0%	9
製造業	24 9.5%	25 9.9%	18 7.1%	26 10.3%	18 7.1%	6 2.4%	252 100.0%	4
西陣	3 11.5%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	4 15.4%	1 3.8%	26 100.0%	0
染色	2 6.5%	3 9.7%	3 9.7%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	31 100.0%	1
印刷	0 0.0%	4 15.4%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	26 100.0%	1
窯業	0 0.0%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	2
化学	6 30.0%	3 15.0%	0 0.0%	1 5.0%	3 15.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	3 11.5%	4 15.4%	1 3.8%	5 19.2%	1 3.8%	0 0.0%	26 100.0%	0
機械	7 21.2%	5 15.2%	3 9.1%	5 15.2%	1 3.0%	2 6.1%	33 100.0%	0
その他の製造	3 4.1%	4 5.4%	5 6.8%	10 13.5%	6 8.1%	2 2.7%	74 100.0%	0
非製造業	17 7.1%	25 10.4%	39 16.2%	35 14.5%	19 7.9%	8 3.3%	241 100.0%	5
卸売	3 5.6%	6 11.1%	1 1.9%	4 7.4%	6 11.1%	4 7.4%	54 100.0%	1
小売	3 6.1%	3 6.1%	4 8.2%	5 10.2%	4 8.2%	1 2.0%	49 100.0%	1
情報通信	5 20.8%	2 8.3%	6 25.0%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%	24 100.0%	0
飲食・宿泊	0 0.0%	6 20.7%	8 27.6%	10 34.5%	5 17.2%	2 6.9%	29 100.0%	2
サービス	2 4.0%	7 14.0%	10 20.0%	7 14.0%	2 4.0%	1 2.0%	50 100.0%	0
建設	4 11.4%	1 2.9%	10 28.6%	5 14.3%	1 2.9%	0 0.0%	35 100.0%	1
観光関連	2 4.7%	5 11.6%	8 18.6%	9 20.9%	5 11.6%	1 2.3%	43 100.0%	0

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	0	( 0.0 )
明治	24	( 4.8 )
大正	7	( 1.4 )
昭和19年以前	26	( 5.2 )
20 ～ 39 年	194	( 38.6 )
40 ～ 49 年	93	( 18.5 )
昭和50年以降	92	( 18.3 )
平成	66	( 13.1 )
無回答	0	( 0.0 )
不明	0	( 0.0 )
合計	502	( 100.0 )

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	497	( 99.0 )
個人	5	( 1.0 )
無回答	0	( 0.0 )
合計	502	( 100.0 )

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	256	( 51.0 )	非製造業	246	( 49.0 )
西陣	26	( 5.2 )	卸売	55	( 11.0 )
染色	32	( 6.4 )	小売	50	( 10.0 )
印刷	27	( 5.4 )	情報通信	24	( 4.8 )
窯業	18	( 3.6 )	飲食・宿泊	31	( 6.2 )
化学	20	( 4.0 )	サービス	50	( 10.0 )
金属	26	( 5.2 )	建設	36	( 7.2 )
機械	33	( 6.6 )	不明	0	( 0.0 )
その他の製造	74	( 14.7 )	合計	502	( 100.0 )

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

43 ( 8.6 )

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	1	( 0.2 )	3001 ～ 5000	84	( 16.9 )
101 ～ 200	1	( 0.2 )	5001 ～ 1 億円	46	( 9.3 )
201 ～ 500	36	( 7.2 )	1 億円超	12	( 2.4 )
501 ～ 1000	176	( 35.4 )	無回答	0	( 0.0 )
1001 ～ 3000	141	( 28.4 )	合計	497	( 100.0 )

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	68	( 13.5 )	50 ～ 99 人	70	( 13.9 )
5 ～ 9 人	74	( 14.7 )	100 人以上	45	( 9.0 )
10 人～ 19 人	101	( 20.1 )	無回答	1	( 0.2 )
20 人～ 29 人	57	( 11.4 )	合計	502	( 100.0 )
30 ～ 49 人	86	( 17.1 )			

# 第107回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成25年6月20日(木)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)	年	従業者数				人
※業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造						
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設						
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。						
主な製品、商品、サービス							
御記入者	部課：	役職：	氏名：				

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成25年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			平成25年7月～9月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」を営む方のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化     | 2 生産・経営の合理化   | 3 人材確保・育成   |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓    | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化  | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他( )    |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |          |           |                |
|----------|-----------|----------------|
| 1 競争激化   | 2 売上不振    | 3 人材育成         |
| 4 値下要請   | 5 仕入値上要請  | 6 原材料(特に )価格上昇 |
| 7 金利上昇   | 8 販売価格安   | 9 技術力不足        |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足   | 12 人件費増加       |
| 13 円安    | 14 その他( ) |                |

(裏面も御記入ください。)

**(5) 貴社における海外ビジネスについてお尋ねします。**

A 貴社の海外ビジネスの展開について該当するものを1～5から選び、○印をつけてください。

また、1～3と回答された方は、海外ビジネスの内容、目的も該当するものを選んで○印をつけてください。4、5と回答された方は、その理由を記入してください。

(海外ビジネスの状況)		(その内容) ※複数回答可
1 海外ビジネスを展開している	➡	① 輸出      ② 輸入      ③ 海外の生産拠点での生産 ④ 海外にサービス提供・製品販売拠点がある ⑤ 海外に調達拠点がある      ⑥ 海外に情報収集拠点がある ⑦ 海外企業への生産委託      ⑧ その他( )
-----		
		(その目的) ※複数回答可
2 展開していないが計画がある	➡	① 海外でのサービス提供・製品販売拡大      ② 海外での生産
3 展開していないが関心がある	➡	③ 海外での調達      ④ 海外での情報収集
		⑤ 海外企業への生産委託      ⑥ その他( )
-----		
4 過去に行っていたが、撤退した	➡	(その理由)
5 関心がない	➡	

B 質問Aで、1～4と回答された方にお尋ねします。海外ビジネスを展開する際に、支援機関が提供するサービスの利用の有無について、1～3から選び○印をつけてください。また、1又は2と回答された方は利用した(する)支援機関についても、該当するものを選んで○印をつけてください。

1 利用している(していた)		① 公的支援機関を利用(国 京都府 京都商工会議所 ジェトロ等)
2 利用するか検討中	➡	② 民間支援機関を利用(金融機関 コンサルタント会社 商社等)
		③ 公的・民間の両方の支援機関を利用
3 利用しない(しなかった)		

C 質問Bで、1又は2と回答された方にお尋ねします。利用された、もしくは利用したいサービスについて、該当するものを選び、○印をつけてください(複数回答可)。

1 海外ビジネスについてのセミナー	2 補助金・融資
3 相談・コンサルティング	4 新商品開発指導
5 商社等による貿易仲介	6 海外展示商談会や見本市等へのブース出展
7 海外へのミッション派遣	8 市場調査支援
9 商談随行・通訳	10 その他 ※( )
※(10については、公的機関、民間機関などいずれかの機関が実際に提供しているサービスをご記入ください。)	

D 質問Bで、3と回答された方にお尋ねします。利用を検討しない、又は利用しなかった理由について、該当するものを選び、○印をつけてください(複数回答可)。

1 必要がない(なかった)	2 必要だが内容や条件が合わない(合わなかった)
3 サービスを利用するための費用が高額	4 その他( )

E 海外ビジネスの展開に当たり、現在は提供されていないが、もし提供されていれば利用したかった、又は今後利用したいサービスなどがあれば記入してください。

(自由記述)
--------

F 今後の進出先として関心のある国・地域について、現在、進出中の国・地域も含め、該当するものを下記から選び、○印をつけてください(複数回答可)。また、その理由についても記入してください。

1 アメリカ	2 アラブ首長国連邦	3 イギリス	4 インド	5 インドネシア
6 オーストラリア	7 カタール	8 カナダ	9 韓国	10 シンガポール
11 タイ	12 台湾	13 中国	14 ドイツ	15 ブラジル
16 フランス	17 ベトナム	18 マレーシア	19 ミャンマー	20 南アフリカ共和国
21 ロシア	22 上記以外の国( )			
その理由(自由記述)				

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)